OPEN R LINK

使用時の注意

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。（1） 運転する国よって定められた法律を必ず遵守してください。

システムの操作に関する注意事項

– 交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。
– 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ナビゲーションに関する注意事項

– ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。
– 地域によっては、「地図」に新しい経路の情報がないことがあります。ご注意下さい。いかなる場合であっても、道路コードと道路標識を、ナビゲーションシステムの指示よりも優先してください。

装置に関する注意事項

– やけど、物的リスクを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
– 誤作動のため、また解体する場合には、メーカーの担当者までお問い合せ下さい。
– 異物、損傷または汚れた外部ストレージデバイス（USB キー、SD カードなど）をリーダーに挿入しないでください。
– 使用しているシステムと互換性のある外部記憶装置（USB フラッシュドライブ、Jack ソケットなど）のみを使用してください。
– マイクロファイバーの布で常に画面を清潔に保ってください。
– アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

システムを使用する前に、一般販売条件に事前に同意することが必須となります。
この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた特徴に基づいて作成されました。電話のメーカーとモデルによっては、いくつかの機能が車両のマルチメディアシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。
詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

個人データの保護
お客様の車からのデータは、メーカー、承認されたディストリビューター、Google®、およびメーカーのグループ内の他のエンティティによって処理されます。メーカーの詳細は、ウェブサイトと車両ユーザーマニュアルの最後のページで入手できます。

お客様の個人情報は、以下の目的で処理されます。

- お客様の車の機内サービスやアプリケーションの恩恵を受けることができます。
- お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。
- ドライバーの経験を向上させ、メーカーのグループの製品とサービスを開発する。
- メーカーグループの法的義務を強制する。

お客様（特に欧州諸国にお住まいの方）は、適用される規制に従い次のことを依頼できます。

- メーカーが保有するお客様に関するデータを取得し、確認する。
- 不正確な情報を訂正する。
- お使いのデータを削除する。
- データのコピーを取って他の場所で再利用する。
- いつでもデータの使用に反対する。
- データの使用を凍結する。

車両のマルチメディア画面から、次の操作を実行できます。

- お客様の個人データの共有（場所を含む）に対する同意を拒否する。
- いつでも同意を取り消す。

個人データの共有を停止する場合、メーカーから提供された車両の機能および / またはサービスの一部は、お客様の同意が必要なため停止されます。

個人データの保護
共有を中断するかどうかに関係なく、車両利用状況データは、次の目的でメーカーおよび関係するパートナー / 子会社に転送されます。

– お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。
– お客様の車のライフサイクルを向上させる。

このデータを使用する目的は、商業的な販促行為ではなく、メーカーの車両の継続的な改善と日常業務を妨げる可能性のある問題の防止です。
詳細については、車両ユーザーマニュアルでアドレスが利用可能なメーカーのウェブサイトでデータ保護ポリシーを入手できます。

注意事項には、記載されたモデルに関する存在する機能一式がまとめられています。注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。このマニュアル上の画面は、契約ではありません。

➔ 取扱説明書内には、随所に、参照ページの記載があります。

要約

「概要」の項を参照してください 5
概要説明 5
コマンドの説明 9
サービスの起動 12
作動原理 16
クリーニング 19
進む／止まる 21
追加、ウィジェットの管理 23
音声認識の使用 25
ナビゲーション 33
カードキー 33
行き先を入力 38
ナビゲーションの設定 45
オーディオ／マルチメディア 49
音源 49
ラジオを聞く 51
音楽 56
音を調整する 59
電話 61
電話のペアリングや接続 61
通話管理 65
SMS 70
電話の設定 72
ワイヤレスチャージャー 73
アプリケーション 75
Android Auto™,CarPlay™ 75
アプリケーション管理 79
My Renault 81
車両の貸し出しや手放し 83
車両 84
トリップコンピューター 84
パーキングアシスト 89
リアビューカメラ 92
360°カメラ 93
Multi-Sense 95
ダイナミックシャーシ 98
ムードランプ 99
ｼｰﾄ/ルームミラー 100
タイヤ規定空気圧 102
My driving 104
ｴｱｸｵﾘﾃｨ 108
電気自動車 109
緊急通報 114
設定 115
ユーザー設定 115
システム設定 120
通知 123
更新 125
作動異常 128

概要説明

画面

ヒーターレベルの詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

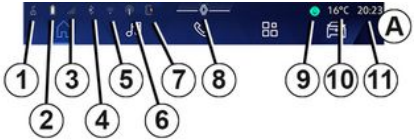
A. アクセスとステータスバー。

B. さまざまな領域へのアクセス。

C. 選択した「領域」の表示エリア。

D. 暖房レベルバーインジケータ。

E. 温度設定（車両の装備に応じて異なります）。



1. データの接続と共有の状態。

2. 電話の充電量。

3. 電話の受信状態。

4. アクティブ化されたマルチメディアシステムの Bluetooth®。

5. マルチメディア システム WIFI の状態。

6. アクセスポイントがアクティブになりました。

7. ワイヤレス充電器の状態。

8. 通知センターへのアクセス。

9. マイクのステータスや制御。

10. 外気温度。

11. 時計。

12. 運転席ヒーター温度インジケータ。

13. 風量インジケータ。

14. 同期制御 SYNC:

15. 運転席ヒーター制御。

16. エアコン作動スイッチ

17. シートヒーターコントロール。

18. フロントウィンドウヒーター制御。

19. 助手席吹出し口インジケータ。

20. 助手席ヒーター温度インジケータ。

21. 「同期」インジケータ SYNC が有効になりました。

22. ステアリングホイールのヒーター制御。

23. 吹出し口付き運転席の制御。

24. 温度設定 ***E*** にアクセス。

25. 吹出し口付き助手席制御。

領域のスクリーン

お使いのシステムは、次のようないくつかのワールド ***B*** で構成されています。

– 「ホーム画面」 。

– « ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ » ;

– « ｵｰﾃﾞｨｵ » ;

– 「電話」 または「スマートフォンの複製」 。

– « アプリ » ;

– « 車両 » .

注: 各領域の有無は、車両装備に応じて変動します。

各領域には、有効な画面上に常時表示される領域バー ***B*** からいつでもアクセスできます。

「ホームページ」領域

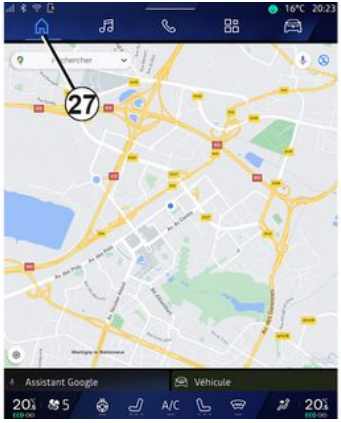
（装備により異なります）

「ホームページ」 領域にはボタン***26***を使用してアクセスでき、この領域では、マルチメディアシステムにナビゲーションが装備されていない場合に4つのカスタマイズ可能なウィジェットを表示できます。

「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域

（装備により異なります）

概要説明

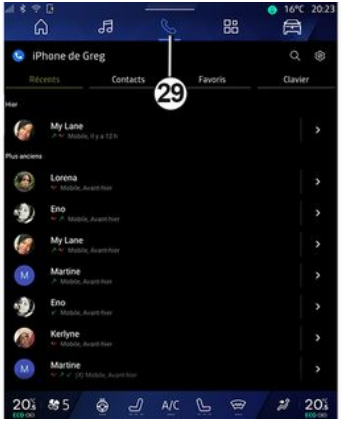


「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域 には、ボタン***27***を使用してアクセスできで、この領域を使用してナビゲーションシステムにアクセスできます。2 つのカスタマイズ可能なウィジェットを表示することが可能です。

「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域

「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 には、ボタン***28***を使用してアクセスでき、この領域を使用してラジオや音楽にアクセスできます。

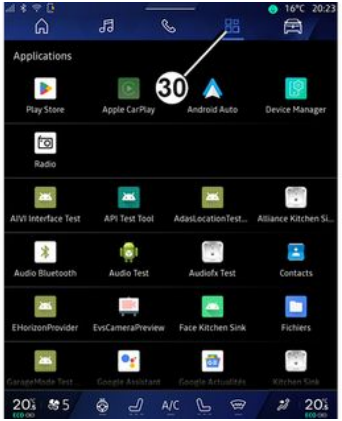
「電話」領域



「電話」領域 にはボタン***29***を使用してアクセスでき、この領域を使用してマルチメディアシステムに接続された通話、連絡先、その他の電話機能にアクセスできます。

注: 「電話」領域アイコン は、スマートフォンの複製の進行中に変更される場合があります 。

「アプリ」領域



「アプリ」領域 には、ボタン***30***を使用してアクセスでき、この領域を使用してマルチメディアシステムおよび「Play Store™」で利用可能なアプリケーション（装備によって異なります）からアプリケーションにアクセスできます。

「車両」領域

「車両」領域 には、ボタン***31***を使用してアクセスでき、この領域では、MULTI-SENSE、運転支援機能、360°カメラ、My drivingなどを含むいくつかの車両装備機器を管理できるほか、表示方法や言語といったさまざまなマルチメディアシステム設定を調整できます。

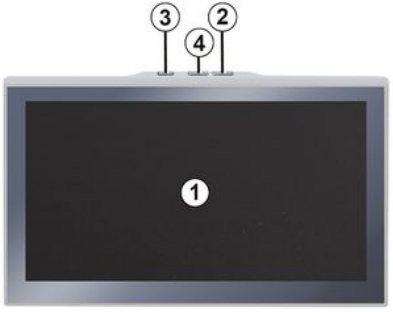
注：

– エクイップメントレベルによっては、選択可能な機能のみがホーム画面に表示されます。
– また、車両の「MULTI-SENSE」コントロールを繰り返し押すことで、さまざまなモードにアクセスすることもできます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

通知センター

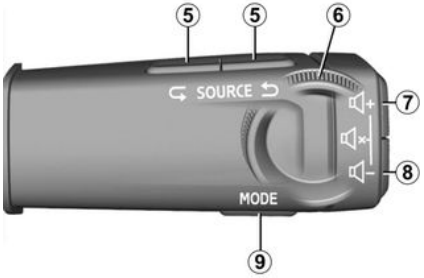
通知センター***E***にアクセスするには、ボタン***8***を使用するか、マルチメディア画面をゾーン***A***から画面の中央に向かってすばやくスワイプします。通知、Profileおよび一部の機能にアクセスできます。通知センターを終了するには、***8*** を押すか、ゾーン ***D*** から画面の中央に向かってすばやく上にスワイプします。

スクリーン制御



	機能
1	マルチメディア画面。
2	音量を上げる。
3	長押し（約 5 秒）：マルチメディアシステムを強制終了できます。 短押し:「ラジオ - 音楽 OFF」／「ラジオ - 音楽 ON」、「ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾞｲﾓｰﾄﾞのﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」、「スクリーンクリーニング」、「スタンバイ」。
4	音量を下げる。

ステアリングコラムコントロール



	機能
5	オーディオソースを選択します。
6	ラジオ局またはオーディオトラックとディレクトリを参照します（機器に応じて）。
7	短押し: – 現在聴いている音源の音量を上げる。 スイッチを押したままにします（約 10 秒）: – オーディオの強制ミュートを解除します。

	機能
7 + 8	短押し: – ラジオ音声のオン / オフ。 – オーディオトラックの一時停止または再生。 – 音声認識の音声シンセサイザーを中断します。 スイッチを押したままにします（約 10 秒）: – オーディオの強制ミュートを解除します。
8	短押し: – 現在聴いている音源の音量を下げる。 スイッチを押したままにします（約 5 秒）: – オーディオの強制ミュートをサソウさせます。
9	ラジオ放送の聴取モードを変更（「ﾘｽﾄ」、「お気に入り」）できます。

ステアリングコラムコントロール

	機能
10	電話がマルチメディアシステムに接続されていない場合は次のように操作します。 – 電話ペアリング機能にアクセスします。 電話がマルチメディアシステムに接続されている場合は次のように操作します。 – 「電話」 領域にアクセスします。 – 電話に応答／電話を終了します。

コマンドの説明

	機能
11	短押し（ナビゲーションシステム装備車両）: – マルチメディアシステムの「Google アシスタント」音声認識を有効化 / 無効化します。 長押し： – 携帯電話の音声認識を有効 / 無効にします（電話が電話複製を介してマルチメディアシステムに接続されている場合にのみ利用可能）。
12	短押し: – モード MULTI-SENSE を選択します。 長押し： – 使用しているモードの MULTI-SENSE 設定にアクセスします。 詳しくは、「MULTI-SENSE」の項 ➔ 95 をご覧ください。
13	短押し: – 「お気に入り」機能を使用できます。 長押し： – 「お気に入り」機能選択構成にアクセスできます。 詳細については、「ユーザー設定」➔ 115 の項を参照してください。

	機能
14	インストルメントパネル上でのナビゲーション表示モードの選択。

1

はじめに

車両で接続されているサービス（リアルタイムの交通情報、POIのオンラインの検索、スマートフォンからの車両の遠隔制御など）を使用するには、まずそれらを起動する必要があります。

サービスを起動すると、システムの自動更新も可能になります。「アップデート」の項➔ 125を参照して下さい。

サービスが有効になると、車両の納車日から始まる限られた期間に無料で使用できます。

マルチメディアシステムでは、いくつかの手順でプロファイルを設定できます。

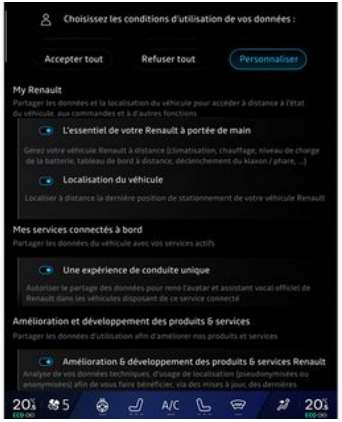
注：

– プロファイルを作成する度に、設定のウィドザードでサポートが提供されます。
– 設定のウィザードは、車両が固定されている間のみ使用できます。

構成アシスタント

ⓘ メーカーは、適用される規則を踏まえ、リスクに適した水準の安全性を確保するのに必要なあらゆる予防措置を講じなければなりません。

使用を希望する言語を ***1*** に掲載の一覧も中から選択し、***2*** を押して確定します。



マルチメディアシステムは、必要な情報を提供し、個人データ制御を可能にします。

各種データ共有オプションの詳細をご覧になるには、「情報」アイコン

を押してください。

表示情報を再確認したら、「確認」を押して選択内容を確認し、続行します。

次に、個人データ使用への適用を希望する条件を次の中から選びます。

– ご自身の個人データの共有を認め、利用できるどの接続サービスの利用も求める場合には すべて受け入れる を選択します。
– ご自身の個人データの共有を拒み、拒否し、（規制に基づき必ず有効化さ

れていなければならない、事故発生時に自動で緊急連絡する安全機能は除く）どの接続サービスの利用または作動も認めない場合は すべて拒否 を選択します。
– 次の項目に関するデータの特定機能を有効化／無効化する方法でご自身の個人データ使用への適用を希望する条件をパーソナライズするには カスタマイズ を選択します。

– « My Renault » ;
– 「マイ車載接続サービス」
– 「製品およびサービスの改善および開発」
– ...

マルチメディアシステムは、マルチメディア システムとデータを交換する Google® ソフトウェアとサービスを使用します。Google® サービスの法的条件が通知されます。

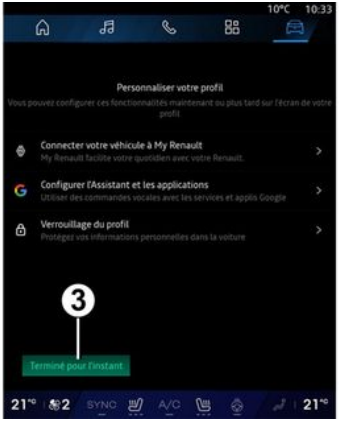
次を承認または拒否できます。

– アプリケーションによるお客様の場所の使用
– 使用状況 / 診断データの送信

注：

– アプリケーションによる車両の現在位置情報の使用を認めないとナビゲーション Google Maps™ にはアクセスできません。
– アプリに関する許可やプライバシーの詳細については、「アプリ管理」➔ **79** および「システム設定」➔ **120** の項をご覧ください。

プロファイルをカスタマイズする



次の機能を設定して、プロファイルをカスタマイズできます。

– « My Renaultアカウント »;
– 「Google アシスタント」とアプリを設定する。
– プロファイルをロックする。

注: 構成は、***3*** を押すと中断でき、その後の再開は通知センターかプロフィールから行えます。プロファイルの構成の詳細については、「ユーザー設定」➔ **115**を参照してください。

« My Renaultアカウント »

マルチメディアシステムを使用すると、「My Renault」アカウントに接続して、車両の特定の機能を管理し、スマートフォンを介してこの情報にアクセスできます。

「My Renault」の詳細については、「My Renault」➔ **81** の項を参照してください。

「Google アシスタント」やアプリケーションを構成します

マルチメディアシステムでは、次のようなさまざまな方法でアカウント Google® に接続できます。

– Google® アカウント ID（メールまたは電話番号、パスワード）を使用して。
– お使いの携帯電話のモデルによっては使用可能な、マルチメディアシステムの画面上でスキャンできる QR Code を用いる方法。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

プロファイルをロックする

機密情報を保護しプライバシーを確保できるよう、Renaultでは、ご自身の個人データについてはご自身で保護することを強くお勧めしています。この保護のためにマルチメディアシステムを使うと、次の方法でプロフィールへのアクセスをロックできます。

– « パターン »;
– « PINコード »;
– « パスワード »;

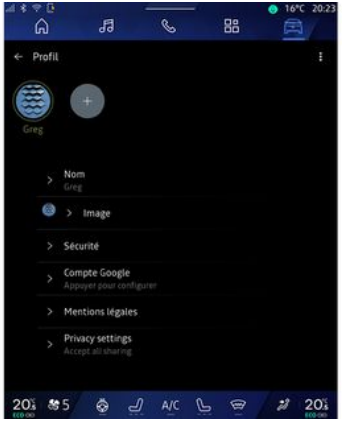
サービスの起動

– 「プロファイルロックを使用しないてください」。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従って、設定を完了します。

> ⓘ 個人データの秘密性や完全性の確保を含むプライバシー確保のため、プロファイルはロックすることを強くお勧めします。

データの収集



サービス有効化要求の検証後も、データ収集の有効化／無効化やデータ共有水準の変更を行えます。適用される個人データ使用条件を選択するには、通知センターを開き、「Profile」>「プライバシー設定」の順に選択します。

次に、データ共有水準を次の中から選択します。

– 「すべて受け入れる」: データの共有を認める場合
– 「すべて拒否」: データ共有を認めない場合
– 「カスタマイズ」: 一覧から選んだデータの共有のみ認める場合。

注: データの共有を希望しない場合は、同意を必要とするサービスが機能しなくなる可能性があります（事故時の自動緊急通報に関連する標準サービス/機能は除く）

データ収集の一時停止

車両データの収集は一時的に停止されることがあります。

これを行うには、通知センターにて選択できる「Profile」から「データのみを共有する」を押す方法で、データ収集を一時停止するか、収集レベルを変更します。特定のデータ収集を一時停止するには、「すべて拒否」を選択し、特定データ収集を一時停止するには、「カスタマイズ」の後、収集を一時停止するデータを選択します。

データ共有を拒否すると、同意を必要とするサービスが機能しなくなる可能性があります（事故時の自動緊急通報に関連する標準機能は除く）

> ⓘ 製造元は、お客様の個人データが完全なセキュリティで確実に処理されるよう、必要な予防策を講じます。

データプロテクション

お使いの車両から Renault に送られるデータは、各ブランド車両の代理店が処理し、目的を果たすのに必要な場合には、Renault の子会社、販売網の一員およびパートナーに送信されることもあります。また上記のデータは、Google® に代表される第三者が収集する場合もあります。該当する場合、正規販売店や、各ブランド車両の販売店グループに属する他の事業体は、取り扱うデータに個人データ保護規則を適用します。各ブランド車両の代理店の詳細は、各店のウェブサイトや、車両取扱説明書の最終ページにて確認できます。

お客様の個人情報は、以下の目的で処理されます。

– お客様による車両の遠隔制御を可能にすること、車両を自動更新すること、または車両内でしたり、車両内でエンターテイメントサービスを提供すること。
– 車両の保守整備を可能にすること。
– 運転またはナビゲーション支援サービスを提供すること。

サービスの起動

– 運転体験を向上させること、さまざまなモビリティ方法を提供すること、製品やサービスを開発すること。
– Renault が果たすべき法的な義務や規制上の義務を果たすこと。

お客様は、個人データの保護に関する適用規制に従い次のことを要求できます。

– メーカーが保有するお客様に関するデータを取得し、確認する。
– 不正確な情報を訂正する。
– お使いのデータを削除する。
– データのコピーを取って他の場所で再利用する。
– いつでもデータの使用に反対する。
– データの使用を凍結する。

車両のマルチメディア画面から、次の操作を実行できます。

– お客様の個人データの共有（場所を含む）に対する同意を拒否する。
– いつでも同意を取り消す。

個人データの共有を停止する場合、メーカーから提供された車両の機能および / またはサービスの一部は、お客様の同意が必要なため停止されます。

共有を中断するかどうかに関係なく、車両利用状況データは、次の目的でメーカーおよび関係するパートナー / 子会社に転送されます。

– お客様の車の操作とメンテナンスを可能にする。
– お客様の車のライフサイクルを向上させる。

このデータは、商用サービスではなく、メーカーの車両を継続的に改善し、日常の使用を妨げる可能性のある問題を防止するために使用されます。

詳細については、車両ユーザーマニュアルでアドレスが利用可能なメーカーのウェブサイトでデータ保護ポリシーを入手できます。

サービスの有効期限

サービスは限定された期間だけ有効になります。この期間が終了すると、サービスは機能しなくなります。サービスを再有効化するには、「オンラインサービス」の該当項をご覧ください。

ⓘ メーカーは、適用される規則を踏まえ、リスクに適した水準の安全性を確保するのに必要なあらゆる予防措置を講じなければなりません。

マルチメディア画面

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

一部の設定は、マルチメディアシステムによって保存されるために、エンジンの実行中に変更する必要があります。

メニューにナビゲート

マルチメディア画面を使用してシステム機能を利用できます。マルチメディア画面をタッチして、メニューの１つを選択します。

ジェスチャーインタラクション

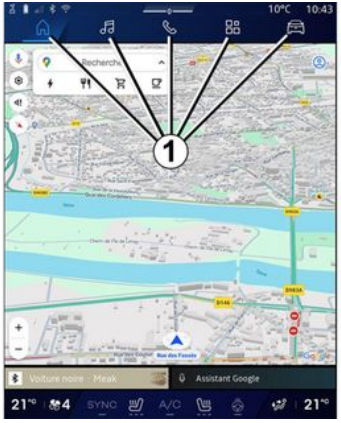
– 短押し: 指で画面の一部にタッチして、すぐに画面から指を離します。
– 長押し: 画面の一部をタッチして、少なくとも1.5秒間待ちます。
– 拡大と縮小: 2 本の指を画面上に置いて、指を互いに近づけたり離したりします。

- スワイプ: 素早く指をスライドさせます:
  - 水平方向に、左から右または右から左へ。

または

– 垂直方向に、下から上へ、または上から下へ。

「領域」ページの説明



システムには、次のようないくつかの領域があります。ある領域から別の領域に移動するには、いずれかの領域ボタン ***1*** を直接押します。

「ホームページ」や「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域には、タイ圧力調整やラジオなどの機能にアクセスできるウィジェットが含まれています。

これらのウィジェットでは、その機能のメイン画面に直接アクセスしたり、場合によってはメイン画面の 1 つから機能を直接制御したりできます（ラジオ局の変更など）。

注: 「ホームページ」または「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」の構成を変更できます。詳細については、「ウィジェットの追加と管理」の項を参照してください➔ **23**。

「領域」バーの概要

領域にアクセスするには、領域バー ***A*** 上にある 5 つのボタン ***1*** のいずれかを押します。

システムは次の 5 つの領域で構成されており、どの領域にも、マルチメディアディスプレイ画面から常時アクセスできます。

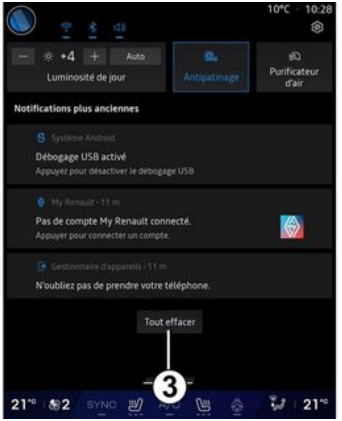
– 「ホームページ」（装備による）: 4 つのカスタマイズ可能なウィジェットを表示することができます。
– 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」（車両の装備に応じて異なります）: 衛星案内に関するあらゆる機能、道路地図および交通情報などが含まれています。
– 「ｵｰﾃﾞｨｵ」: ラジオや音楽ファイル再生機能へのアクセスに使用します。
– 「電話」／「レプリケーション」:
  – 1 台以上の電話をシステムにペアリングしたり、マルチメディアシステムに接続された電話で使用可能な、通話や電話帳などの機能にアクセスしたりするのに使用できます。
  – スマートフォンの複製を有効にするのに使用できます。
– 「アプリ」: アプリへのアクセスに使用できます。
– 「車両」: MULTI-SENSE、走行アシストシステム、360 ° カメラ、My driving などのいくつかの車両機器を管理するため、およびディスプレイ、言語などのマルチメディアシステム上のさまざまな設定を調整するために使用されます。

注: 「領域」の有無は、車両装備に応じて変動します

通知センター

ボタン***2***を使用するか、領域***B***から画面の中央に向かってマルチメディア画面をすばやくスワイプしてアクセスできます。通知センターでは、通知履歴にアクセスできます。

- SMS ;
- « ﾀｲﾔ圧 » ;
- 更新データがあります。
- ...



アクセスする通知を選択します。

通知を削除するには、画面を素早くスワイプします。

すべての通知を削除するには、ボタン***3***を押します。

ユーザープロファイルを作成および構成することもできます。詳細については、「ユーザー設定」➔ **115** の項を参照してください。

通知の詳細については、「通知」の項 ➔ **123** を参照してください。

使用可能な機能

走行中は、国固有の規制に従って、チュートリアルといくつかの設定にアクセスできない場合があります。

使用できない機能にアクセスするには、車両を停止します。

注: 国によっては、アプリケーションにアクセスするためにパーキングブレーキをかける必要がある場合があります。詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

クリーニング

クリーニングの推奨事項

クリーニング製品を画面に注入または噴射しないでください。
ケミカルクリーニング剤または家庭用製品は使用しないでください。デバイスは液体に接触しないようにし、湿気にさらさないように注意してください。その場合、表面または電装品が劣化または損傷する可能性があります。

アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

清潔で、毛羽立ちのない、柔らかい乾燥したマイクロファイバクロスのみを使用して、タッチスクリーンを清掃して、アンチグレア材料を損傷しないようにします。

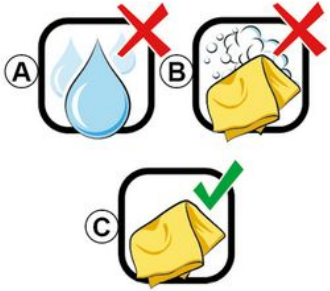
マルチメディア画面に圧力がかかり過ぎないよう注意し、画面に傷が付く恐れのあるクリーニング用具（ブラシ、粗目の布巾など）は使用しないでください。

「スクリーンクリーニング」モード

マルチメディアシステム画面を ON にしたまま画面上をマイクロファイバー布巾で拭く場合は、マルチメディアパネル上の制御ボタン ***1*** を短押しし、「スクリーンクリーニング」***2*** を押してタッチスクリーンを非アクティブモードにします。

モード「スクリーンクリーニング」モードを終了するには、マルチメディア画面を 2 回押します。

クリーニング



以下の推奨クリーニングに従ってください。

A. : アルコールベースの流体は使用せず、流体の塗布または散布もお止めください。

B. : 石鹸水で少し湿らせたマイクロファイバー布巾を使用してクリーニングするのはお止めください。

C. : 乾いたマイクロファイバー布巾で拭いてください。

進む／止まる

作動

マルチメディアシステムの始動:

– ドアの締め切り。
– マルチメディアパネルのコントロール ***1*** を軽く押した場合。

停止

進む／止まる

マルチメディアシステムのスイッチは、次の方法で OFF にできます。

– マルチメディアパネルの制御ボタン ***1*** 短押ししてから「スタンバイ」を押す方法。
– 車両のドアのロック時。

最小表示

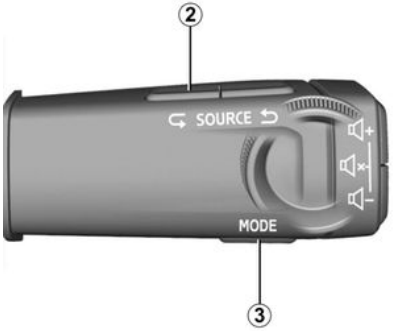
この機能では、画面に外気温、時計、ヒーターレベルバーのみを表示できます。

この表示モードを選択するには、マルチメディアパネル上の制御ボタン ***1*** を短押ししてから、「ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾞｲﾓｰﾄﾞのﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ」機能を選択します。

制御ボタン ***1*** を短押しすると、次のような他の機能が表示されます。

– « ラジオ - 音楽 OFF »/« ラジオ - 音楽 ON »;
– « スクリーンクリーニング ».

再起動



マルチメディアシステムは、押し続けて（システムが再起動するまで押したままにして）再起動することができます。

– マルチメディアパネルのコントロール ***1***

または

– ステアリングコラムの左側 ***2*** にある制御ボタン「Mode」***3*** と制御ボタン「Source」。

追加、ウィジェットの管理

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ウィジェット設定はプロファイルにリンクされています。プロファイルが変更されると、ウィジェットの表示も変わります。

はじめに

お使いのシステムには、カスタマイズ可能な「ホームページ」または「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」があります。これは、My driving、ラジオ、タイヤ圧力調整機能などへのアクセスを可能にする、領域 ***A*** に属する複数のウィジェットで構成されています。

ウィジェットコントロールの１つを押して、直接メイン画面を介して機能を制御します（ラジオ局を変更する、電話にアクセスするなど）。

ウィジェットサイズ

ナビゲーションマップの表示を増やすには、ウィジェット領域を縮小します。

ボタン ***1*** を押すか、ウィジェット領域 ***A*** から画面の端までマルチメディア画面をスワイプします。

ウィジェット画面を拡大するには、ウィジェットを押すか、ウィジェット領域 ***B*** から画面の中央にマルチメディア画面をスワイプします。

追加、ウィジェットの管理

1

ウィジェットのカスタマイズ

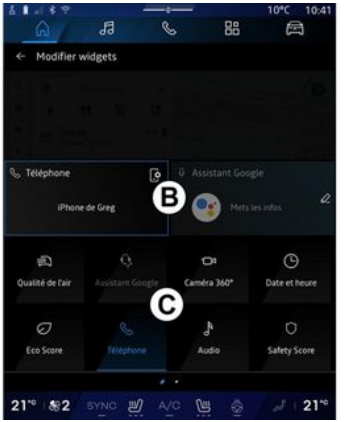
「車両」領域 、「車両」メニュー、「コックピット」、「ウィジェットの編集」からウィジェットをカスタマイズできます。

ウィジェットをカスタマイズすることもできます。

– 「ホームページ」の領域 から、カスタマイズするウィジェットを長押しします。

または

– 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域 で、ゾーン ***A*** から画面の中央に向かって「スワイプ」し、カスタマイズするウィジェットを長押しします。



その後は、画面をタッチして領域 ***B*** 内の希望場所を選択し、表示希望ウィジェットを一覧 ***C*** から選択します。

音声認識の使用

はじめに

機器によっては、マルチメディアシステムに音声認識システムが装備されています。

– « Google アシスタント » ;
– 「リノアシスタント」。
– スマートフォンの複製による音声コマンド。

音声認識システムは、マルチメディアシステムやスマートフォンの一部の機能を音声コマンドで制御するために使用できます。ステアリングホイールを握ったまま、マルチメディアシステムまたはスマートフォンを使用することができます。

自然に人と話している場合のように、マルチメディアシステムに対処して音声コマンドを使用します。

注: 音声認識ボタンの位置は変動します。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

音声認識システムを使用できます。

– マルチメディア画面
– スマートフォンの複製で使用可能なスマートフォン。

「スマートフォンの複製」の詳細については、「Android Auto™、CarPlay™」➔ 75 の項を参照してください。

音声認識によるマルチメディアの使用

マルチメディアシステムの音声コマンドによって制御される主な機能

車両に装備されている次の項目の一部機能は音声コマンドで制御できます。

– ナビゲーション
– 音楽
– ラジオ
– 電話
– 車両機能（エアコン、MULTI-SENSE
– 接続サービス（天気、ニュースなど）
– ...

注: 音声認識を使用する場合は、ネットワークの通信エリアに位置している必要があります。受信不良の場合は、特定の機能にアクセスできません。

Google® アカウントに接続すると、車両が接続されているときにアシスタントをさらにカスタマイズできます。たとえば、保存された連絡先に電話したり、カレンダー Google® の内容について知るなどです。

注：

– 「Google アシスタント」は、まだすべての言語で利用できわけではありません。利用可能性の詳細または他の言語を試す（利用可能な状態）場合については、support.google.com を参照してください。
– 音声コマンドは、ソフトウェア更新を介して強化および改善されています。
– 以下の手順は一般的な説明であり、サードパーティーのベンダを含みます。使用可能性、バージョン、および機能は異なる場合または変更される場合があります。

音声制御

（装備により異なります）

音声制御を使用して、画面にタッチすることなく、電話帳の連絡先を呼び出し、目的地を入力し、ラジオ局などを変更することができます。ボタン ***1*** を短押しすると、確認音が聴こえ、画面に確認表示が出ます。

注：

音声認識の使用

– この機能は、ナビゲーションシステム装備車両でのみご利用いただけます。
– この機能は、「ヘイリノ」音声コマンドを発声することによってのみ操作できるReno Assistantでは使用できません。

.

「Google アシスタント」有効化

音声認識システムを起動するには、いくつかの方法があります。

– 音声コマンド「Ok Google」または「Hey Google」と言って、画面***3***上で可聴フィードバックと視覚的フィードバックを受け取った後、要求を言います（「家に帰る」など）。

または

– 車両の音声認識機能ボタン ***1*** を短押しする方法。

または

– ウィジェット「Google アシスタント」***2*** を押す方法。

または

– 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」 から ***4*** アイコンを押します。

「音声認識」メニュー

「車両」領域から、「 」、「設定」、「Google®」、「Google アシスタント」の順に選択し、次の操作を実行できます。

– アシスタントの「言語」を選択する
– 「端末に向かって Ok Google と言う」方法での音声コマンド機能起動を有効化／無効化する
– カスタム結果を許可する、
– カスタム結果を事前に表示する、
– 「Google アシスタント」から通知を受け取る

音声認識機能を用いた「ナビゲーション」の制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、目的地を入力する方法がいくつかあります。

注: すべての機能からのメリットを有効にするには、Google®アカウントを有効にして住所を保存する必要があります。詳細については、「ユーザー設定」➔ **115** の項を参照してください。

音声コマンドによるナビゲーションの制御を開始するには、音声コマンドを有効化し、ビープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

– 「ランドマーク」
– 「目的地」
– 「自宅」
– 「勤務先」
– 「経路情報」
– 「ガイド」
– ...

「ランドマーク」

音声コマンドを使用して POI（ランドマーク）を検索します。

音声認識の使用

例:

– 「パン屋に行く」
– 「Paris 駅まで行く」
– 「エッフェル塔に連れて行って」
– ...

「目的地」

音声コマンドを使用して完全な住所を入力するには、次のようにします。

例:

– 「7 rue de la Joie, Paris に行く」
– 「Paris に連れて行って」
– 「Paris のモンマルトルに行く」
– ...

注: この例は、国と言語に応じて適用できます。

「自宅」と「勤務先」

音声コマンドを使用して、自宅または勤務先に行くには

例:

– 「自宅に帰る」
– 「自宅に車で帰る」
– 「勤務先に連れて行って」
– ...

注 :「自宅に帰る」または「仕事場の住所」音声機能を使用するには、Google®アカウントを入力して、住所を保存する必要があります。

「経路情報」

音声コマンドを使用して進行中のルートを通知します。

例:

– 「鉄道駅までの経路は。」
– 「鉄道駅への到着予定時刻は。」
– 「鉄道駅までの残距離は。」
– ...

「ガイド」

音声コマンドを使用して、現在のルート案内に対してアクションを実行します。

例:

– 「音声案内を有効化／無効化する」
– 「有料道路を避ける」
– 「経路を取り消す」
– ...

音声コマンドによる「オーディオ」の制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、音楽またはラジオを作動させることができます。

「ｵｰﾃﾞｨｵ」 に関連する音声コマンドを開始するには、音声コマンドを有効化し、ビープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

– 「音源」
– « ﾗｼﾞｵ »;
– 「音楽」
– 「再生コマンド」
– ...

「音源」

音源を変更できます。

例:

– 「ラジオを再生」
– 「ストリーミング音楽アプリを起動する」
– ...

« ﾗｼﾞｵ »

ラジオ局を選択できます。

例:

– 「Jazz radio を再生」
– 「91.8 を再生」
– ...

「音楽」

音楽（オーディオトラック、プレイリストなど）を起動できるのは、音楽をストリーミングする場合のみです。

例:

– 「<好みのアプリケーション名>で<アーティスト名>を聴く」
– 「<好みのアプリケーション名>で<曲のタイトル>を聴く」
– 「<好みのアプリケーション名>で<アルバム名>を聴く」
– 「<好みのアプリケーション名>で<プレイリスト名>を再生する」
– ...

注: 一部のストリーミング音楽アプリケーションでは、関連するアカウントを接続する必要があります。

「再生コマンド」

現在のプレイリストをコマンドで指定できます。

例:

– 「再生」
– 「一時停止」
– 「次へ」
– 「前へ」

注: 使用するアプリケーションによって、コマンドが異なる場合、または使用できない場合があります。

音声コマンドによる「電話」の制御

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、電話番号または連絡先を呼び出すことができます。

「電話」 に関連する音声コマンドを開始するには、音声コマンドを有効化し、ビープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

– 「通話」
– 「ダイヤル」
– 「発信ログ」
– « SMS » ;
– ...

注：

– 電話でデータ共有を有効にする必要があります。詳細については、「サービスの起動」➔ 12 の項を参照してください。
– Google® 設定にてカスタマイズされた結果を承認する必要があります。詳しくは、「システム設定」➔ 120 セクションをご覧ください。

「通話」と「ダイヤル」

電話帳で利用可能な連絡先に電話するか、電話番号をダイヤルすることができます。

例:

– 「Grégory を呼び出す」
– 「Grégory ホームを呼び出す」
– 「留守番電話につないで」
– 「06 77 07... をダイヤルする」
– 「06 77 07... をダイヤルする」
– ...

「発信ログ」

電話の通話履歴を表示できます。

例:

– 「発信ログ」
– 「通話の表示」
– 「最近の通話」
– ...

« SMS »

指示してSMSを送信するか、SMSを読み上げます。

例:

– 「Fabien に送信する: 「後で会いましょう」...」
– 「SMS を読む」
– 「SMS に返信して」
– ...

注：

– マルチメディアシステムで SMS の読み取りを可能にするには、データ共有を有効にする必要があります。詳細については、「サービスの起動」➔ 12 の項を参照してください。
– Google® 設定にてカスタマイズされた結果を承認する必要があります。詳しくは、「システム設定」セクション ➔ 120 をご覧ください。
– マルチメディアシステムは、走行中に SMS を受信した場合にのみ読み取りできます。

音声認識による「車両機能」コマンド

マルチメディアシステムに統合された音声コマンドを使用して、車両のいくつかの機能を有効にできます。

「車両」領域に関する音声コマンドによる制御を開始するには、音声コマンドを有効化し、ビープ音が聴こえたら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

– 「走行可能距離」
– 「暖房レベル」
– « MULTI-SENSE » ;
– ...

「走行可能距離」

（装備により異なります）

車両のバッテリの寿命に関する特定の情報を取得できます。

例:

音声認識の使用

– 「Dunkerque までは到達できる」
– 「バッテリの交換時期はいつ」
– ...

「暖房温度」

暖房レベルに関連する特定の機能を有効にできます。

例:

– 「足元の送風をオンにする」
– 「ステアリングホイールのヒーターを起動にする」
– 「助手席ヒーターの温度を上げる」
– 「温度を揃える」
– 「温度を下げる」
– 「温度を 21 度に設定する」
– ...

« MULTI-SENSE »

さまざまな MULTI-SENSE モードを有効にできます。

例:

– 「ECO モードを起動する」。
– 「ｽﾎﾟｰﾂモードに変えて」
– 「Comfortモードを起動する」
– ...

音声認識による「接続サービス」コマンド

マルチメディアシステムに統合された音声コマンドを使用して、接続されているサービスに特定の質問をすることができます。

音声コマンドによる「接続サービス」の制御を開始するには、音声コマンドを有効化し、ビープ音が鳴ったら、次の項目のいずれかに関するコマンドを発声します。

– 「天候」
– 「情報」
– 「スポーツ」
– 「イベント」
– ...

例:

– 「Paris 鉄道駅の天気を教えて」
– 「鉄道駅に関するニュースを教えて」
– 「試合のスコアを教えて」Paris – Marseille 鉄道駅の天気を教えて」
– ...

Renault 公式アバター「Reno（リノ）」の使用

はじめに

車両に装備されているマルチメディアシステムの中には、「reno 公式 Renault アバター」と呼ばれるアバターを備えたものがあります。リノアバターを使うと、音声コマンドにより、車両やマルチメディアシステムにあるいくつかの機能を制御できます。

例:

– 「最寄りのガソリンスタンドはどこですか。鉄道駅は」
– 「窓を開けて[リア/フロント/助手席/運転席/すべて]」
– 「バッテリーの交換時期はいつですか。鉄道駅は」
– 「エアクォリティ機能を作動して」

– 「助手席ヒーターの温度を上げる」
– 「温度を 21 度に設定する」
– ...

またリノアバターを使うと、より快適な運転に役立つおすすめ事項の提案を受けることもできます。

例:

– 「エアコンディショナーがついているので、窓を閉めることをお勧めします」
– 「屋内と屋外の温度差が15度を超えているため、エアコンディショナーをオンにすることをお勧めします」
– 「運転操作を改善するために、安全スコアページの安全に関するヒントを確認することをお勧めします」
– 「フロント右タイヤの空気圧を再調整する必要があります」
– 「ブレーキシステムの故障を検出しました。交通状況が許す限り、直ちに車両を停止してください」
– ...

「リノ」アバターの有効化／無効化

「リノ」アバターを有効化／無効化するには、「車両」領域 から「設定」、「アップデート & アシスタント」>「アバター」、「リノを有効化」の順に押します。

「アバター」メニューから、次の設定にアクセスすることもできます。

– 「アクティベート reno 吏 Renault アバター」を有効化／無効化する方法
– « プロアクティブな推奨事項 » ;
– 「能動的な通信モード」
– 「ヘイと言え reno"」を有効化／無効化する方法
– « 言語 » ;
– « ディスカバー reno 公式アバター Renault アバター » ;
– ...

注: リノアバターを使うには、「のデータ共有を許可する reno の公式アバター兼ボーカルアシスタント Renault このコネクテッド サービスを搭載した車両」を行い、アバター言語パックを「言語」からダウンロードする必要があります。

Renault 公式アバター「Reno（リノ）」の使用

リノアバターを備えた車両なら、ステアリングホイールから手を離すことなくマルチメディアシステムを使用できます。

音声コマンド機能を使用する場合は、人に話し掛けるような自然な感じでリノアバターに話し掛けます。

音声コマンドによりリノアバターを起動するには、「ヘイリノ」と話し掛け、視聴覚的な応答 ***1*** の後に、希望（「バッテリの寿命はなど）のように話し掛けます。

リノアバターの見た目や雰囲気は時間帯に応じて変動します。

音声認識の使用

スマートフォンの複製による音声認識の使用

スマートフォンの音声コマンドで制御される主な機能

スマートフォンがスマートフォンの複製を介してマルチメディアシステムに接続されている場合、いくつかの音声コマンドを使用して、スマートフォンで使用可能なドメインとアプリにアクセスできます。

「スマートフォンの複製」の詳細については、「Android Auto™、CarPlay™」➔ **75** の項を参照してください。

スマートフォンに装備されている次の項目の一部機能は音声コマンドで制御できます。

– ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ ;
– 音楽
– 電話 ;
– ...

注: マルチメディアシステムでスマートフォンの音声認識機能を使用する場合は、通信可能範囲内にいるか確認してください。

音声認識によるスマートフォン複製コマンド

ⓘ スマートフォンの複製を使用して音声認識を使用する場合は、電話のインターネット接続を使用しますが、携帯電話会社による課金と制限の対象となります。

マルチメディアシステムでスマートフォンの音声認識システムを使用するには、以下の操作が必要です。

– スマートフォンの音声認識機能がマルチメディアシステムと互換性があるか確認します。
– スマートフォンの複製を介して、スマートフォンをマルチメディアシステムに接続します。

詳細については、「電話の接続、接続解除➔ **62**」および「Android Auto™、CarPlay™」➔ **75**の項を参照してください。

音声制御

（装備により異なります）

ボタン***1***を長押しすると、画面を使わずにスマートフォン複製音声コマンドを使用でき、確認音が鳴って、画面に表示されます。

作動

音声認識システムを有効化するには次のように操作します。

– 車両の音声認識ボタン ***1*** を長押しします。

– 「複製」領域 から、使用中のアプリケーションに関連する音声コマンドを押します。

注: 音声認識を使用する場合は、必ず確認音が鳴ってから話してください。

音声認識に互換性のあるアプリケーションにリンクされた音声コマンドを

音声認識の使用

1

開始するには、音声コマンドを有効にし、音声信号の後で要求を言います。

音声コマンドを使用して、スマートフォンの複製を使用して電話アプリケーションを使用します。

例:

– 「José を呼び出す」
– 「オフィスに電話して」
– ...

音声コマンドを使用して、スマートフォンの複製のためのナビゲーションアプリケーションを使用します。

例:

– ParisのChamps-Élyséesに進みます。
– 「自宅に帰る」
– ...

注: 音声制御に使用できるコマンドは、レプリケーション済みスマートフォン上のアプリケーションに応じて変動します。

カードキー

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

地図を表示する

「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域 ***1*** を押して地図にアクセスします。

「アプリ」領域、「Maps」の順に地図にアクセスすることもできます。

地図には、現在の位置や設定したさまざまな情報（表示、POI、ランドマーク、交通情報など）が表示されます。

ナビゲーション地図を移動するには、画面上で希望する方向にドラッグします。

現在地に戻るには「センター回帰」を押します。

注：

– 「Maps」はデフォルトのナビゲーションアプリです。他のアプリは、「アプリ」領域からアクセスできる「Play Store™」からダウンロードできます。

– 地図は、ユーザーの操作なしで自動的に更新されます。

進行中のルートのない「地図」画面

1. 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域。

2. ガイダンス音声設定。

3. 「上部の北（2D/北）」、「ユーザービュー」（2,5D）または「概要」として表示される表示モード。

4. 地図の拡大／縮小: 地図を拡大／縮小するには「+」／「-」ボタンを押します。

注: 画面で2本の指の間の隙間を広げたり狭くしたりして、拡大または縮小することができます。

5. 現在の通りの名前。押して、補助機能にアクセスします。

6. ナビゲーションの設定。

7. 現在の位置。

カードキー

8. 地図。

9. 目的地検索バー。

10. 確認後に地図を中央に再設定します。

進行中のルートの「地図」画面

2. ガイダンス音声設定。

3. 「上部の北（2D/北）」、「ユーザービュー」（2,5D）または「概要」として表示される表示モード。

4. 地図の拡大／縮小: 地図を拡大／縮小するには「+」／「-」ボタンを押します。

6. ナビゲーションの設定。

7. 現在の位置。

8. ルート表示付き地図。

10. 確認後に地図を中央に再設定します。

11. 車線と方向を計算したルートで続行する必要があります。

12. 到着時間、交通情報、次のステージまたは最終目的地までの残りの距離（構成に応じて異なる）などの行程の情報。

13. 「別のルートを選択する」。

14. 「経路に沿って検索」。

15. 「ルートの概要」。

16. 「ナビゲーションを停止」。

インストルメントパネルのナビゲーションディスプレイ

Ⓐ

Ⓑ

インストルメントパネル上のナビゲーション表示種は、ステアリングコラム上の制御装置「VIEW」***17*** を介して選択した表示種に応じて、次の 2 種類のうちのいずれかとなります。

– ナビゲーション表示は、もう一方の表示 ***A*** よりサイズの小さい表示です。
– 専用表示領域 ***B*** での全画面ナビゲーション表示。

2 つの表示モードで、インストルメントパネル画面にナビゲーション情報を表示できます。

– 従来の表示 ***A***。インストルメントパネル画面の上部 ***C*** に情報が表示されます。
– 全画面表示 ***B***。

注: インストルメントパネル画面のナビゲーションディスプレイは、「Google Maps™」マルチメディアシステムナビゲーションでのみ使用できます。

機器によっては、「Android Auto™」を通じた複製ナビゲーションをインストルメントパネル画面に表示することができます。

インストルメントパネルの表示設定の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

ガイダンス音声設定

案内音声を設定するには、***2*** を押して、次のいずれかを選択します。

– 「無効化」***18***
– 「警告のみ」***19***
– 「再有効化」***20***

注: 「無効化」機能を選択すると、マルチメディアシステムから音声ガイドによる指示は行われません。

カードキー

表示モード

地図表示は、*3* ボタンを押すことで変更できます。

「上が北の表示」（2D／北向き）*21*

地図は現在の位置を北向きに表示します。

「ユーザー表示」（2,5D）*22*

地図は、現在の位置を 3D 地図の表面に表示します。

移動方向に自動的に向くようにします。

リリーフマップの傾きを変更するには、画面で2本の指を下から上に、または上から下にスライドします。

「概要」*23*

地図には、現在の北向き位置と進行中のルートの概要が表示されます。

注: このビューは、ルートが進行中の場合にのみ使用できます。

ガイド

ルートが計算されると、ガイドが有効になります。マルチメディアシステムは、ルートに沿ってすべての方法を指示し、複数の段階にわたって従う方向の各交点を通知します。

段階 1: 準備

マルチメディアシステムは、ナビゲーション音声を使用して、すぐに操作を実施する必要があることを知らせます。

段階 2: 注意喚起

マルチメディアシステムは、実行する必要がある操作を通知します。

例:「400メートルで、次の出口がある」。

段階 3: 操作

マルチメディアシステムは、操作を実施する必要があることを示します。

例:「次を右に曲がる」。

注: 走行に関する推奨事項に従わない場合、または計算されたルートを終了した場合は、マルチメディアシステムによって新しいルートが自動的に計算します。

「ルートの概要」

この機能は、現在のルートの詳細を表示するために使用されます。

「経路概要」アイコン ***15*** を押すと次の情報を確認できます。

– 現経路の詳細
– 出発地、目的地、および各種経路提案
– 各段階の段階、距離および時間
– ...

行き先を入力

行き先を入力

2

ナビゲーションに関する注意事項
ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

特定の機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域 ***1*** から、目的地の検索バー ***2*** を押します。

音声認識を使用した住所の入力

音声コマンドを有効にし、町の名前、番号および / または通り名、目的地エリアを入力します。

詳細は、「音声認識の使用」➔ **25**の項を参照してください。

注: すべてのナビゲーション機能のメリットを利用するには、Google® アカウントに接続します。

目的地検索バー ***2*** からは次の項目にアクセスできます。

– 最近の目的地
– カテゴリ（POI: ランドマーク）
– 保存された住所（自宅、仕事、お気に入りなど）。

注: オンライン目的地検索機能を使用するには、現在地情報と関連データの共有を有効化する必要があります。詳しくは「サービスの有効化」➔ **12** の項をご覧ください。

「自宅」および「勤務先」目的地

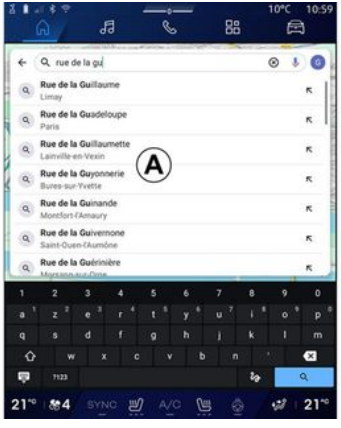
検索バーから、「自宅」または「勤務先」の場所へのナビゲーションガイドを実行できます。

「自宅」または「勤務先」を初めて選択すると、住所を登録するよう求められます。

注 : マルチメディアシステムには、1 つの「自宅」または 1 つの「勤務先」の住所しか保存できません。

行き先を入力

住所の検索



検索バー *2* では、完全または部分的な住所（国、町、郵便番号、通り、番路、交差点など）を入力できます。

手紙を入力すると、同様の通り名が表示されます。次のようなことができます:

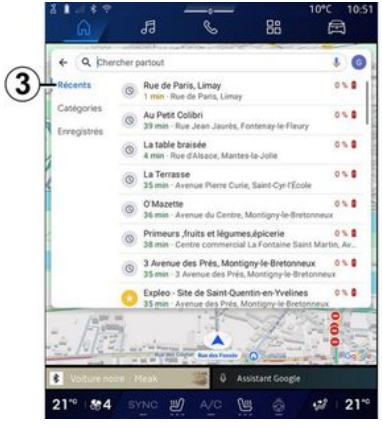
– 選択内容を確定するには、画面上に表示されている通り名を押します。
– 検索結果の完全な一覧を見るには、提案された通りの一覧 *A* をブラウズします。

目的地を検索

目的地検索バー *2* では、次の種類の目的地タブにアクセスできます。

– 「最近の目的地」*3*
– 「カテゴリー別目的地」*4*
– 「保存されている目的地」*5*

最近の目的地 *3*

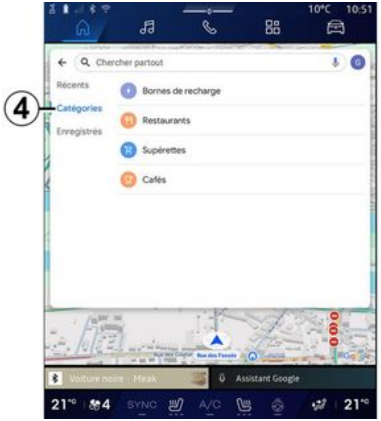


検索バーから「最近の目的地」タブを選択して、最近使用した目的地のリストにアクセスします。この目的地は、マルチメディアシステムや、「Google®」アカウントに接続されているデバイスから自動的に保存されます。

目的地を選択してガイドを開始します。

行き先を入力

カテゴリー別目的地 *4*



検索バーから「カテゴリー」タブを選択して、POI カテゴリーのリスト（ランドマーク）にアクセスします。

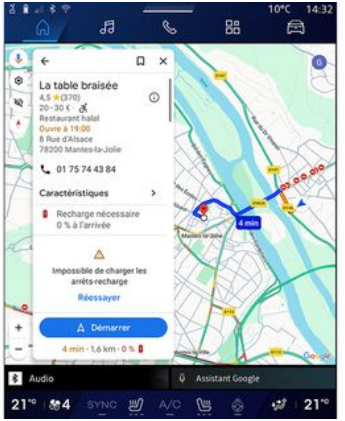
– 「ガソリンスタンド」／「充電ターミナル」
– 「レストラン」
– 「コンビニエンスストア」
– 「カフェ」。

POI（ランドマーク）は、場所（出発地点、目的地、ルート上など）の近くのサービスエリア、施設、ツーリスト設備です。

カテゴリーを選択すると、マルチメディアシステムが POI の一覧を ***B*** と地図上に表示します。次のようなことができます:

– ***B*** に表示されている POI を押して選択内容を確定できます。
– 表示されている POI の一覧 ***B*** をブラウズし、検索項目に対応する完全な一覧にアクセスすることができます。

注: POI のリストは「Google Maps™」でリアルタイムに更新されます。



POI を選択すると、マルチメディアシステムに次の情報が表示されます（表示可能な情報がある場合）。

– 住所、営業時間、口コミなど
– 電話番号
– 到着予定時刻、距離
– ルートの概要
– ...

行き先を入力

すでに進行中の POI ルートを検索できます。

注: POIの検索は、検索実行時の位置情報をもとに実行されます。別の地理的エリアを検索する場合は、希望する場所を入力します。

検索して POI を選択した後、マルチメディアシステムは、進行中のルートに沿った情報（利用可能な場合）とその場所を表示します。

走行中の経路を表示するには ***7*** を押します。

走行中の経路に立ち寄り場所 POI を追加するには ***6*** を押します。

「保存」5

保存した場所にアクセスできます。

- 「テキスト付き」
- 「お気に入り」
- 「保存済み」
- 「アクセスする」
- 「連絡先」。

注: 保存された場所は、アカウントに接続されている他のデバイスで使用されている場合でも、Google® アカウントと同期されます。

「地図を参照」

地図を表示するには、地図をドラッグしながら画面を指で押したままにし、地図を移動します。

地図を拡大／縮小するには、ボタン ***9*** を押すか、画面上で 2 本の指の間隔を広げたり狭めたりします。

現在地を地図の中央に戻すには「センター回帰」ボタン ***8*** を押します。

ルート進行中の目的地の入力

ルートが進行中の場合は、次の機能にアクセスできます。

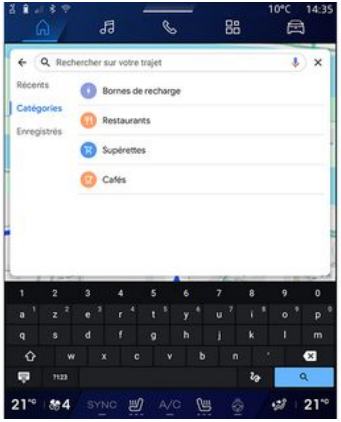
- 「別経路を選択する」***12***
- 「経路に沿って検索する」***10***
- 「ナビゲーション設定」***13***
- 「ナビゲーションを停止」***14***。
- 「経路概要」***11***
- ...

「別経路を選択する」*12*

マルチメディアシステムが提案する別の経路を表示するには ***12*** を押します。

行き先を入力

「経路に沿って検索する」*10*



この機能では、進行中のルートを検索したり、1 つ以上のステージを追加することができます。次の項目を追加できます:

- 音声認識による検索
- 「ガソリンスタンド」
- 「充電ターミナル」
- 「レストラン」
- 「コンビニエンスストア」
- 「カフェ」。

「設定」*13*

このメニューを使用して次のナビゲーション設定にアクセスできます。

- 「交通」
- 「3D建物」
- 「ガイド音」
- 「ルートオプション」
- 「自宅または勤務先の住所を変更する」（保存済みの場合）。
- 「オフラインマップ」
- 「機密保持センター」
- 「EV支払いフィルター」。
- 「詳細／ヘルプ」

使用可能な「設定」の詳細については、「ナビゲーション設定」➔ **45** の項を参照してください。

「ナビゲーションを停止」*14*。

この機能を使用して、現在のルートをキャンセルします。***14*** を押すと現在のナビゲーションを停止できます。

行き先を入力

「経路概要」*11*

経路概要 ***11*** では、走行中の経路と他の代替経路を表示できます。

ルートの 1 つを押すと、行き方と距離と時間を表示できます。

電気自動車およびハイブリッド車のﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ「領域」

マルチメディアシステムの設定は、車両のエンジンによって異なります:

– ハイブリッド車両および内燃エンジン搭載車用の「サービスステーション」。
– 電気自動車の「充電ステーション」。

補助メニューとさまざまな設定が表示されます。

注：

– 利用可能な充電ポイントを表示するには、サービスを有効にする必要があります。詳しくは「サービスの有効化」➔ **12** の項をご覧ください。
– すべてのナビゲーション機能のメリットを利用するには、Google®アカウントに接続して、車両に関する情報（充電ソケットのタイプなど）を入力します。

行き先を入力

目的地を入力すると、マルチメディアシステムは、車両の残りの充電レベルで目的地に到達可能な場合に通知します。

目的地に到達できる場合、目的地到達時点での概算充電残量が ***15*** に表示されます。

充電停止が 1 回しか必要ない場合は、充電ステーションを選択できます。

目的地に到達するために複数の充電が必要な場合は、合計ルートを最小に保つために、マルチメディアシステムによって最適化された充電ステーションの組み合わせが自動的に計算されます。

一覧 ***C*** 内では、公共充電ステーションの名称を確認でき、地図上では、行程や充電ステーション所在地を確認できます。

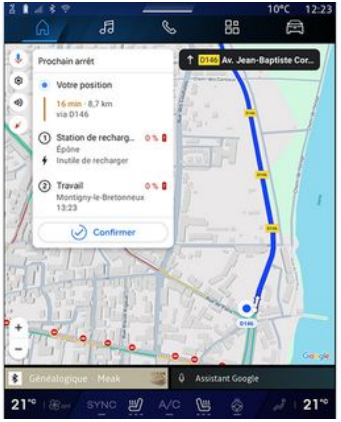
注: 充電スタンドのリストは「Google Maps™」でリアルタイムに更新されます。

行き先を入力

次の詳細情報を確認するには、***C*** に表示されている充電ステーションのいずれかを押します。

– 名前、分類、営業時間、住所
– 使用可能なソケットのタイプと数
– 到着時の推定料金の時間、距離、残りのレベル
– 支払い方法
– ...

注: 画面に表示される充電ソケットの可用性に関する情報は、ナビゲーション中に変更される場合があります。



次の方法を使用できます。

– ステーションまでのナビゲーション案内を開始すること
– ステーションに電話をかけます。
– ...

ナビゲーションの設定

「設定」メニュー

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域 から「設定」アイコン ***1*** を押してナビゲーション設定にアクセスします。

「設定」アイコン ***1*** からは次の項目に関する設定にアクセスできます。

- 「交通情報」提供機能***2***
- 「案内音」***3***
- 「経路オプション」***4***
- 「オフライン地図」***5***
- 「秘密保持センター」***6***
- 「詳細／ヘルプ」***7***
- 「3D建物」***9***。
- 「自宅または職場の住所」***11***。
- 「EV 支払いフィルター」***12***（電気自動車）。

「交通情報」提供機能*2*

この機能を使うと、次のような交通情報をリアルタイム受信できます。

- お住の地域の交通情報や事件情報。
- 最寄りの道路での事故、道路工事、閉鎖に関する情報。
- …

「交通情報」提供機能を有効化／無効化するには ***8*** を押します。

「案内音」*3*

この設定では次の操作を行えます。

- 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」の音を消すこと ***13***
- 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」の音は消し、「交通」に関する警告音だけ鳴らすこと ***14***
- 音声案内音を無効化すること ***15***

ナビゲーションの設定

– 「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」の音量をテストして音声案内の音量を調整すること ***16***

2

「経路オプション」*4*

この設定では、経路に関する次のオプションを有効化／無効化できます。

– 「主要道路を避ける」
– 「有料道路を避ける」
– 「フェリーを避ける」。
– 「エネルギー効率を優先する」。

「オフライン地図」*5*

オフラインマップを使用すると、マルチメディアシステムにマップをダウンロードして保存できるため、インターネット接続が遅い場所、アクセスできない場所、またはインターネット接続を使用したくない場所に移動するときにマップを使用できます。

オフライン地図の一覧は ***A*** にあります。

オフライン地図を「カスタム選択」に追加するには、***17*** を押します。

カスタム選択

この機能を使用して、マップ上のエリアとその情報を選択してダウンロードすることができます。

マップを縮小または拡大して、ダウンロードする選択を調整します。

ナビゲーションの設定

「秘密保持センター」*6*

このメニューでは、次のデータの共有について構成できます。

– 「運転データを Google® と共有する」
– 「オフラインマップ」。

車両の位置設定に直接アクセスするには、「位置設定にアクセス」を押します ***18***。

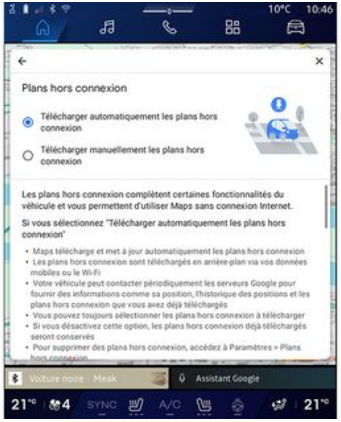
「運転データを Google® と共有」

走行と位置のデータを Google® と共有できます。この機能を使用して、ナビゲーション、リアルタイムの交通状況、「オフライン地図」の利用可能性など、Google®によってお客様や他のユーザーに提供される情報を改善することができます。

共有には次の場合があります:

– 「接続切断」
– 「詳細なナビゲーション中」のみ有効にする
– 「常時作動」

「オフラインマップ」のオプション



次の方法で、オフラインマップの更新をダウンロードすることができます。

– 自動的に

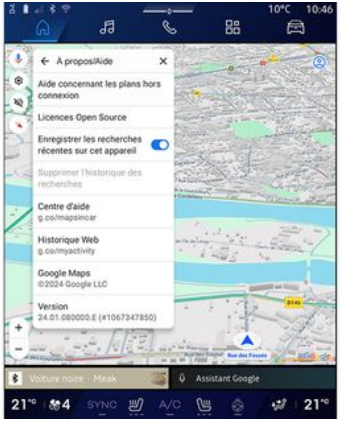
または

– 手動で。

注: 詳細については、マルチメディア画面に表示される詳細と手順を参照してください。

ナビゲーションの設定

「詳細／ヘルプ」*7*



このメニューから、情報にアクセスし、次の要素を使用できます。

- 「オフライン地図に関するヘルプ」
- 「Open Sourceライセンス」
- 「ヘルプセンター」
- 「ウェブ履歴」
- « Google Maps™ » ;
- 「バージョン」
- …

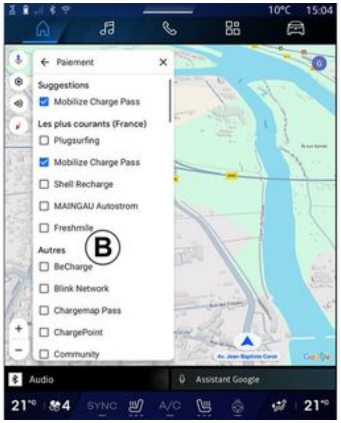
「3D建物」*9*

マッピングで許可されている建物を3Dで表示することを選択できます。この機能を有効化 / 無効化するには、***10***を押します。

「自宅または職場の住所」*11*

このメニューから自宅と職場の住所を設定できます。

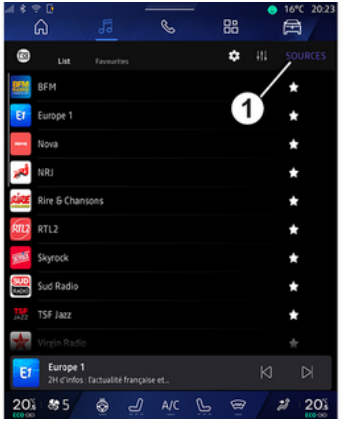
「EV支払いフィルター」*12*（電気自動車）



このメニューで、リスト***B***からフィルタリングする電気自動車の充電ステーションの支払いオプションを選択できます。

音源

はじめに



「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 から、「ｿｰｽ」 ***1*** を押して音源を選択できます。

ステアリングコラム制御を使用して、オーディオソースを選択することもできます。詳細については、「コントロールの概要」の項 ➔ **9** を参照してください。

音源は、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。

「Play Store™」アプリケーションからダウンロード可能な音源のみが表示され、マルチメディア画面で選択できます。

「音源」画面

2. 「Android Auto™」ソース。

3. 「CarPlay™」ソース。

4. 「Bluetooth®」音源。

5. 「アプリ」ソース。

6. 「音源」画面を終了できます。

7. 「USB」ソース（USB ポート）。

8. 「ﾗｼﾞｵ」ソース。

9. 「Podcasts」ソース。

10. 「Google News」ソース。

« Android Auto™ »

このソースを使用して、スマートフォンの複製を介して「Android Auto™」アプリが装備されている場合は、スマートフォンから音楽を聴きます。詳細については、「Android Auto™、CarPlay™」➔ **75**と「音楽」➔ **56**の項を参照してください。

« CarPlay™ »

このソースを使用して、スマートフォンの複製を介して「CarPlay™」サービスが装備されている場合は、スマートフォンから音楽を聴きます。詳しくは、「Android Auto™、CarPlay™」の項 ➔ **75** をご覧ください。

「Bluetooth®オーディオ」

このソースを使用して、Bluetooth® 接続を介してスマートフォンの音楽を聴くことができます。詳細については、「音楽」➔ **56** および「電話の接続、接続解除」の項 ➔ **62** を参照してください。

「アプリ」

このソースを使用して、ストリーミング音楽アプリで音楽を聴き、「Play Store™」アプリからダウンロードしたオーディオアプリにアクセスします。詳細については、「音楽」➔ **56**および「アプリケーション管理」➔ **79**の項を参照してください。

音源

« ﾗｼﾞｵ »

このソースを使用してラジオを聴きます。詳しくは、「ﾗｼﾞｵ」の項 ➔ **51** をご覧ください。

3

「USB」（USBポート）

このソースを使用して、USBドライブから音楽を聴くことができます。詳細については、「音楽」の項 ➔ **56**を参照してください。

注：

– 形式によっては、システムで認識されない場合もあります。
– USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 GB、最大64 GBの容量が必要です。

« Podcasts »

このソースを使用して「Podcasts」を聴きます。

« Google News »

このソースを使用して「Google News」を聴きます。

ラジオを聞く

はじめに

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

保存された局を選択したり、ステアリングコラムコントロールのボタンを使用して選択したモードに応じて、ラジオ局をリストでスクロールしたりできます。ステアリングコラム上にある制御機能の詳細については、「制御機能の概要」➔ 9 の項をご覧ください。

「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 から、*3* ボタンを押してソース「ﾗｼﾞｵ」を選択します。

「ﾗｼﾞｵ」ソースには、「アプリ」領域 からアクセスすることもできます。

ステアリングコラム制御を使用して、オーディオソースを選択したり、ステーションを参照したり、選択モード（「リスト」、「お気に入り」）を変更できます。詳細については、「コントロールの概要」の項を参照してください。➔ 9.

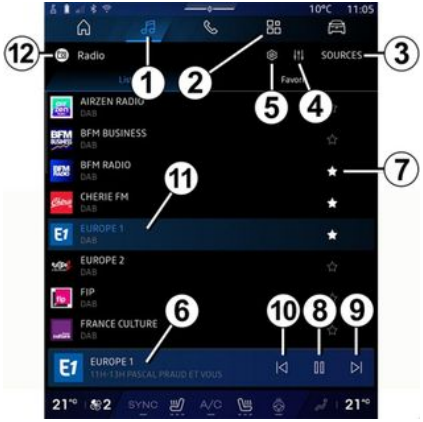
「ﾗｼﾞｵ」画面

A. 「ﾘｽﾄ」モードタブ。

B. 「お気に入り」モードタブ。

C. 利用可能なラジオ局のリスト。

D. 現在再生中のラジオ局の再生エリアで、フルスクリーン表示にアクセスします。この領域を押すと、現在再生中のトラックがフルスクリーンで表示されます。



1. 「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 にアクセスします。

2. 「アプリ」領域 にアクセスします。

3. オーディオ「ｿｰｽ」にアクセスできます。

4. 「オーディオ設定」にアクセスできます。

5. 「ﾗｼﾞｵ設定」にアクセスできます。

6. 現在再生中のラジオ局。

7. 局を「お気に入り」に保存できます。

3

8. 現在の局のラジオ / 再生を停止します。

9. 次の局に進みます。

10. 最後の局に移動します。

11. 今再生しているラジオ局名。テキスト情報（ラジオのロゴ、シンガー、曲など）。

12. 聴取中の「ｿｰｽ」の種類。

注: 一部の情報は、特定のラジオ局でのみ使用可能です。

全画面表示E

全画面聴取モードの場合に現在徴収中のラジオ放送局を領域 ***D*** に表示するにはこの領域を押します。

全画面表示 ***E*** を終了するには ***13*** を押します。

車両が停止しているとき、現在の局 DAB で許可されている場合は、再生中のラジオ局のロゴを押すことにより「画像の自動スクロール表示」を有効にできます。

ラジオのバンドを選択する

次のラジオの周波数帯をせっていするにはボタン ***5*** を押します。

– « FM » :

  – « 代替周波数（AF） » ;
  – « 地域 ».

– 「DAB」（地上波デジタルラジオ）。

  – « 切替 (DAB ↔ FM) » ;
  – 「自動スクロール画像」。

ラジオ番組

聴取中の放送局に応じて、現在聴取中の番組と今後24時間の間に放送される番組の詳細を確認できます。

該当番組の一覧を表示するには、ボタン ***15*** を押します。

注: この機能は、該当放送局の番組が DAB で放送される場合に限り使用できます。

局の検索

一覧にアルファベット順で表示されている、現在のラジオ周波数帯内にあるラジオ局を検索できます。次の放送局に進んだり前の放送局に戻ったりするにはボタン ***14*** を押します。

「お気に入り」との間でラジオ局の追加／削除を行えます

全画面表示モードか「ﾘｽﾄ」モードから、「お気に入り」との間で現在聴取中のラジオ局の追加／削除を行うにはボタン ***7*** を押します。

モード「ﾘｽﾄ」A

このモードでは、マルチメディアシステムが捕捉しアルファベット順に表示

ラジオを聞く

されている局の中から希望の局を検索および表示できます。

すべての局を一覧表示するには、一覧 ***C*** をすばやくスワイプします。

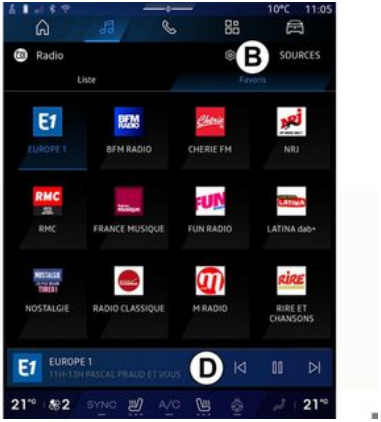
リストからラジオ局を選択して、直接聴くことができます。

聴取中のラジオ局はミニプレーヤー ***D*** に表示されます。この領域を押すと、現在のラジオがフルスクリーンで表示されます。

「FM」ラジオ局が RDS システムを使用していない場合、またはラジオの受信状態が悪いエリアに車両がある場合、ラジオ局の名称とロゴは画面に表示されず、周波数だけが表示されます。

注: 一部の情報は、特定のラジオ局でのみ使用可能です。

「お気に入り」モード B

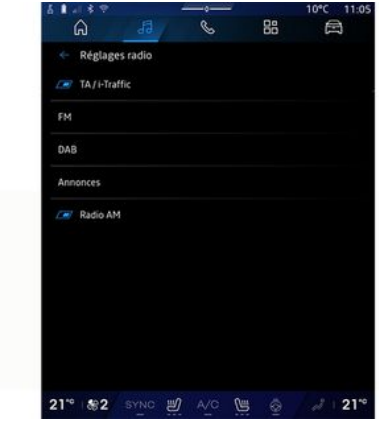


このモードでは、以前に記憶させたラジオ局にアクセスできます。

リストからラジオ局を選択して、直接聴くことができます。

聴取中のラジオ局はミニプレーヤー ***D*** に表示されます。

「ﾗｼﾞｵ設定」メニュー 5



「ﾗｼﾞｵ設定」メニュー ***5*** では、ラジオに関する次の機能にアクセスできます。

– 「TA/I-Traffic（装備により異なります）」
– « FM » ;
– DAB（装備により異なります）
– 「i-ｱﾅｳﾝｽﾒﾝﾄ」（装備と国によって異なります）

「TA/I-Traffic」（交通情報）

（装備により異なります）

この機能を有効にすると、お使いのオーディオシステムが、一部の FM および DAB ラジオ局が送信している交

3

通情報を自動的に受信することができます（国によって異なります）。

その後、交通情報を送信している局の周波数を選択する必要があります。別の音源を聴いている場合（USB、Bluetooth®）、その音源は交通情報の着信時に自動的に中断されます。

« FM »

この調節で次の要素を有効または無効にできます:

– « 代替周波数（AF） » ;
– « 地域 ».

« 代替周波数（AF） »

「FM」ラジオ局の周波数は、地域によって変更される事があります。

代替周波数（AF） 機能を有効にして、地域の変更中に同じラジオ局を続けて聴取します。

オーディオシステムは、中断することなく周波数の変更に追随します。

注: すべてのラジオ局がこの機能を提供しているとは限りません。

受信状態が悪いと、時々不要で不快な周波数変化を引き起こす可能性が有ります。そういう場合は、自動周波数再調整を終了させて下さい。

« 地域 »

地域 が有効化されていると、信号の強度が低下した場合に、ラジオは新しい周波数帯に切り替わり、切り替え前に聴取していた放送を引き続き聴取できるよう調整します。

注：

– 同一エリア内にある放送局であっても、番組やラジオ局名は異なる場合があります。
– またラジオ局の中には、地域限定の周波数帯で放送している局もあります。この場合：
– 「地域」が有効化されている状況であれば、システムは新地域の放送局への切り替えを行わず、通常とおりに、当初の地域にある放送局間での切り替えを行います。
– 「地域」が無効化されている状況であれば、放送番組が異なる場合でもシステムは新地域の放送局への切り替えを行います。

« DAB »

（装備により異なります）

この調節で次の要素を有効または無効にできます:

– « 切替 (DAB ↔ FM) » ;
– 「画像の自動スクロール表示」（装備によって異なります）。

« 切替 (DAB ↔ FM) »

この機能を有効にすると、現在再生中の DAB 局の受信状態が悪い場合、ラジオシステムは同等の FM 局に自動的に切り替わります（利用可能な場合）。

オーディオシステムでは、受信可能になるとすぐに、デジタル DAB ラジオ局に自動的に戻ります。

注: この機能は、局に FM および DAB バージョンがある場合にのみ使用できます。

「画像の自動スクロール表示」

この機能が有効化されており現在聴取中の放送局 DAB が対応している場合、全画面聴取モードでは画像がスライドショー形式で画面上にスクロール表示されます。

注: この機能は、再生中のラジオ局のロゴを押すことにより、停止している車両でのみ使用できます。

« i-ｱﾅｳﾝｽﾒﾝﾄ »

（装備と国によって異なります）

この機能が有効になっている場合、一部の「DAB」ラジオ局が自動送信している情報をすぐに聴く事ができます。

続いて別の音源を選択すると、選択したプログラムのタイプの放送が、他の音源の読み込みを中断します。

この設定では、次の項目に関するお知らせを有効化／無効化できます。

– 「緊急」
– 「事故」
– 「天候」
– 「情報」
– 「イベント」
– 「スポーツ」

ラジオを聞く

– 「その他」。

« オーディオ設定 » 4

オーディオ設定は ***4*** アイコンから調整できます。

調整可能な設定の詳細については、「オーディオ設定」の項 ➔ **59** をご覧ください。

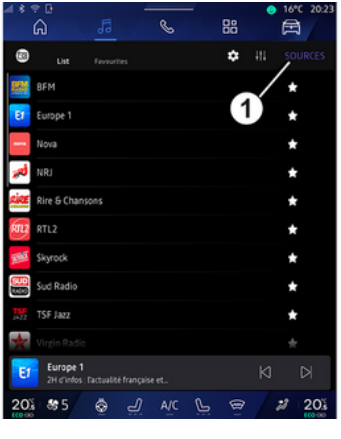
3

音楽

はじめに

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ステアリングコラムコントロールのボタンを使用して、オーディオソースを変更できます。



「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 で、「ｿｰｽ」 ***1*** を押して聴く音楽ソースを選択します。

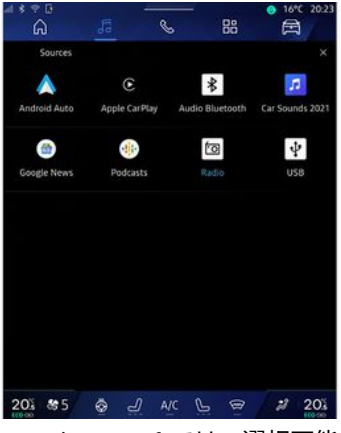
ステアリングコラムコントロールを使用して、聴く音源を選択し、音楽トラックとフォルダを参照できます。詳細については、「コントロールの概要」の項を参照してください。➔ 9.

音楽ソースは、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。使用可能なソースのみがマルチメディア画面に表示され、選択できます。

注：

– 使用するオーディオストリーミングアプリケーションによって、表示とコントロールが異なる場合があります。
– 形式によっては、システムで認識されない場合もあります。
– USBドライブは、FAT32またはNTFS形式でフォーマットされ、最小8 GB、最大64 GBの容量が必要です。

「ｿｰｽ」メニュー



「ｿｰｽ」メニュー ***1*** では、選択可能な各種音源から音楽を選択できます。

マルチメディアシステムに接続された入力ソースを選択して、次のリストからアクセスします：

– « ﾗｼﾞｵ » ;
– 「USB」（USB ポート）、
– 「Bluetooth® オーディオ」
– « Podcasts » ;
– « CarPlay™ » ;
– « Android Auto™ » ;
– オーディオストリーミングアプリ
– ...

音楽ソースは、イクイップメントレベルによって異なる場合があります。

音楽

注: 他の音源は、「Play Store™」経由でインストールでき、インストールすると選択可能な音源の一覧に表示されます。アプリのインストールの詳細については、「アプリの管理」➔ **79** の項を参照してください。

「再生」モード

A. 現在再生中のオーディオトラックに関する情報（曲名、アーティスト名、アルバムタイトル、ソースから転送された場合のアルバムカバー）。

2. 「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 にアクセスできます。

3. 現在の再生リストにアクセス

4. 再生中の曲の時間や長さ。

5. オーディオトラックのリピートを一度だけオン/オフにするか、連続リピートします。

6. 次のトラックを再生します。

7. オーディオトラックの再生を一時停止／再開します。

8. 短押し: 再生中の曲の先頭に戻ります。

（最初の短押しから3秒以内に）再度短押し: 前曲を再生します。

9. オーディオトラックのランダム再生を有効または無効にします。

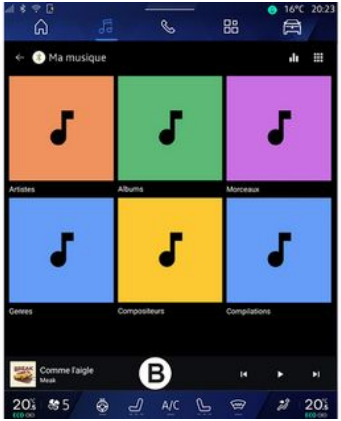
10. 現在再生中のオーディオトラックのプログレスバー。

11. ミニプレーヤーでリストモードに戻ります。

注：

– 再生中の曲を全画面表示 ***A*** にするかミニプレーヤー ***B*** に表示するかを選択できます。
– 電話およびストリーミング音楽アプリケーションによっては、特定の機能が利用できない場合があります。

「Bluetooth®」、「USB」、およびオーディオストリーミングアプリケーション



「Bluetooth® オーディオ」、「USB」音源、または音楽ストリーミングアプリケーションでは、次のカテゴリー別プレイリストにアクセスできます。

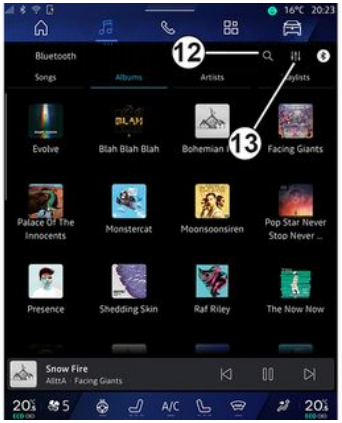
– « アーティスト » ;
– « アルバム » ;
– « ソングス » ;
– « Playlists » ;
– ...

再生中の曲がミニプレーヤー ***B*** に表示されます。この領域を押すと、再生中の曲が再生モード ***A*** で表示されます。

音楽

「検索」

（「ｿｰｽ」の種類に応じて異なります）



「検索」アイコン ***12*** を押す（利用できるかどうかは、「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 にある「ｿｰｽ」の種類によって異なります）。

– トラックタイトル
– アルバム
– アーティスト
– プレイリスト。
– ...

キーボードを使用して名称を入力できます。

最初の文字を入力すると、マルチメディアシステムは関連する名前をすぐに提案します。

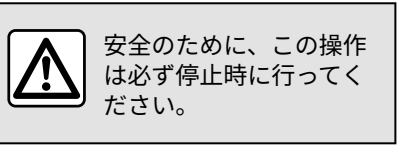
提案のリストから名前を選択します。

「オーディオ設定」13

オーディオ設定は ***13*** アイコンから調整できます。

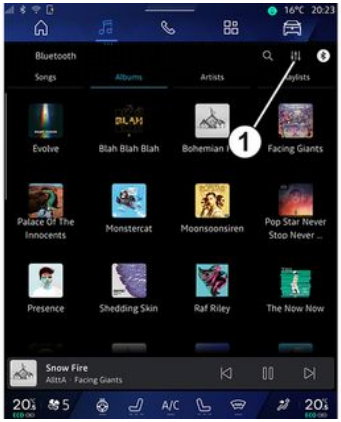
調整可能な設定の詳細については、「オーディオ設定」の項 ➔ 59 をご覧ください。

音を調整する



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

はじめに



アイコン ***1*** を押すと、次のオーディオ設定を調整できます。

– « ﾑｰﾄﾞ »;
– « 音 ».

« ﾑｰﾄﾞ »

（装備により異なります）

タブ ***A*** では、次の既定音楽イコライザーのいずれかを選択できます。

– « Studio »;
– « Concert »;
– « Podcast »;
– « Immersion »;
– « Club »;
– ...

注: 選択できる音楽イコライザーは、車両装備に応じて変動します

« 音 »

（装備により異なります）

タブ ***B*** では、次の設定を調整できます。

– « ﾊﾞﾗﾝｽ/ﾌｪｰﾀﾞｰ »;
– « ｻｳﾝﾄﾞｺﾝﾄﾛｰﾙ »;
– « 音量/ｽﾋﾟｰﾄﾞ »;
– « 標準音量に調整 ».

音を調整する

« ﾊﾞﾗﾝｽ/ﾌｪｰﾀﾞｰ »

この機能は、サウンドの配分バランスを設定します。車両の乗員全員に音が聴こえるよう最適化するか、後部座席の乗員が快適に過ごせるように音が鳴る設定（後部座席ではオーディオが消音になり、車両の前席では控えめの音量で再生する設定）にするには「中心」か「ﾌﾛﾝﾄ」を押します。

画面へのタッチ中か、「マニュアル」の選択中には、対象 ***2*** を移動させることで設定を変更できます。

« ｻｳﾝﾄﾞｺﾝﾄﾛｰﾙ »

この機能を使用して、オーディオをイコライズすることができます。

– 「低音域強化」を有効化／無効化する方法
– « 低音域 » ;
– « 中音域 » ;
– « 高音域 » ;
– ...

« 音量/ｽﾋﾟｰﾄﾞ »

この機能は、車両速度に基づいてボリュームレベルを自動的に調整するために使用できます。感度を調整するには「音量/ｽﾋﾟｰﾄﾞ」を押し、無効化するには「音量/ｽﾋﾟｰﾄﾞ」音量バー上を直接押します。

« 標準音量に調整 »

この機能では、あるオーディオソースから別のオーディオソースに対して一定の音量を維持することができます。

「harman kardon」オーディオシステム

車両に「harman kardon」オーディオシステムが装備されている場合は、追加の設定にアクセスできます。

– 「Subwoofer」を ON または OFF にして、調整します。
– 補助音楽イコライザー
– ...

「Subwoofer」モードは、車両内で没入感のあるオーディオ体験を作り出すサウンド要素を最適化します。

電話のペアリングや接続

電話のペアリング、ペアリング解除

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

はじめに

この機能により、お使いの電話がマルチメディアシステムとペアリングされます。

「新しいデバイスとペア設定」メニューには次の方法でアクセスできます。

– 「電話」領域 で、「Bluetooth® を使用して接続」を押す（ペアリング済みの電話が存在しない場合）。

– 「アプリ」領域 で、「デバイスマネージャー」を選択します。

– 「車両」領域 、「設定」を選択し、次に「Bluetooth®」を選択します。

– 「電話」領域 で、「設定」アイコン 、「デバイスマネージャー」の順に押す（電話がすでにペアリングされている場合）。

– 「ｵｰﾃﾞｨｵ」領域 で、「Bluetooth® を使用して接続」を押す（ペアリング済みの電話が存在しない場合）。

– 通知センターで、「設定」アイコン を選択し、次に「Bluetooth®」を選択します。

注 : マルチメディアシステムに電話が切断されていない場合、いくつかのメニューは無効になります。

電話をペアリングすると、マルチメディアシステムが電話機能にアクセスできるようになります。お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

マルチメディアシステムで「dual SIM」装備されている電話を管理するには、電話をデフォルトSIMで使用する設定を行います。電話の取扱説明書を参照してください。

注 :

– ペアリング前には、電話の Bluetooth® 機能が有効化されており、ステータスが「表示」に設定されているか確認してください。
– 電話をペアリングするには、車両を停止させる必要があります。

互換性のある電話のリストの詳細については、**https://renault-connect.renault.com** を参照してください。

電話のペアリング

ハンズフリー電話システムを使用するには、お使いの Bluetooth® 電話をマルチメディア システムとペアリングさせます。

電話の認識ステータスの有効化の詳細については、電話の取扱説明書を参照してください。

電話が、連絡先、発信ログ、メッセージなどの共有の許可を求めてくる場合があります。共有を受け入れて、マルチメディアシステムにそれらの情報が表示されるようにします。

「電話」領域 から、「Bluetooth® を使用して接続」を選択するか、「アプリ」領域 からマルチメディアシステムの「デバイスマネージャー」を選択します。

– 電話のペアリングを求めるメッセージが画面に表示されます。
– 「新しいデバイスとペア設定」を押します。マルチメディアシステムが、

4

電話のペアリングや接続

Bluetooth® が有効化されており認識できる近くの電話を検索します。
– 提案のリストから電話を選択するか、電話からマルチメディアシステムを選択します。

提案されたコードが電話とマルチメディアシステムの間で同じ場合、マルチメディアシステム画面と電話にメッセージが表示され、ペアリング要求に同意するメッセージが表示されます。

電話がマルチメディアシステムとペアリングされると、「デバイスマネージャー」経由で使用可能なサービスを選択できます。詳細については、「電話の接続、接続解除」➔ 62の項を参照してください。

注: 電話はペアリング時に使用されるプロファイルにリンクされています。電話は、他のユーザープロファイルでは使用できない場合があります。

別の電話のペアリング

「デバイスマネージャー」メニューでは、次の手順で、新しい電話とマルチメディアシステムをペアリングできます。

– アイコン ***1***「新しいデバイスとペア設定」を押します。
– 提案されたリストから新しい電話を選択し、ペアリング手順を完了します。

「車両」領域 、「設定」、「Bluetooth®」、「新しいデバイスとペア設定」から新しい電話を追加し、提案のリストから新しい電話を選択して、ペアリング手順を完了することもできます。

新しい電話がマルチメディアシステムとペアリングされました。

ペアリング可能な電話の数に制限はありません。

電話のペアリング解除

「デバイスマネージャー」メニューでは、次の手順でマルチメディアシステムと電話のペアリングを解除できます。

– 電話の横にあるアイコン ***2*** を押します。
– 「はい」を押して確定します。

電話の接続、取り外し

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

特定の機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

電話の接続

電話を接続するには、電話を事前にペアリングする必要があります。詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」➔ 61 の項をご覧ください。

電話のペアリングや接続

注 : マルチメディアシステムに電話が切断されていない場合、いくつかのメニューは無効になります。

電話を接続すると、マルチメディアシステムが電話機能にアクセスできるようになります。お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

マルチメディアシステムで「dual SIM」装備されている電話を管理するには、電話をデフォルトSIMで使用する設定を行います。電話の取扱説明書を参照してください。

自動接続

マルチメディアシステムが起動すると、ハンズフリー電話システムが、近く（最大10 m）でBluetooth®が作動中のペアリングされている電話を検索します。システムが、最後に接続された電話のデータ（電話帳、音楽など）を自動的に表示します。

注: 電話がマルチメディアシステムに自動的に接続される際のデータ（電話帳、SMS、連絡先など）の表示は、電話をマルチメディアシステムとペアリングした時にデータ共有を許可した場合にのみ、有効となります。詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」➔ 61 の項をご覧ください。

> ⓘ 互換性のある電話機のリストについては、https://renault-connect.renault.com サイトを参照してください。

手動接続

「Bluetooth®」メニューを使用して、マルチメディアシステムに電話を手動で接続 / 切り離しできます。このメニューには、次の場所からアクセスできます。

– 「車両」領域 、「設定」、「Bluetooth®」の順に選択します。

– 通知センターで、「設定 」を選択し、次に「Bluetooth®」を選択します。

「Bluetooth®」メニューから「ペアリングされたデバイス」を選択して、ペアリングされている電話のリストを表示します。

接続したいサービスと電話を選択し、Bluetooth®が有効化されていることを確認します。

注: 電話を接続するときに通話中の場合は、車両のスピーカーに通話が自動的に転送されます。

サービスデータの管理

マルチメディアシステムを介して電話帳、音楽およびインターネット接続に直接アクセスするには、「Bluetooth®」メニューの「ペアリング中のデバイス」にある「プロフィール」からサービスデータ共有を許諾しなければなりません。「ペアリング中のデバイス」の名称を押すと、使用を希望する次のサービスを有効化／無効化できます。

– 「電話」: 電話をかけたり受けたりできます。
– 「マルチメディア」: 音楽にアクセスできます。
– 「インターネットアクセス」: Bluetooth® によるインターネット接続

電話のペアリングや接続

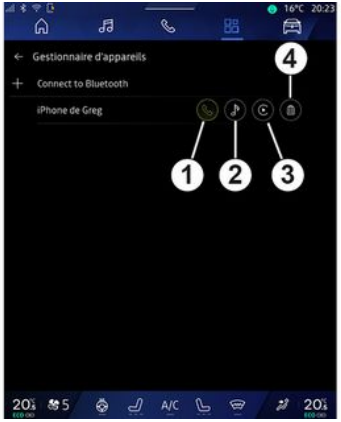
共有にアクセスする（「システム設定」➔ 120 の項を参照）。
– 「SMS」: SMS を送受信できます。
– 「連絡先の共有」: 電話帳と通話ログにアクセスします。
– ...

注: サービスがハイライト表示され、作動していることを示します。

4

「インターネットアクセス」サービスの使用中にデータ転送を高速化するには、「アクセスポイントや接続の共有」WIFI 経由で電話のインターネット接続を使用する方法も使えます（ご契約の携帯電話会社によっては別料金や諸制限の対象となります）。

« デバイスマネージャー »



「アプリ」領域 から、「デバイスマネージャー」を選択し、候補のリストから電話を選択し、有効化／無効化する電話機能を選択します。

– « 電話 » ***1*** ;
– 「音楽」***2***。
– スマートフォンレプリケーションアプリケーション ***3***
– 電話のペアリング解除 ***4***

注：

– 作動すると、サービスアイコンが強調表示されます。
– 自動データ転送が可能な電話もあります。

「ホームページ」領域 の「電話」ウィジェットにある「デバイスマネージャー」アイコンから「デバイスマネージャー」にアクセスすることもできます。

接続した電話を充電する

「デバイスマネージャー」から、既にペアリング中でデバイス一覧内にある別の電話に接続するサービスを選択します。

注: 接続した電話を充電するには、最初に複数の電話をペアリングする必要があります。

電話の取り外し

「Bluetooth®」メニューから「ペアリングされたデバイス」を選択し、「接続を外す」 を押して電話の接続を外します。

注: 電話を取り外す時に通話中の場合、通話は自動的にお使いの電話機に転送されます。

通話管理

電話をかける

「電話」領域

「電話」領域 から。

注 : 電話をかけるには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。詳細については、「電話の接続、接続解除」➔ 62の項を参照してください。

電話をかける

次を選択して電話をかけることができます。

– 「最近の通話履歴」タブ ***A*** に表示される通話履歴内の番号

– 「連絡先」メニュー ***B*** から選択できる電話帳内にある番号

– 「お気に入り」メニュー ***C*** から選択できるお気に入り内にある番号

– 「キーボード」メニュー ***D*** から操作できる数字キーパッドを用いて入力でき番号

「通話中」画面

1. 連絡先の名前または電話番号。

2. 現在の通話時間。

3. 現在の通話を保留にする。

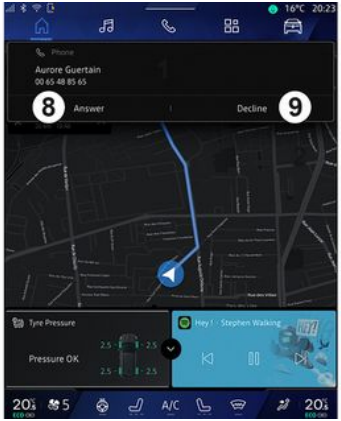
4. 通話を電話機に転送する。

5. 電話を切る。

6. デジタルキーパッドにアクセスして番号をダイヤルする。

7. マイクを無効または有効にします。

電話を受ける



通話管理

着信すると「着信」画面が表示され、次の情報が表示されます。

– 電話帳に登録されている氏名（氏名がお気に入りまたは電話帳に登録されている場合）
– 通話者の電話番号（名前が電話帳に存在しない場合）、
– 「番号非通知電話」（番号を表示できない場合）

4

「応答」

電話に出るには、ステアリングホイール上の制御ボタン ***10*** を押すか、マルチメディアシステム画面上の「応答」ボタン ***8*** を押します。

着信「拒否」

着信を拒否するには、ステアリングホイール上の制御ボタン ***10*** 2 回押すか、マルチメディアシステム画面上の「拒否」ボタン ***9*** を押します。

発信者はボイスメールにリダイレクトされます。

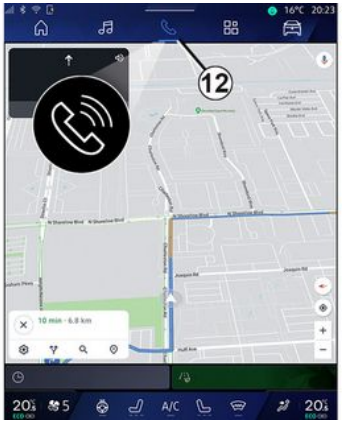
通話中

通話中に以下ができます:

– ステアリングコラムのコントロールボタンまたはマルチメディア画面の音量ボタンで音量を調整する。
– 「通話を終了」***5***を押すか、ステアリングホイール上のボタン***10***を押して電話を終了する。
– ボタン***3***を押して通話を保留にする。通話を再開するには、もう一度ボタン***3***を押します。
– 「電話に転送」ボタン ***4*** を押して、接続されている電話に通話を転送する。
– 2 番目の電話に応答したり、***11*** を押して 2 つの通話を切り替えたりする。

注：

– 2 番目の着信に応答すると、最初の通話は自動的に保留になります。
– 通話中に 2 回目の通話を受信できますが、2 回目の通話はできません。
– 「キーボード」ボタン ***6*** を押してデジタルキーパッドにアクセスする。
– 「消音」ボタン ***7*** を押してマイクを無効化または有効化する。



通話中は、通話を終了することなく領域を変更できます。

「電話」領域 に戻るには、***12***を押します。

通話を終了する

通話を終了するには、ステアリングホイール上の制御ボタン ***10*** か、マルチ

通話管理

メディアシステム画面上の「通話終了」ボタン ***5*** を押します。

電話帳

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

特定の機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

「電話帳」メニュー

「電話」領域 で、「連絡先」タブ ***B*** を押して、マルチメディアシステム経由で電話帳にアクセスします。

マルチメディアシステムによる、「dual SIM」装備電話の管理を可能にするには、正しい電話帳にアクセスできるよう電話を構成します。

1. 電話の接続

2. 名前または番号で連絡先を検索します。

3. 詳細な連絡先。

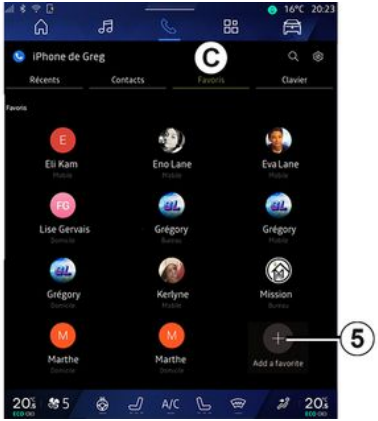
4. 接続されている電話の連絡先リスト。

電話メモリをダウンロードする

デフォルトでは、電話の接続の際に、ハンズフリー接続が作動している場合は、連絡先が自動的に同期されます。詳細については、「電話の接続、接続解除」➔ 62の項を参照してください。

注 :電話帳とマルチメディアシステム経由でアクセスするには、電話のデータの共有を許可する必要があります。詳しくは、「電話のペアリング、ペアリング解除」セクション ➔ 61 と、お使いの電話の取扱説明書をご覧ください。

連絡先「お気に入り」

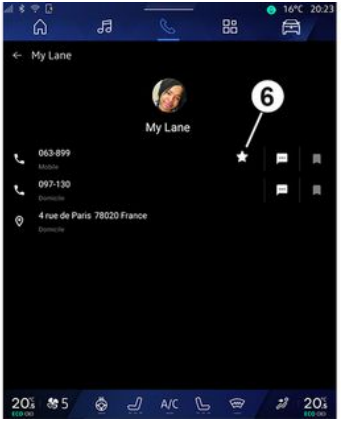


「電話」領域 から、「お気に入り」タブ ***C*** を押して電話のお気に入りに保存されている連絡先にアクセスするか、マルチメディアシステムの「連絡先」一覧から手動で追加します。

4

通話管理

連絡先「お気に入り」を追加



連絡先を「お気に入り」一覧に追加するには「お気に入りを追加」 ***5*** を押し、マルチメディア画面に表示される指示に従います。

星印 ***6*** を選択して連絡先の番号をお気に入りに追加することもできます。

連絡先を検索する

名前や電話番号を入力して連絡先を検索することができます。

虫眼鏡 ***2*** を押します。画面に表示されるデジタルキーパッドを使用して、目的の連絡先の番号または文字の一部を入力します。電話帳には、入力した最初の文字で始まる連絡先のリストが表示されます。

機密性

お客様の連絡先または個人データのコピーは、マルチメディアシステムに保存されません。

機密保持のため、ダウンロードされた各連絡先は、対応する電話機が接続された場合にのみ表示されます。

発信ログ

「最近の通話」履歴にアクセスする

「電話」領域 から、すべての通話履歴にアクセスするには「最近の通話履歴」タブ ***A*** を押します。

通話ログが新しい順に表示されます。

「最近の通話履歴」モード

1. 番号ラベル。

2. 連絡先の名前または電話番号。

3. 通話時間/日付

4. 連絡先情報にアクセス。

5. 発信（緑色の矢印）。

6. 着信（緑色の下向き矢印）。

7. 応答しなかった通話（赤い矢印）。

注: マルチメディア画面によっては表示されない情報もあります。

発信ログを閲覧する

通話のリストをスクロールするには、画面を上下にスワイプします。

通話管理

通話ログから電話をかける

電話する連絡先または番号のいずれかを押します。通話が自動的に開始されます。

電話番号を押す

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

1. ダイヤルした電話番号

2. 番号を削除します。

3. 連絡先の提案

4. 通話

5. デジタルキーパッド

「キーボード」にアクセスします

「電話」領域 から、「キーボード」タブ***D***を押します。

番号をダイヤルして電話をかける

「キーボード」タブ***D***から、発信するには、キーパッド***5***を使用して番号をダイヤルし、***4***ボタンを押します。

初めて電話番号を入力した瞬間から、マルチメディアシステムは、同一番号の相手 ***3*** を連絡先の中から提案します。

発信するには、発信先を選択してボタン ***4*** を押します。

音声制御を使用して番号を入力する

マルチメディアシステムに搭載されている音声制御を使用して、番号を指示することができます。これを行うには、音声コマンド機能を起動し、ビープ音が鳴ったら次の用に話します。

– 「電話」と言います。続いて呼び出す電話番号を発音します。

または

– 「電話」に続いて電話をかけたい相手の名前を言います。

マルチメディアシステムは、提供された番号を表示し、それを呼び始めます。

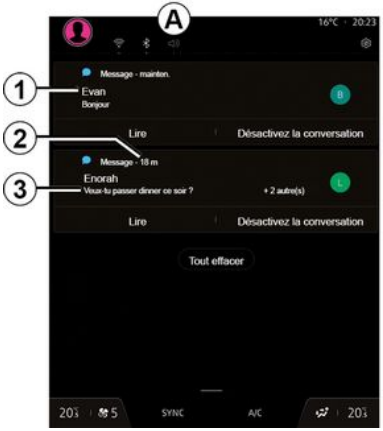
注: 連絡先に複数の電話番号（仕事、家庭、携帯電話など）がある場合は、選択することができます。例:「電話 - Grégory - 自宅」。

音声コマンドの詳細については、「音声認識の使用」➔ **25** の項を参照してください。

4

SMS

> ⓘ 電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。



1. メッセージの送信者の名前 / 電話番号

2. 受信した時間

3. メッセージの開始

注: 走行中はメッセージのプレビューは許可されません。

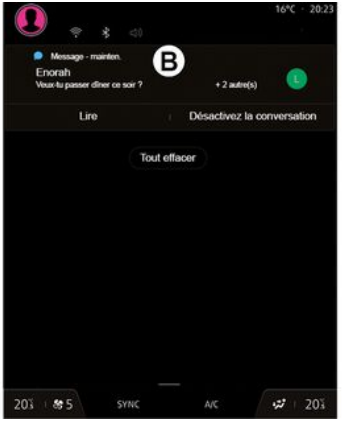
「SMS」にアクセスします。

通知センター ***A*** では、マルチメディアシステムを介して受信した SMS の着信電話にアクセスできます。

電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。また、すべての機能を使用するには、（モデルに応じて電話機の設定を使用して）メッセージの転送を承認する必要があります。

注: 車両装備によっては、走行中に受信した SMS に限りマルチメディアシステム経由で閲覧できます。

SMS の受信

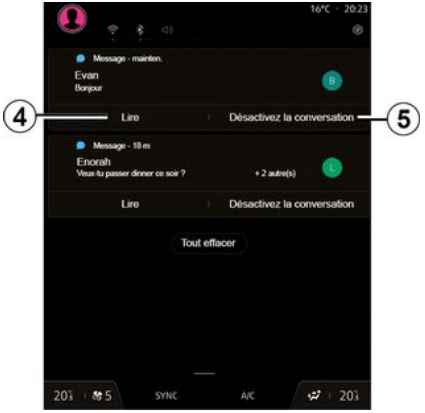


マルチメディアシステムは、開いているメニューに表示されている ***B*** の警告メッセージにより、新しい SMS が受信されたことを通知します。

デフォルトでは、ペアリングと電話の接続後に新しいメッセージを受信すると、マルチメディアシステムで読むことができます。

注: ペアリング後、電話機がマルチメディアシステムに接続されている間に受信したメッセージのみを読むことができます。

SMS の読み取り



マルチメディアシステムでは、「再生」ボタン ***4*** を押して応答することにより、音声シンセザによる SMS の読み上げを有効化できます。

5 ボタンを押すと、会話を無効化して通知を停止できます。

SMS

SMS の読み取りを停止するには、「Ok Google Stop」と言います。

SMS に応答する

マルチメディアシステムでは、音声認識のみを使用して SMS に応答できます。

音声コマンドの詳細については、「音声認識の使用」➔ 25 の項を参照してください。

電話の設定

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

これらの機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

4

「設定」メニュー

電話をシステムに接続し、「電話」領域 で「設定」アイコン ***1*** を押します。

「設定」メニューから、次の設定にアクセスできます。

- 「電話接続」、
  - 「アクティブコール」
  - 「秘密保持」
- 「ホーム画面」
- 「連絡先リストの順序」
- « デバイスマネージャー »；
- 「Bluetooth®設定」

「ホーム画面」

この設定を使用すると、「電話」領域 のホーム画面表示中に表示される次のタブを選択できます。

- 「最近」（デフォルト）
- 「連絡先」
- « お気に入り »；
- « キーボード ».

「連絡先リストの順序」

この設定を使用して、アルファベット順に連絡先を表示できます。

- 「名」
- « 名前 ».

注: 選択は、次にマルチメディアシステムを再起動すると有効になります。

「電話の呼び出し音」

「車両」領域 から、「設定」メニューを押し、「音」の順に押して次の操作を実行します。

- 「着信音量」を調整する ***2***
- 「電話呼び出し音」の種類を選択する ***3***

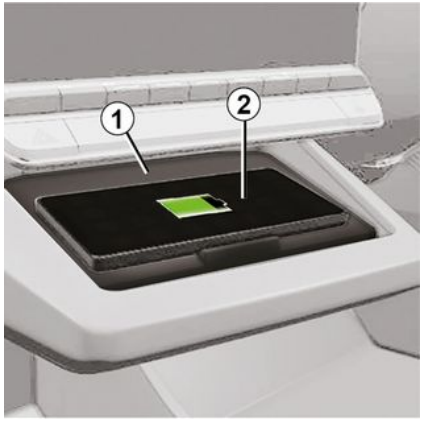
詳しくは「システム設定」の項➔ 120 をご覧ください。

ワイヤレスチャージャー

誘導充電エリア

電話の充電中は、誘導充電ゾーン***1***には、何も（USBドライブ、SDカード、始動カード、クレジットカード、宝石類、キー、コインなど）置かないでください。充電の際には、磁気カードやクレジットカード類をすべて電話ケースから取り出した後に、非接触充電エリア ***1*** 上に電話を置いてください。

非接触充電エリア ***1*** 内に障害物を置くと過熱する恐れがあります。提供されている他の保管場所に保管することをお勧めします（グローブボックス、サンバイザボックスなど）。



非接触充電エリア ***1*** を使用すると、ケーブルなしで電話機を充電できます。

車両が装備されている場合、充電エリアは（車両によって異なります）示されます。

– 関連する記号

と

– 電話が専用エリアに配置されている限り、充電ステータスは画面に自動的に表示されます。

位置は車両によって異なる場合があります。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

注：

– イグニッションスイッチを ON にするか、エンジンを作動させると、誘導充電が開始されます。
– お使いの携帯電話が誘導充電に対応していることを確認してください。互換性のある電話のリストの詳細については、正規サービス工場に問い合わせください。
– 最適な充電結果を得るには、充電する前に電話機から保護ケースを取り外すことがおすすめです。
– 最適な充電のために、スマートフォンの表面全体が充電エリアの表面の最大値と一致し、可能な限り中央に配置する必要があります。

充電の手順

お使いの電話機 ***2*** を非接触充電エリア ***1*** に置きます。充電が自動的に開始され、充電の進行状況 ***3*** が画面に表示されます。

非接触充電エリア ***1*** で障害物が検出されたり、非接触充電エリア ***1*** が過熱したりしている場合は、充電手順が中断される恐れがあります。温度が下がった後、電話はすぐに再充電を開始します。

ワイヤレスチャージャー

充電の進行状況

マルチメディアシステムが、お使いの電話 ***2*** の充電状況 ***3*** を通知します

– 充電完了 ***4***
– 充電中 ***5***
– 充電エリアに電話機あり／電話機過熱／充電手順中断 ***6***

注: 電話 ***2*** の充電手順が中断されると、マルチメディアシステムが通知します。

装備によっては、充電ゾーンの近くにあるカラーインジケータライトも充電状態を通知します。

– 充電が完了すると緑色になります。
– 充電中は黄色になります。
– 誘導充電ゾーンで金属製のものが検出されると、黄色に点滅し、マルチメディア画面にメッセージが表示されます。
– 車が停止し、ドライバーがドアを開けると、マルチメディア画面にメッセージが表示され、ビープ音が鳴り、黄色に点滅します。
– 充電ゾーンの温度が高すぎると、マルチメディア画面にメッセージが表示され、黄色または緑色のスイッチがオフになります。

ANDROID AUTO™,CARPLAY™

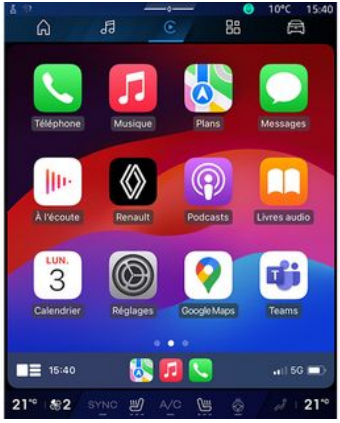
スマートフォンの複製

「Android Auto™」アプリまたは「CarPlay™」サービスを使用する場合は、スマートフォンのインターネット接続を使用しています（携帯電話会社による料金と制限が課せられた場合）。

「Android Auto™」アプリケーションおよび「CarPlay™」サービス機能は、スマートフォンの製品とモデルによって異なる場合があります。詳しくは、製造元の Web サイトを参照してください。

Android Auto™

CarPlay™



この機能では、以下を介して、マルチメディアシステム画面のいくつかのアプリケーションと機能を使用するために、スマートフォンを複製することができます。

– « Android Auto™ » ;

– « CarPlay™ » .

注:「Android Auto™」または「CarPlay™」を使用している場合は、スマートフォンのナビゲーション機能および音楽アプリケーションを利用できます。

これらのアプリケーションは、すでに実行しているマルチメディアシステムに統合された同様のアプリケーションに代わるものです。

次の1つのナビゲーションのみを使用できます。

– « Android Auto™ » ;
– « CarPlay™ » ;
– マルチメディアシステムに含まれているものを使用することができます。

注: マルチメディアシステムの機能の中には、「Android Auto™」アプリケーションまたは「CarPlay™」サービスの使用中もバックグラウンドで実行され続けるものがあります。具体例を挙げると、マルチメディアシステムでのラジオ再生中に「Android Auto™」または「CarPlay™」を始動してスマー

5

トフォンでナビゲーションを使用しても、ラジオの受信は継続されます。

はじめにAndroid Auto™

「Android Auto™」は、マルチメディアシステムの画面でスマートフォンを複製できるアプリです。

注：

– 「Android Auto™」アプリケーションは、スマートフォン車両の USB ポートに接続されている場合、または Bluetooth® がシステムへの自動 WIFI 接続を有効にすることで無線で動作する場合にのみ機能します。
– アプリケーションが正しく機能するようにするには、スマートフォンの製造元が推奨する USB ケーブルを使用することをお勧めします。

初めての使用

まだの方は、対応するスマートフォンのアプリダウンロードプラットフォームから「Android Auto™」アプリをダウンロードし、インストールしてください。

マルチメディアシステムのUSBポートにスマートフォンを接続するか、Bluetooth®経由で接続すると、WIFI接続が自動的に起動します。

アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。

注:お使いのスマートフォンや Android バージョンとの互換性については、「Android Auto™」サービスを使用することで確認できます。詳しくは Google® 文書をご覧ください。

マルチメディアシステムは、「Android Auto™」サービスを使用するように提案します。

アプリケーションは、マルチメディアシステム上で起動され、領域 ***A*** から確認できるはずです。スマホ連携では、「電話」 領域が置き換わり、アイコン ***1*** が表示されます。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

初めて使用すると、スマートフォンの複製は、以降のセッションで自動的に起動します。

「アプリ」領域 、「デバイスマネージャー」から、「Android Auto™」複製アイコン を押して、スマートフォンの複製機能を有効 / 無効にすることもできます。

レプリケーションの終了

「Android Auto™」ワイヤレス複製を終了するには。

– スマートフォンの通知画面で「車モードを終了」を押します。
– 「Android Auto™」レプリケーションアイコン を押してスマートフォンレプリケーションを無効にします。または「デバイスマネージャー」から「電話」サービス を有効化します。
– スマートフォン複製アプリの中から認定ディーラのアプリを選択します。

ANDROID AUTO™,CARPLAY™

はじめにCarPlay™

「CarPlay™」は、お使いのスマートフォンにプレインストールされているサービスで、マルチメディアシステムの画面からスマートフォンの一部アプリを使用することを可能にします。

注：

– 「CarPlay™」サービスは、SIRIサービスと車両のマイクが有効化されており、お使いのスマホが、車両のUSBポートに接続されているか、WIFIによるシステムへの自動接続を有効化するためのBluetooth®を用いて無線接続されている場合に限り機能します。
– アプリケーションが正しく機能するようにするには、スマートフォンの製造元が推奨する USB ケーブルを使用することをお勧めします。

初めての使用

マルチメディアシステムのUSBポートにスマートフォンを接続するか、またはBluetooth®を使用してシステムへの自動WIFI接続を有効にして接続します。

マルチメディアシステムは、次のことを提案します。

- 接続とデータ共有を許可する
- これからのセッション用にCarPlay™に自動的に接続する。

  注: マルチメディアシステムがこれらの選択を記録しないように設定すると、開始するたびにリマインダーのメッセージが表示されます。

アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。

サービスは、マルチメディアシステム上で起動され、領域 ***B*** から確認できるはずです。スマホ連携では、「電話」

領域が置き換わり、アイコン ***2***

が表示されます。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。

「アプリ」領域 、「デバイスマネージャー」から、「CarPlay™」複製アイコン を押して、スマートフォンの複製機能を有効 / 無効にすることもできます。

レプリケーションの終了

「CarPlay™」ワイヤレス複製を終了するには。

– スマートフォンのWIFIを無効にします。
– 「CarPlay™」レプリケーションアイコン を押してスマートフォンレプリケーションを無効にします。または「デバイスマネージャー」から「電話」サービス を有効化します。
– スマートフォン複製アプリの中から認定ディーラのアプリを選択します。

5

音声認識

特定のアプリや機能を音声制御するためにスマートフォンの音声認識機能を有効化／無効化するには、制御ボタン ***3*** を長押しします。

詳細は、「音声認識の使用」➔ **25**の項を参照してください。

Android Auto™

「Android Auto™」レプリケーションを使用すると、次の手順で、スマートフォンのいくつかの機能を制御できます。

– 音声認識ボタン ***4*** を押す
– 音声コマンド「Ok Google」または「Hey Google」を発音する。

CarPlay™

「CarPlay™」レプリケーションを使用すると、次の手順で、スマートフォンのいくつかの機能を制御できます。

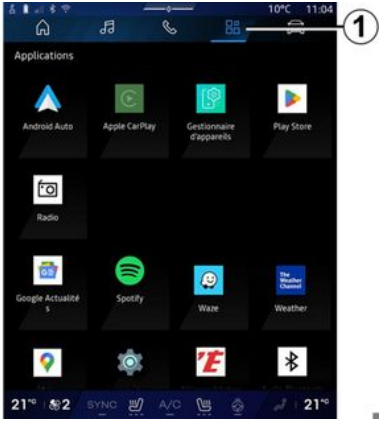
– ボタン ***5*** を長押しする
– 「Dis Siri」または「Say Siri」の音声コマンドを発声することにより、車両のマイクが作動している場合 ***6***。

アプリケーション管理

「アプリ」領域

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

一部の設定は、車両が固定されている間のみ使用できます。



「アプリ」領域 **1** から、以下にアクセスできます。

– お使いのマルチメディアシステムにインストールされているアプリケーション。
– スマートフォンの複製
– 「ユーザーマニュアル」
– 「デバイスマネージャー」
– 「Play Store™」
– ...

注: 一部のサービスは試用期間中無料で利用できます。
www.myrenault.com で、サブスクリプションを延長することができます。

「Play Store™」アプリケーション経由で新しいアプリケーションをダウンロードできます。

「アプリ」メニュー

お使いのマルチメディアシステムにインストールされているアプリケーションにアクセスできます。

2 つの最初の行は、デフォルトで事前にインストールされたアプリケーション専用です。

「Play Store™」からダウンロードした他のアプリケーションは、アルファベット順に表示されます。

アプリケーションが利用できない場合は、表示されません。

アプリケーションを押して開いてください。

アプリケーションを押し続け、次の方法を実行できます。

– 「削除」アプリ ***2***
– アプリケーション ***3*** に関する情報（バージョン、有効性または作成日、タイトルなど）にアクセスする
– アプリを強制終了 ***4*** する

注: 「Play Store™」からインストールされたアプリのみを削除できます。

「アプリ」設定

「アプリ」情報や設定には、次の方法で表示される「設定」メニューからアクセスできます。

– 「アプリ」領域 で、「設定」アプリを選択します。

アプリケーション管理

– 「車両」領域 で、「設定」を選択します。
– 通知センター、次に「設定」アイコン 。

「アプリ」の位置情報

お使いのマルチメディアシステムにインストールされているアプリケーションによる位置情報の利用を許可するには、「設定」メニュー >「位置情報」>「アプリケーションによる利用の許可」***5*** の順に選択します。

「アプリケーションと通知」

「設定」メニューの「アプリケーションと通知」では、お使いのマルチメディアシステムにインストールされている「アプリ」に関する情報や設定にアクセスできます。

– 「すべてのアプリケーションを表示」
– 「デフォルトのアプリケーション」
– 「アプリケーションのアクセス許可」
– 「アプリケーションに与えた特定のアクセス権」。

「すべてのアプリケーションを表示」

マルチメディアシステムに存在するすべてのアプリケーションに関する情報にアクセスできます。

– アプリケーションのタイトル
– アプリケーションのサイズ
– アプリケーションのバージョン
– アプリケーションの妥当性または作成日
– …

「デフォルトのアプリケーション」

次の場合に使用するデフォルトのアプリケーションにアクセスできます。

– ホーム画面
– ヘルプ
– SMS、
– 電話
– ナビゲーションシステム。

アプリケーションアクセスリンクのオープンを設定することもできます。

「アプリケーションのアクセス許可」

アプリが次の用途に情報を使用するこのと許可に関する設定にアクセスできます。

– 「身体活動」
– 「カレンダー」
– 「カメラ」
– 「ボディセンサ」
– 「連絡先」
– …

「アプリケーションに与えた特定のアクセス権」。

使用するアプリケーションに与えた特定のアクセス権を有効または無効にできます。

– 「システム設定を変更する」
– 「通知にアクセスする」
– 「プレミアム SMS にアクセスする」
– 「ユーザー情報へアクセスする」
– 「WIFI スイッチ」。

MY RENAULT

はじめに

「My Renault」アプリを使用する場合は、電話のインターネット接続を使用しています（携帯電話会社による課金と制限の対象となります）。

「My Renault」顧客アカウントには、ウェブサイト（**https://renault-connect.renault.com**）からアクセスするか、「My Renault」アプリケーションをダウンロードしてスマートフォンからアクセスできます。

注：

– 「My Renault」アプリケーションは常時開発中です。アカウントに新機能を追加するには、定期的に接続してください。
– 互換性のある電話の詳細については、正規サービス工場にお問い合わせいただくか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。（**https://renault-connect.renault.com**）。
– 詳細については、正規サービス工場にお問い合わせいただくか、関連するウェブサイト（**https://renault-connect.renault.com**）のオファーRenault Connect を参照してください。

「My Renault」顧客アカウントから、車両とやり取りして情報を取得できます。

– 車両情報を表示します。
– あなたのインタビュートの履歴とカレンダーにアクセスし、予約を取ります。
– 車両を駐車している場所を特定します。
– 車両のホーンとランプをリモートで起動します。
– 契約とサービスを表示および管理します。
– 車両を確認します E-Guide。
– 最寄りの正規ディーラを探すこと。
– ご自身の「PINコード」「My Renault」を作成／変更すること。
– ...

注：

– 特定の機能は、車両装備、サービス契約のサブスクリプション、および国の法律によって異なります。
– 一部の機能には、スマートフォンから「My Renault」アプリを使用する方法でのみアクセスできます。
– このサービスは、車両のリモートコントロールを起動するために有効にする必要があります。詳しくは「サービスの有効化」➔ **12** の項をご覧ください。

「My Renault」の接続サービス

電気自動車の場合

「My Renault」アプリでは、次のような接続サービスを利用できます。

– バッテリー残量と充電状況の確認
– 充電プログラミング
– エアコンまたはヒーターの起動 / 設定
– 「Mobilize charge pass」にアクセス（充電ステーションでの支払い方法）
– 周辺の利用可能な充電端末を見つける
– ルートに沿って充電ターミナルを識別するルートを計画する
– ...

注: 充電、エアコンおよびヒータープログラミング機能は、特定の車両でのみ利用可能です。詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。

「My Renault」アカウントを作成します

「My Renault」機能にアクセスするには、ウェブサイトまたは「My Renault」アプリケーションからユーザーアカウントを作成する必要があります。

ウェブサイトから次を実行します:

– ホームページから「アカウントの作成」を選択します。
– アカウントを作成するために必要な情報を入力します。

アプリケーションから次を実行します:

– アプリケーションのメインメニューから「登録」を選択します。
– アカウントを作成するために必要な情報を入力します。

以前に提供された電子メールアドレスに、確認の電子メールが送信されます。

確認メールに表示されているリンクをクリックして、「My Renault」アカウントの作成を完了します。

注: 同じユーザー名とパスワードを使用して、ウェブユーザーアカウントにログインできます。

ご自身の「My Renault」アカウントと車両の同期

「My Renault」アプリケーションを使用して車両と対話するには、「My Renault」アプリケーションを車両と同期させる必要があります。同期は、アプリケーションを起動すると自動的に実行されます。

注：

– 「My Renault」アプリと車両を同期するには、通信可能範囲内にある場所に駐車して車両のマルチメディアシステムを ON にし、車内で操作する必要があります。
– 「My Renault」アカウントには、管理者プロフィールのユーザーに限り接続できます。
– My Renault アプリが車両と同期されていないと、サービス契約情報にはアクセスできません。

通知センター（*1* を押してアクセス）からご自身の「Profile」、「My Renault」アカウントを選択し、マルチメディアシステム画面の指示に従います。

「My Renault」アカウントがマルチメディアシステムに関連付けられると、アプリケーションを起動したときに、同期が自動的に行われます。

「My Renault」アカウントに車両を登録します

お使いの「My Renault」アカウントが車両と同期済みの場合は自動的に登録されます。

「車両を追加」をクリックし、お使いの車両の VIN（車両識別番号）または登録番号を手入力またはスキャンする方法で、お使いの My Renault アカウントを介してお使いの My Renault アカウントに車両情報を登録することもできます。

サービスの更新

期限切れに近づくにつれてサービスの1つを更新するには、「My Renault」アカウントの「Renault CONNECT store」タブに移動し、「マイサービス」を選択します。

次に「更新」をクリックし、ステップバイステップの手順に従います。

車両の貸し出しや手放し

車両貸出

法的情報

お使いの車両を他人に貸す場合は、車両を貸す相手に、該当車両はネットワークに接続されており車両の位置といった個人情報が収集される旨を必ずお知らせください（詳しくは、接続サービスの一般販売条件をご覧ください）。

データの収集

車両データの収集は一時的に停止されることがあります。

これを行うには、車両が起動し、「セキュリティと機密性」のウィンドウがセンター画面に表示されたら、「OFF」を選択して、データ収集を中断します。

事故発生時の自動緊急通報に関する必須の安全機能を除いて、サービスは無効になります。

車両譲渡

車両を手放す際には、この車両が接続されており、車両の位置情報などの個人データを収集することを新しい購入者に通知する必要があります。

個人データの削除

（転売や売却などにより）車両を手放す場合は、必ず、車両内外に保存されている個人情報をすべて削除してください。

この削除を行うには、車載システムをリセットし、お使いの車両の情報をご自身の「My Renault」アカウントから削除します。

システムをリセットする

車両を手放す際は、売り手はシステムをリセットする必要があります。これを行うには、車両のマルチメディアシステムをオンにします。

「車両」領域 から、「設定」、「システム」、「オプションのリセット」、そして「工場出荷時の設定に戻す」（データの削除）の順に選択します。

注: 管理者プロファイルからシステムをリセットする場合のみ可能です。

「My Renault」アカウントからお使いの車両を削除します。

車両を手放す際には、ご自身の「My Renault」アカウントからも車両情報を削除する必要があります。

この削除を行うには、「My Renault」アカウントにログインし、仮想ガレージで関連車両を選択した後に、ホームページの一番下にある「この車両を削除」をクリックします。

5

「運転ｱｼｽﾄ」メニュー

これらの機能は、運転時の補助を提供します。したがって、どのような場合でも速度制限に注意し、細心の注意を払う（突然の事態にもブレーキを踏めるように常に備える）必要があり、その責任はドライバーにあります。

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

一部のトリップコンピュータサービスは、サブスクリプションによってのみ利用可能であり、定義された期間中にアクセスできます。
www.myrenault.comウェブサイトからサブスクリプション期間を延長することができます。

一部の設定は、マルチメディアシステムによって保存されるために、エンジンの稼働中に変更する必要があります。

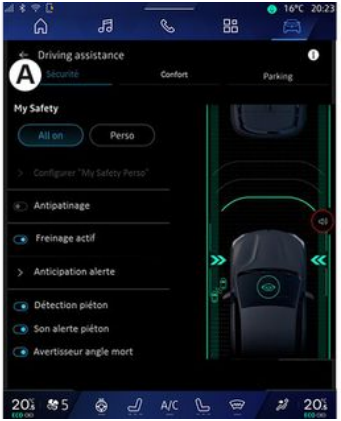
はじめに

車両には、車両を運転する際に補助的な支援を提供するドライビングアシストが装備されています。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

注: 一部の「運転ｱｼｽﾄ」設定は、停車中に限り調整できます。

「運転ｱｼｽﾄ」にアクセスします。



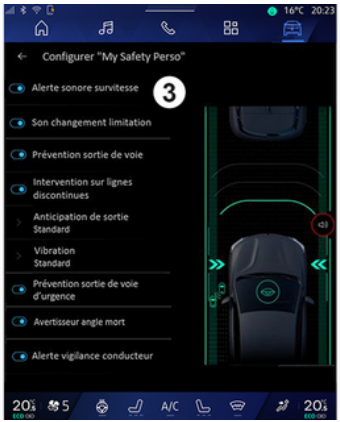
「車両」領域 から、「運転ｱｼｽﾄ」を選び、安全に関わる運転支援機能の場合は「セキュリティ」タブ ***A*** を選択し、快適な運転に資する次のような運転支援機能の場合は「コンフォート」タブ ***B*** を選択します。

「パーキング」タブ ***C*** は、パーキングアシスト装備車両向けのタブです。

「パーキング」タブ ***C*** の詳細については、「パーキングアシスト」➔ 89 の項をご覧ください。

« セキュリティ »

「セキュリティ」*A*



「セキュリティ」タブ***A***を使用して、快適な運転に資する次のような安全に関わる運転支援機能を有効化 / 無効化、または設定できます。

- 「すべて ON」***1***
- « Perso » ***2*** ;
- « My Safety Perso を設定する » ***3*** ;
  - « 速度超過警告音 » ;
  - « リミッター変更音 » ;
  - « 車線逸脱防止 » ;
  - 「破線逸脱訂正」
    - « レーンデパーチャー設定 » ;
    - « 振動の強さ » ;
  - 「車線逸脱応急防止」
  - « ブラインドスポットワーニング » ;
  - « ドライバ―モニタリングアラート » ;
- « トラクションコントロール » ;
- « ｱｸﾃｨﾌﾞﾌﾞﾚｰｷ» ;
  - « 警告の予測 » ;
- « 歩行者検知 » ;
- « 歩行者警報音 » ;
- « ブラインドスポットワーニング » ;
- ...

注: 該当機能が有効化されると、有効化／無効化ボタンが強調表示されます。

「My Safety」

「すべて ON」*1*

My Safety の「すべて ON」を有効化すると、装備されているすべての安全支援機能が有効化されます。このモードは、デフォルトでは車両を始動するたびに有効化されます。

My Safetyの「すべてON」は、車両にある 制御ボタンを1回押す方法でも有効化できます。

制御の詳細については、車両取扱説明書の「My Safety」の項をご覧ください。

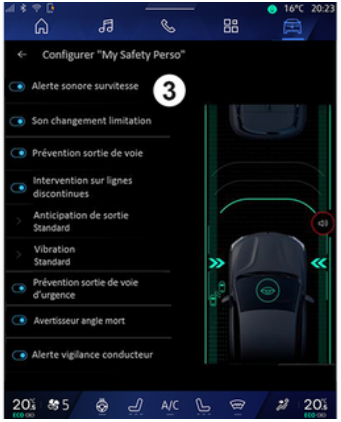
« Perso » *2*

My Safetyの「Perso」機能が有効化されると、「My Safety Perso を設定する」***3***を使用して設定およびカスタマイズした安全支援が有効になります。

My Safetyの「Perso」機能は、車両にある 制御ボタンを2回押す方法でも有効化できます。

制御の詳細については、車両取扱説明書の「My Safety」の項をご覧ください。

« My Safety Perso を設定する » *3*



このメニューでは、My Safetyの「Perso」を有効化した場合に有効化する機能を、次の中から選択/構成できます。

- « 速度超過警告音 »；
- « リミッター変更音 »；
- « 車線逸脱防止 »；
- 「破線逸脱訂正」
  - « レーンデパーチャー設定 »；
  - « 振動の強さ »；
- 「車線逸脱応急防止」
- « ブラインドスポットワーニング »；
- « ドライバ―モニタリングアラート »；
- …

« 速度超過警告音 »

この機能は、車速が所定の速度制限を超えた場合にその旨を警告音でドライバーに警告する機能です。

« リミッター変更音 »

この機能は、所定の速度制限が変更された場合にその旨を警告音でドライバーに警告する機能です。

« 車線逸脱防止»

この機能は、方向指示器が作動していないにもかかわらず車両が車線（実線または破線）から逸脱している場合に、ステアリングホイールを振動させる（装備機能によっては警告音を鳴らす）形でその旨をドライバーに警告する機能です。

詳細については、車両の取扱説明書の「車線逸脱警告」のセクションを参照してください。

「破線逸脱訂正」

この機能は、方向指示灯が作動していないにもかかわらず車両が破線（追い越し可能車線）から逸脱しており車両衝突の危険（方向指示灯が作動させないまま車線変更をすることで生じ得る、他車両と衝突する危険など）が差し迫っている場合に、車両の軌道を訂正する機能です。

この車両システムの感度は、お好みに応じて次のいずれかに設定できます。

– « 早め »;
– « ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ »;
– « 遅め ».

振動の強度も、お好みに応じて次のいずれかに設定できます。

– « 低 »;
– « ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ »;
– « 高 ».

「車線逸脱応急防止」。

この機能は、方向指示器が作動していないにもかかわらず車両が車線（実線または破線）から逸脱しており車両衝突の危険（方向指示灯が作動させないまま車線変更をすることで生じ得る、他車両と衝突する危険など）ががある場合に、ステアリングホイールを振動させる（装備機能によっては警告音を鳴らす）形でその旨をドライバーに警告する機能です。

詳細については、車両の取扱説明書の「車線逸脱警告」のセクションを参照してください。

« ブラインドスポットワーニング »

この機能は、他の車両が死角に入っている場合にドライバーに警告します。

詳細については、車両の取扱説明書の「死角の警告」のセクションを参照してください。

« ドライバーモニタリングアラート »

この機能は、運転者の反応性が低下していることを検出します。この問題は次の場合に考慮されます:

– ステアリングホイールの突然のランダムな動き。
– 車線維持機能警告の頻繁な起動。

この機能は、運転者に休憩をとるよう警告する警告メッセージをインストルメントパネルに表示することにより、音による警告を介して運転者に通知します。

詳しくは、車両取扱説明書の「ドライバーに警戒を促すための警告」セクションをご覧ください。

« トラクションコントロール »

この機能は、発進または加減時のホイールスピン（空転）を抑え、車両の制御を支援します。

詳しくは、車両取扱説明書の「運転訂正装置や訂正支援」セクションをご覧ください。

« ｱｸﾃｨﾌﾞﾌﾞﾚｰｷ »

このメニューでは、「アクティブブレーキ」機能を有効化／無効化できます。また「警告の予測」を押す方法で警告トリガーの感度次の中から選択できます。

– « 早め »;
– « ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ »;
– « 遅め ».

詳細については、車両の取扱説明書の「高度な安全性」の項を参照してください。

« 歩行者検知 »

この機能は、歩行者と衝突する危険がある場合にその旨をドライバーに警告する機能です。

詳しくは、お使いの車両に備えられている車両取扱説明書の「乗員乗降時の安全確保」セクションをご覧ください。

« 歩行者警報音 »

この機能は、歩行者と衝突する危険がある場合にその旨をドライバーに警告音で知らせる機能です。

詳しくは、お使いの車両に備えられている車両取扱説明書の「乗員乗降時の安全確保」セクションをご覧ください。

« コンフォート »

「コンフォート」*B*

「コンフォート」タブ***B***を使用して、快適な運転に資する次のような運転支援機能を有効化 / 無効化、または設定できます。

– « Eco予測サポート* » ;
– « クルージング » ;
– « 車間距離 » ;
– « 危険エリアを表示する » ;
– 「適応速度リミッター」または「適応性がある速度の振幅制限器および巡航制御 *」、（装備により異なります）。
– 「道路状況に応じたアダプティブクルーズコントロール*」
– ...

注: 該当機能が有効化されると、有効化／無効化ボタンが強調表示されます。

« Eco予測サポート* »

この機能は、道路状況（曲がり角や環状交差点など）を見越してアクセルペダルを離すタイミングをドライバーにアドバイスし、制動遅延の回避、車両の惰性走行を活かした消費量節約、車両航続距離の延伸などを支援する機能です。

« クルージング »

この機能は、無加速でより遠くまで走行できるよう減速段階でのエンジンブレーキを減らし、燃料を節約することを可能にする機能です。

詳しくは、車両取扱説明書の「運転に関するアドバイス、エコ運転」セクションをご覧ください。

« 車間距離 »

この機能は、他の車両に接近しすぎた場合にドライバーに警告します。

詳しくは、車両取扱説明書の「安全な車間距離に関する警告」セクションをご覧ください。

« 危険エリアを表示する »

この機能は、危険領域の表示を可能にします。

詳細については、車両の取扱説明書の「Stop and Goアダプティブクルーズコントロール」および「道路標識の検出」の項を参照してください。

「適応速度リミッター」または「適応性がある速度の振幅制限器および巡航制御 *」（装備により異なります）。

この機能を使用すると、道路状況に応じた車速の制限および調整が可能になります。

詳細については、車両の取扱説明書の「Stop and Goアダプティブクルーズコントロール」および「道路標識の検出」の項を参照してください。

「道路状況に応じたアダプティブクルーズコントロール*」

この機能を使用すると、道路状況（環状交差点、曲がり角など）に応じた車速の規制が可能になります。

詳しくは、車両取扱説明書の「Stop and Go アダプティブクルーズコントロール」セクションをご覧ください。

パーキングアシスト

はじめに

これらの機能は、運転時の補助を提供します。したがって、どのような場合でも速度制限に注意し、細心の注意を払う（突然の事態にもブレーキを踏めるように常に備える）必要があり、その責任はドライバーにあります。

操作中にはステアリングホイールが急回転するため、中に手は入れず、中に障害物がないことを確認してください。

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

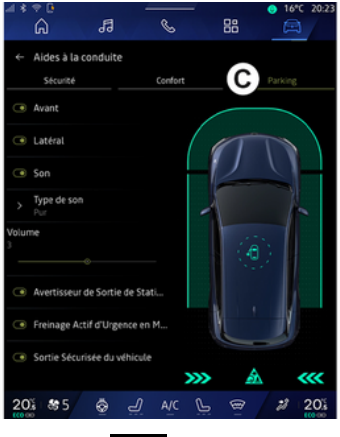
車両にはパーキングアシストが装備されています。パーキングの操縦中に補助的なアシストを提供します。

車両装備によっては、「車両」領域 から、「運転ｱｼｽﾄ」メニューを押し、次に「パーキング」タブを押して、パーキングアシストメニューにアクセスします。

– « 駐車ｱｼｽﾄ »；
– « ハンズフリーパークアシスト ».

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「駐車ｱｼｽﾄ」メニュー



「車両」領域 から、「運転ｱｼｽﾄ」メニュー > タブ「パーキング」*C*の順に選択します。このメニューを使用するとパーキングアシスト設定にアクセスできます。詳しくは、車両取扱説明書の「駐車ｱｼｽﾄ」セクションをご覧ください。

1. « ﾌﾛﾝﾄ ».

2. « ｻｲﾄﾞ ».

3. « 音 ».

4. « ｻｳﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ ».

5. « 音量 ».

6. « リアクロスパーキングアラート ».

7. « リアアクティブエマージェンシーブレーキ ».

8. « オキュパントセーフエグジット ».

6

パーキングアシスト

「駐車ｱｼｽﾄ」検出領域

次のパーキングアシストゾーンを有効化または無効化できます。

– « ﾌﾛﾝﾄ » ***1*** ;
– « ｻｲﾄﾞ » ***2***.

« 音 » *3*

パーキングアシストの警告音を有効化または無効化するには「音」 ***3*** を押します。

次の設定を変更できます。

– 「ｻｳﾝﾄﾞﾀｲﾌﾟ」***4***: 選択可能な警告音の中から希望の音を選択できます。
– 「音量」: 音量" バー ***5*** を使用して障害物検出警告の音量を調整できます。

« リアクロスパーキングアラート » *6*

「リアクロスパーキングアラート」機能 ***6*** は、後方から車両側に接近する障害物を検出します。

これは、リバースギアが締結され、低速で車両が停止または移動すると作動します。

障害物が接近している場合は、連続的なビープ音、マルチメディア画面の表示 、およびルームミラーの光信号により通知されます。

注: 静止障害物は検出されません。

「リアクロスパーキングアラート」機能の詳細については、車両取扱説明書の「リアクロスパーキングアラート」セクションをご覧ください。

« リアアクティブエマージェンシーブレーキ » *7*

後進ギアへのシフト中には、「リアアクティブエマージェンシーブレーキ」 ***7*** が車両後方の静止障害物を検出します。

「リアアクティブエマージェンシーブレーキ」機能の詳細については、車両取扱説明書の「リアアクティブエマージェンシーブレーキ」セクションをご覧ください。

« オキュパントセーフエグジット » *8*

「オキュパントセーフエグジット」警告 ***8*** は、車両の停止中にドアを開ける際に生じ得る危険を検出し、ドライバー／乗員に警告します。

これは車両を駐車すると作動します。

障害物が車両に接近すると、インストルメントパネルに警告が表示され、ドアミラーとドアの内側にランプ信号が表示され、ビープ音が鳴ります。

注: 静止した障害物や歩行者は検出されません。

「オキュパントセーフエグジット」機能の詳細については、車両取扱説明書の「オキュパントセーフエグジット」セクションをご覧ください。

「ハンズフリーパークアシスト」メニュー

「ハンズフリーパークアシスト」機能は、ステアリングホイール、ブレーキ、エンジンおよびシフトレバーを制御する方法でパーキング操作を支援します。

操作中は、マルチメディアシステム画面に表示される指示（「リバースを選択」、「後進」など）に従い、ステアリングホイールから手を離してください。

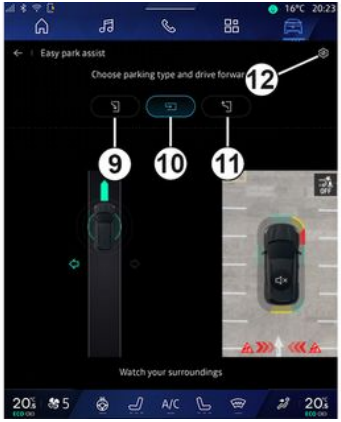
ステアリングホイールを操作すると、いつでも車両のコントロールを取り戻すことができます。

「ハンズフリーパークアシスト」メニューには次の項目からアクセスできます。

– 「車両」領域 から、「運転ｱｼｽﾄ」メニューを押し、「パーキング」タブ ***C*** を押します。
– 「開く」を押して「ハンズフリーパークアシスト」を選択します（「ウィジェットの追加と管理」の項 ➔ **23** を参照）。
– 360° カメラビューの「ハンズフリーパークアシスト」ショートカットを使用（詳細については、「360°カメラ」の項 ➔ **93** を参照）。

パーキングアシスト

– ステアリングホイール上にある「お気に入り」ボタン（構成については「ユーザー設定」セクション ➔ 115 をご覧ください）。



このメニューで次の操作を選択できます。

– 並列駐車 ***9***
– 縦列駐車 ***10***
– 並列駐車場所からの出庫 ***11***

詳しくは、車両取扱説明書の「ハンズフリーパークアシスト」セクションをご覧ください。

12 アイコンを使うと、次の中からデフォルトの操作種を選択できます。

– « 縦列駐車 »;

または

– « 並列駐車 ».

機器に応じて、マルチメディアシステム画面に次の異なるビューが表示されます。

– 操作の進捗を示すゲージ ***D***
– 操作の方向指示 ***E***
– 車両、周囲の環境、駐車可能スペースの詳細 ***F***
– 前方／後方カメラの表示 ***G***

作業に必要な条件が満たされない場合は、画面に警告メッセージが表示されます。

現在の操作をキャンセルするには、「ﾏﾇｰﾊﾞをｷｬﾝｾﾙ」を押します。

6

リアビューカメラ

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

リバースギアが作動すると、車両後方の後方カメラが作動し、車両後方の映像をマルチメディア画面に送信します。

マルチメディアシステム画面に後方表示カメラが表示されている場合は、

「設定」アイコン ***1*** を押すことで設定にアクセスできます。

リアビューカメラの詳細については、車両の取扱説明書をご覧ください。

注：

– カメラの視界が（汚れ、泥、氷雪などで）遮られれていないか確認します。
– 現地の法律によっては、車速が約 10 km/h を超えると後方表示カメラが表示されない（黒い画面に置き換わる）ことがあります。

「メッセージの設定」

次の設定を調整できます。

– 輝度 ***2***
– コントラスト ***3***
– 色 ***4***

設定を終了するには、***9*** を押します。

「ガイドライン」

ON または OFF にできます。

– ステアリングホイールの切れ角に応じて車両の軌道を示す可動ガイドライン ***5***
– 後続車両との車間距離を示す固定ガイドライン ***6***
– ステアリングホイールの切れ角に応じてトレーラーの軌道を示す可動ガイドライン ***7***

「自動ズーム」

（装備により異なります）

「自動ズーム」***8*** を有効化または無効化できます。

360°カメラ

この機能は補助的機能です。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重に運転しなければならないことを忘れないでください。
ドライバーは常に集中して細心の注意を払って運転してください:
車両の付近に子供、動物、ベビーカー、自転車、石、柱などがいないことを確認します。

画面はリアビューの逆の画像を表します。
ガバリは、平坦な地面の上に投影された映像であり、地上にある物体を無視し、ガバリがその上に重なった状態で映し出されます。
スクリーン上に、物体がゆがめられた状態で映ることがあります。
光度が強すぎる場合（雪、車両に直射日光が当たっているなど）、カメラの視覚が妨害されることがあります。

はじめに

車両には、フロントドア、サイドドアミラー、リアに 4 台のカメラが取り付けられており、操縦が困難な場合に追加の支援を提供します。

詳しくは、車両取扱説明書の「360°カメラ」セクションをご覧ください。

注: カメラのレンズに視界を妨げるもの（汚れ、泥、雪など）が付着していないか確認してください。

作動

システムは、「車両」領域 で「360°カメラ」メニューを押すか、リバースギア（別のギアが入った約5秒後まで）を選択することで起動できます。

車両の後方周辺部が、ガイドライン ***1***、車両の輪郭および音声信号とともにマルチメディアシステム画面のゾーン ***A*** に表示されます。

車両に装備された超音波センサが、車両と障害物との間の距離を「測定」します。

赤の部分に達したら、バンパーのイメージを参照して、正確に停車してください。

車両とその周辺が、マルチメディアシステム画面のゾーン ***B*** に鳥瞰表示されます。

「360°カメラ」表示は、アイコン ***2*** を用いることで調整できます。

詳しくは、車両取扱説明書の「360°カメラ」セクションをご覧ください。

6

360°カメラ

カメラの選択

画面に表示するビューのタイプを選択できます。

– 標準的な前方／後方表示や鳥瞰表示 ***3***
– 前方／後方のパノラマ表示 ***4***
– 側方表示 ***5***
– 3D 表示 ***6***

注:「360°カメラ」には、ステアリングホイール上の制御装置にある「お気に入り」ボタンを押すことでアクセスできます。

設定

「360°カメラ」メニューからカメラ設定アイコン ***2*** を押します。カメラを設定するには、このメニューを使用します。

– 可動ガイドラインの表示を有効化または無効化するには ***7*** を押します。
– 固定ガイドラインの表示を有効化または無効化するには ***8*** を押します。
– トレーラーガイドラインの表示を有効化または無効化するには ***9*** を押します。
– 自動ズームを有効化または無効化するには ***10*** を押します。
– 画像の輝度、コントラスト、色を設定するには調整バー ***C*** を動かします。

MULTI-SENSE

「MULTI-SENSE」メニュー

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「車両」領域 から、「MULTI-SENSE」にアクセスできます。このメニューでは、オンボードシステムの動作をカスタマイズできます。

モードを選択する

使用可能なモードは、車両と装置のレベルによって異なる場合があります。

「MULTI-SENSE」メニューで、希望するモード ***1*** を次の中から選択します。

– « Comfort » ;
– « Eco » ;
– « Sport » ;
– « Perso » ;
– « Snow » ;
– « All Terrain » ;
– ...

これらのモードの詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

« 設定 »

次の車載システムの各パラメータをカスタマイズするには、「設定」***2*** を押します。

– « ステアリング » ;
– « シャシーコントロール » ;
– « 車内空調 » ;
– « 環境照明 » ;
– ...

注：

– 設定メニューによっては、車両と装備レベルによって異なる場合があります。
– また、車両の「MULTI-SENSE」コントロールを繰り返し押すことで、さまざまなモードにアクセスすることもできます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「構成」「MULTI-SENSE」

「MULTI-SENSE」「設定」画面には次のタブがあります。

6

– 車両の運転に関する機能が表示される「ﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞ」 ***A***
– 車載装備に関する機能が表示される「ライフ・オン・ボード」 ***B***

注: 設定の可用性は、「MULTI-SENSE」モード、車両のモデルや装備レベルによって異なる場合があります。

タブ ***3*** では「モード設定をリセットします」を実行できます:

「ﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞ」設定

「ﾄﾞﾗｲﾋﾞﾝｸﾞ」タブ ***A*** では次の装備を構成できます。

– « エンジン »;
– « ステアリング »;
– « シャシーコントロール »;
– ...

« エンジン »

このメニューには、いくつかのエンジン応答設定があります:

– « ﾚｷﾞｭﾗｰ »;
– « ｽﾎﾟｰﾂ »;
– « エコ ».

選択された設定に応じて、パワーとエンジントルクを調整して、より応答性を高めます。

« ステアリング »

このメニューには、いくつかのステアリング応答設定があります:

– « 低 »;
– « Middle »;
– « High ».

選択された設定に応じて、スムーズで正確なステアリング経験の間で最適なバランスを取るために、ステアリング感度を調整してより重くする、またはより敏感に反応するようにすることができます。

« シャシーコントロール »

このメニューは、2輪駆動車で使用可能で、いくつかの操作設定があります。

– « ﾚｷﾞｭﾗｰ »;
– « コンフォート »;
– « ｽﾎﾟｰﾂ ».

選択した設定に応じて、最適な軌道を提供するために、ホイールの制動はホイールの角度に応じて変化します。

« 4Control Advanced »

このメニューは、2輪駆動車で使用可能で、いくつかの操作設定があります。変更するには、度合いバーを直接操作します。指を左にスライドさせると安定性が高まり、右にスライドさせると敏捷性が高まります。

選択した設定に応じて、最適な軌道を提供するために、ホイールの制動はホイールの角度に応じて変化します。

« Contrôle châssis »

このメニューは、カメラ誘導型サスペンション装備車両と四輪駆動車で利用できるもので、このメニューでは、操作に関する次のような設定を調整できます。

– « コンフォート »;
– « ダイナミック »;
– « ｽﾎﾟｰﾂ ».

制動や車輪回転、ステアリングやサスペンションが選択した設定に応じて変化し、運転のダイナミック度が変わります。

MULTI-SENSE

「ライフ・オン・ボード」設定

「ライフ・オン・ボード」タブ ***B*** では、次の装備を構成できます。

– « 環境照明 »;
– « ライト照度 »;
– « 車内空調 »;
– ...

「環境照明」と「ライト照度」の詳細については、「ムードランプ」セクションをご覧ください。➔ 99.

6

ダイナミックシャーシ

これらの機能は、運転時の補助を提供します。
したがって、どのような場合でも速度制限に注意し、細心の注意を払う（突然の事態にもブレーキを踏めるように常に備える）必要があり、操作中の責任はドライバーにあります。

「車両」領域 から、「ダイナミックシャーシ」を押して以下にアクセスします。

– 「ヒルディセントコントロール（HDC）システム（車両装備に応じて変動） ***1*** の有効化／無効化
– 「ｶﾒﾗ」メニューへのショートカット（車両装備に応じて変動）***2***
– ホイールの方向 ***3***
– 4 輪駆動車における前後のトルク配分（4WD）***4***
– 横方向傾斜計 ***5***
– 縦方向傾斜計 ***6***
– コンパス ***7***

詳細については、「ヒルディセントコントロール（HDC）」を参照し、車両の取扱説明書の「ドライバー補正装置と補助具」の項を参照してください。

ムードランプ

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

「車両」領域 から、「MULTI-SENSE」メニューの「設定」ボタンを押し、「ライフ・オン・ボード」タブ、次に「環境照明」を押します。

このメニューを使用して、室内のルームランプ環境を設定します。

– « 変更中 » ;
– « パーソナル ».

« 変更中 »

周囲の色を徐々に変更するには「変更中」を押します。

マルチメディアシステムは、その日の時刻に最も適したルームランプの色を得るために、周囲照明を自動的に調整します。

« パーソナル »

車両のムードランプの色を変更するには、「パーソナル」> アイコン ***1*** の順に押します。ボタン ***4*** を動かして、円形のパレット ***2*** にある色の 1 つを選択します。

内側の円 ***3*** は、車両のマルチメディア画面とインストルメントパネルの周囲色を示しています。

選択した色を確定するには「OK」を押し、色の選択をやり直すには「キャンセル」を押します。

« ライト照度 »

ムードランプの明るさを調整できます。

「車両」領域 から、「MULTI-SENSE」メニューの「設定」ボタンを押し、「ライフ・オン・ボード」タブ、次に「ライト照度」を押します。

ムードランプの輝度を調整するには輝度バー上にカーソル ***5*** を移動します。

注: ムードランプの輝度は、調整中に設定された車両の昼間モードまたは夜間モードに記憶され、関連付けられます。

6

「車両」領域 から、「ｼｰﾄ」を押し、車両のシート調整機能「ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ」***A*** および「助手席」***B*** にアクセスします。

– « 腰椎活性化 »;
– « イージーアクセス »;
– « ﾋﾞｼﾞｭｱﾙﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ »;
– « ドライビングポジション »/« Relax 姿勢 ».

「ｼｰﾄ」メニューには、シートのスイッチを押して直接アクセスすることもできます。マッサージ機能を開始するには、長押しします。

シート制御の詳細については、車両の取扱説明書をご覧ください。

「ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ」または「助手席」シートを選択するには次のように操作します。

– タブ ***A*** または ***B***を押します。
– マルチメディア画面をすばやく横にスライドして、あるシートから別のシートに移動します。

« 腰椎活性化 »

「ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ」タブから次のいずれかのシーケンスを選択できます。

– « 低い »;
– « ひろがった »;
– « オルタネイト ».

マッサージ「輝度」を調整するには「輝度」バーにカーソルを置きます。

« イージーアクセス »

助手席／リアシートにチャイルドシートを取り付ける際には、「イージーアクセス」機能を無効化してから取り付けてください。
場合によってはケガを負うこともありますのでご注意ください。

これらの機能を作動させた場合、運転者 / 乗員が車両を離れるとシートが自動的に後退し、次回に車両を始動させるとシートが所定位置に戻ります。

« ﾋﾞｼﾞｭｱﾙﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ »

この機能を作動させると、運転者または同乗者がシートの位置を調整した時に、画面にポップアップ設定ウィンドウが表示されます。

「ドライビングポジション」／「記憶位置」

« はい »

この機能を使うと、「ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ」や「助手席」のフロントシートとドアミラーの位置を記憶できます。

「ｼｰﾄ」メニューから次のように操作します。

– 「ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ」または「助手席」シートを選択します。
– シートのスイッチを使用して、シートの位置を調整します。
– ウインドウスイッチを使用してドアミラーの位置を調整します。
– 現在の位置を保存するには「はい」を押します。

関連するシートの調整コントロールを使用します。

– シートのスイッチを使用して、シートの位置を調整します。
– 数秒後に、新しい位置を保存するメッセージがマルチメディア画面に表示されます。

– 現在の位置を保存するには「はい」を押し、現在の位置を保存しない場合は「保存しない」を押します。

注: 外側ドアミラーの位置は、シートの位置と一緒に記憶されます（車両によって異なります）。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

« 記憶位置へ »

車両が停車している場合、この機能により、メモリされたシートとドアミラーの位置を呼び出せます。

– 運転席の場合: 「記憶位置へ」を押します。
– 助手席の場合: 保存されている希望の「シート位置」を選択し、「記憶位置へ」を押します。

注: 安全上の理由から、特定の機能は車両が停止しているときのみ使用することができます。

« Relax 姿勢 »

車両の静止中には、くつろぎやすいシート位置で休憩できるよう、運転席を自動的に後ろに下げて倒すことができます。これを行うには、「有効にする」を押します。

シート調整ボタンを使用してシートの位置を調整することにより「Relax 姿勢」をカスタマイズし、「はい」を押して位置を保存することができます。

シート調整ボタンのいずれかを押すか、マルチメディア画面上の「運転位置に戻す」を押すと、シート調整を中断できます。

シートを運転位置に戻すには、「運転位置に戻す」を押します。

注: 車両の充電時は、位置を有効にするかどうかを確認するメッセージがマルチメディア画面に自動的に表示されます。有効化時に、「Relax 姿勢」設定にアクセスすることができます。

「Relax 姿勢」を使用したり、運転位置（位置メモリー、プロファイルの変更）を呼び出したりする前に、可動部分（特にリアシート付近）に誰もいないことを確認してください。
ケガをする危険があるため、ご注意ください。

6

タイヤ規定空気圧

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

タイヤ空気圧の詳細については、車両の取扱説明書の「タイヤ空気圧モニタリングシステム」の項を参照してください。

6

「車両」領域 から「車両」、「ﾀｲﾔ圧」タブの順に押してタイヤ空気圧の状態を確認し、モニタリングシステム「ﾀｲﾔ圧」をリセットします。

「ﾀｲﾔ圧」制御システムには、お使いの車両に応じて次のようなさまざまなシステムがあります。

– TPMS: タイヤ空気圧監視システム

または

– TPW: タイヤ空気圧低下警告

車両のインストルメントパネルにタイヤの膨張に関する不具合が表示されます。

TPMS システムによるタイヤ空気圧の状態

マルチメディアシステムから、タイヤ空気圧の状態を確認できます。

記号***2***は、色を使用してタイヤ空気圧の状態を示します。

– 緑色 – タイヤ空気圧は、正常な状態であるか、直近の再初期化後以降変わっていない状態です。
– オレンジ色 – タイヤ空気圧が不十分な状態です。
– 赤色 – いずれかのタイヤがパンクしているか、空気が抜けてい状態です。
– 灰色 – タイヤセンサから情報が受信なし。

車両に取り付けられている「ﾀｲﾔ圧」制御システムの詳細については、

アイコンを押してご確認ください。

TPW システムによるタイヤ空気圧の状態

マルチメディアシステムから、タイヤ空気圧の状態を確認できます。

記号***3***は、色を使用してタイヤ空気圧の状態を示します。

– 緑色 – タイヤ空気圧は、正常な状態であるか、直近の再初期化後以降変わっていない状態です。
– オレンジ – タイヤの 1 つの空気圧が不十分です。

車両に取り付けられている「ﾀｲﾔ圧」制御システムの詳細については、

タイヤ規定空気圧

i アイコンを押してご確認ください。

1 では「ﾀｲﾔ圧」制御システムを再初期化できます。

システムの再初期化手順は ***4*** に表示されます。

再初期化

この機能を使うと、「リセット」ボタン ***1*** を押す方法で再初期化を実行できます。

再設定手順は、車両が固定されている状態でイグニッションスイッチをONにした状態で行う必要があります。

再初期化手順を開始するには「はい」を押し、タイヤ空気圧表示に戻るには「いいえ」を押します。

リセットが終了したら、画面に確認のメッセージが表示されます。

「My driving」メニュー

> ⓘ 特定の機能は、車両が停止している間のみ使用できます。

「車両」領域 から「My driving」を押して、次の情報および機能にアクセスします。

– 開始日、走行距離、現行程の平均速度 ***A***
– 「安全スコア」***B***（車両装備や使用国に応じて異なります）。
– 「運転のエコ度スコア」***C***
– 「エネルギー消費量」***D***

安全スコアには、「ホーム画面」または「ナビゲーション」領域 の「安全スコア」ウィジェットからもアクセスできます。

「情報」アイコン から、「My driving」に関する情報にアクセスできます。

注：

– 「My driving」メニューからアクセスできる情報は、車両装備に応じて変動することがあります。
– 表示データは、エンジン停止時間が 2 時間に達するか、「Profile」が変更されると自動的にリセットされます。

「運転の安全度スコア」

（装備と国によって異なります）

「現行程における運転の安全度」

「現行程」***E***では、現行程の出発以降における運転の安全度に関するデータを閲覧できます。

行程の開始段階では、運転の安全度スコアの初期化処理が実行されるため、スコアは表示されません。

運転の安全度スコアはプロフィールに関連付けられます。「Profile」を変更すると、行程における運転の安全度スコアがリセットされます。

「i」情報アイコンをクリックすると、「運転の安全度スコア」に関する情報にアクセスできます。

注: 表示データは、直近の車両データリセット時点を起算点として計算されたもので、このリセットは、車両の未使用時間が 2 時間に達するか、「Profile」が変更されると自動的に行われます。

総合的な運転の安全度スコア *1*

このデータを閲覧すると、現行程における総合的な総合的な運転の安全度スコア（0 から 100 まで）を把握できます。

全体的なスコアにリンクされた色は、測定された基準に関連する運転パフォーマンスを表します。

– 緑色のスコア: スコアは良好で、運転はこれらの基準に照らし合わせて満足のいくものです。
– 黄色のスコア: スコアは平均的です。運転は、これらの基準に関連して必ずしも満足のいくものではありません。
– オレンジ色のスコア: 低いスコアです。運転は危険を伴うことがあります。
– 赤スコア: スコアが低すぎます。運転は危険です。

運転の安全度サブスコアの計算結果 *2*

運転の安全度サブスコアは、次の基準をもとに現行程における運転の安全度を評価した結果です。

– 「安全速度」は、測定速度と推奨速度の差をもとに運転の安全度を評価するための基準です。
– 「車間距離」は、前方車両との車間距離をもとに運転の安全度を評価するための基準です。
– 「軌道」は、横加速度および縦加速度や、車線変更時の方向指示器使用状況をもとに運転の安全度を評価するための基準です。
– ...

注: 運転の安全度サブスコアの各々をタップすると、その定義を詳しく確認できます。

運転アドバイスや安全運転のコツ *3*

運転の安全度サブスコアを用いて作成されるこの情報は、より安全な運転に役立つアドバイスやコツとして提供されるものです。

「アドバイス」を押すと追加のアドバイスを閲覧できます。

「履歴 *F*」

「履歴」閲覧モード ***F*** からは次の項目に関する履歴ログにアクセスできます。

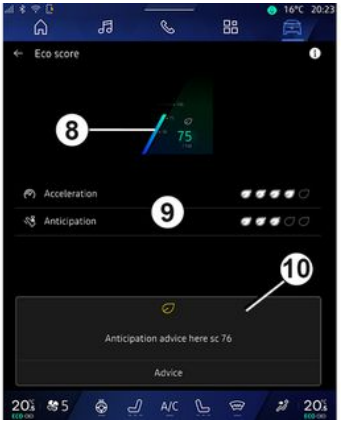
– 当月の行程における運転の安全度スコア ***4***
– 月間の運転の安全度スコア ***5***
– 当月の運転の安全度評価 ***6***
– 当月の安全運転のコツ ***7***

この情報は、当月の運転の安全度スコアをもとに提供されるものです。

アドバイスは、最も低い月間の運転の安全度スコアをもとに提供されます。

履歴へのアクセスは、Profile にリンクされています。

「運転のエコ度スコア」



「運転のエコ度スコア」表示モード ***C*** では、現行程の出発以降における運転の省エネ度に関する情報を確認できます。

注: 表示データは、直近の車両データリセット時点を起算点として計算されたもので、このリセットは、車両の未使用時間が 2 時間に達するか、「Profile」が変更されると自動的に行われます。

「情報」アイコン i を使用して、「運転のエコ度スコア」に関する情報にアクセスできます。

総合スコア *8*

このデータを閲覧すると、次のような現行程における総合的な総合的な運転のエコ度スコア（0 から 100 まで）を把握できます。

– 運転のエコ度スコアが 76 から 100 の場合:「おめでとうございます　あなたはEcoドライバーです」
– 運転のエコ度スコアが 51 から 75 の場合:「あなたのドライビングスタイルはノーマルです」
– 運転のエコ度スコアが 0 から 50 の場合:「あなたのドライビングスタイルはダイナミックです」

総合的な運転のエコ度スコアは運転のエコ度サブスコアをもとに計算されます。

サブスコアの算出 *9*

運転のエコ度サブスコアは、次の基準をもとに現行程における運転のエコ度を評価した結果です。

– 「加速」は、加速に関する運転行動をもとに運転のエコ度を評価するための基準です。
– 「予測」は、急ブレーキの予測および回避能力をもとに運転のエコ度を評価するための基準です。
– 「ｷﾞｱﾁｪﾝｼﾞ」は、インストルメントパネルに表示されるギアシフトインジケータと関係のある運転行動をもとに運転のエコ度を評価するための基準です。

注: この評価基準は、マニュアルトランスミッション車でのみ用いられます。

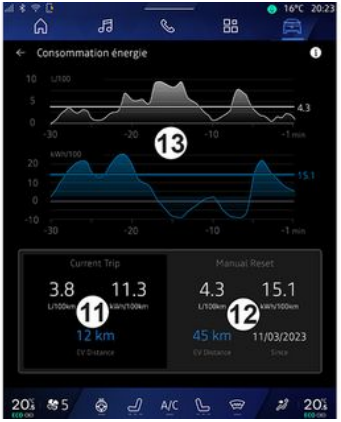
– ...

運転のアドバイスとスタイル *10*

運転のエコ度サブスコアを用いて作成されるこの情報は、より効率の良い運転に役立つアドバイスやコツとして提供されるものです。

「アドバイス」を押すと追加のアドバイスを閲覧できます。

« エネルギー消費量 »



「消費電力」表示モード ***D*** では、走行中のエネルギー消費に関する次のデータを閲覧できます。

– 現行程に関するデータ ***11***

– 直近のリセット以降に関するデータ *12*
– 平均消費量の推移 *13*

「情報」アイコン i をクリックすると「エネルギー消費量」に関する情報にアクセスできます。

現在の行程データ *11*

バージョンに応じて次のデータを確認できます。

– 「平均消費量」
– 電気走行モードでの「距離 EV」行程距離（ハイブリッド車両）
– ...

注: 表示データは、直近の「Ecoスコア」データリセット時点を起算点として計算されたもので、このリセットは、車両の未使用時間が 2 時間に達すると、「Profile」の変更中に自動的に行われます。

前回のリセット以降のデータ *12*

バージョンに応じて次のデータを確認できます。

– 「平均消費量」
– 電気のみでの走行モード（ハイブリッド車両）における走行距離
– エアコンや補助装置による消費の量（電気自動車）
– 直近のリセット日
– ...

注: 表示データは、インストルメントパネル上のデータとともにリセットされます。

平均消費量の推移 *13*

グラフは、行程の最後の 30 分間における平均消費量の推移を示したものです。

行と関連する値は、直近の手動リセット以降における平均消費量に対応しています。

注: 表のデータは、直近の手動リセット以降に関するデータとともにリセットされます。

「車両」領域 から、「エアクオリティ」を押します。

このメニューを使用すると、次の機能を有効化する方法で車内の雰囲気や気質を健康的な状態にできます。

– « 空気清浄機能 » ;
– « オート内気循環 ».

« 空気清浄機能 »

以下を使用して、空気浄化サイクルを開始できます。

– 「空気清浄機能」ボタン ***3***
– 「ナビゲーション」領域 または「ホーム画面」 から利用可能な「エアクオリティ」ウィジェットの「空気清浄機能」ボタン。

「空気清浄機能」ボタンが強調表示されている場合は、空気浄化サイクルが進行中（約 5 分）です。

« オート内気循環 »

自動空気再循環を有効化／無効化するには「オート内気循環」***2*** を押します。

停車中に情報アイコン ***1*** を使用すると、「空気清浄機能」および「オート内気循環」機能に関する情報にアクセスできます。

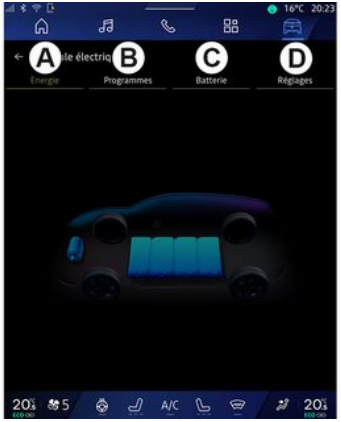
「エアクオリティ」メニューに戻るには ***4*** を押します。

「エレクトリック」メニュー

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

一部の機能の使用可能性は、車両タイプ（電気またはハイブリッド）によって異なります。

一部の設定は、車両が固定されている間のみ使用できます。



「車両」領域 から、「エレクトリック」メニューにアクセスできます。

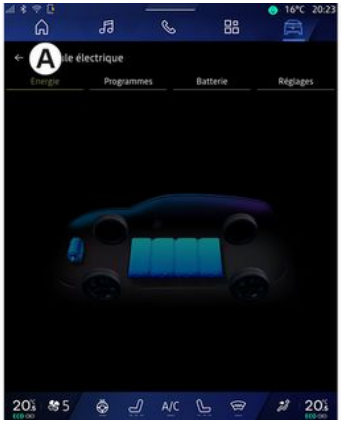
「ホーム画面」領域の「 」ウィジェットの「車両」アイコンを使用して「エレクトリック」にアクセスすることもできます。

このメニューを使用して、ハイブリッドまたは電気自動車に関連する機能を表示および設定できます。

「エレクトリック」メニューでは次のタブにアクセスできます。

- 「エネルギー」***A***
- 「プログラム」***B***。
- 「電池」***C***
- 「設定」***D***

« エネルギー »



「エネルギー」タブ ***A*** では、マルチメディアシステムによるエネルギーフローの表示を有効化できます。

注: 情報は車両のエンジン（電気自動車またはハイブリッド車）に応じて変化することがあります。

« プログラム »

「プログラム」タブ***B***から、他のプログラムが設定されていない場合は、「マイプログラム」または「追加」から、車両の快適性や充電プログラムを設定できます。

このメニューから、以下を表示および調整できます。

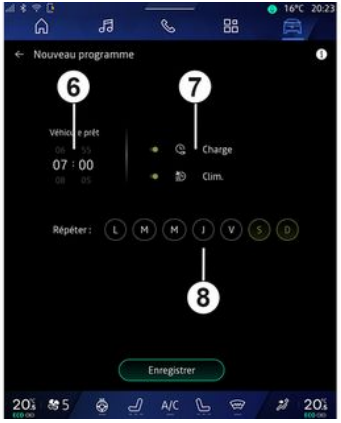
– 「次のプログラム」に関する情報 ***1***
– 充電プログラムに関連する時間設定 ***2***。
– エアコンディショナープログラム***3***に関連する暖房の快適性設定。
– 保存されている「マイプログラム」の一覧や設定 ***4***
– 「追加」スケジュール ***5***

各種「プログラム」の機能をご覧になるには、「情報」アイコン i を押してください。

プログラムを追加した後、「プログラム」タブ***B***から、次の「次のプログラム」***1***に関する情報を表示できます。

注: エンジンを停止すると、車両が電源に接続されており、電源の利用が認められている場合に限り充電が開始されます。詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「追加」スケジュール



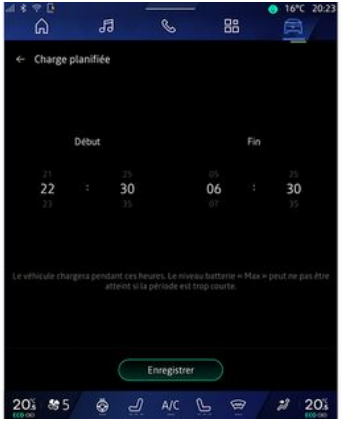
スケジュールを 3 つまで保存できます。

スケジュールを追加するには、「追加」***5*** を押した後に、次の項目を設定します。

– 車両における（充電またはエアコン作動）準備完了時刻 ***6***
– スケジュールの種類（充電スケジュール／エアコン作動スケジュール）***7***
– 該当スケジュールの適用希望曜日 ***8***

「はい」を押して確定できます。

« 充電の設定 » *2*



「充電の設定」*2* から、次のことができます。

– 充電の開始時刻と終了時刻を選択して「充電予定」を有効化 / 無効化し、「はい」を押して確定します。

または

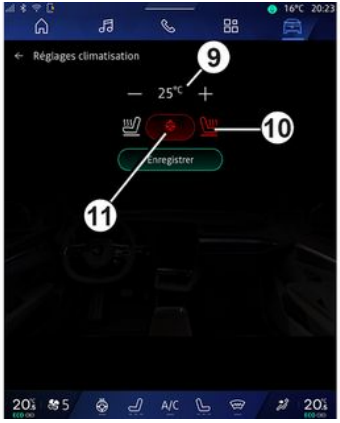
– 「V2G 充電」サービスを有効 / 無効にします（機器によって異なります）。このサービスは、電気自動車のバッテリーに蓄えられたエネルギーを家庭や電力網に再分配します。互換性のある双方向AC充電端子をお持ちで、サービスに加入している必要があります。ウェブサイトhttps://renault-connect.renault.comの「Mobilize」オファーを参照してください。詳しくは、正規サービス工場にお問い合わせください。この機能は、スマートフォンから「My Renault」アプリを介して利用することもできます。

注：

– 開始時刻と終了時間が同じにすると、充電は 24 時間継続されます。
– 充電スケジュールの充電時間が短すぎると、「最大」バッテリー残量まで充電されない場合があります。
– 充電スケジュールは、曜日を選択しないと確定できません。

« 気候設定 » *3*

（装備により異なります）



「気候設定」*3*から、暖房の快適温度を調整します。

– 車内 *9*
– ヒーター付きシート *10*
– ヒーター付きステアリングホイール *11*

「はい」を押して確定できます。

日数設定 *8*

該当スケジュールを適用する日数 *8* を選択できます。

日が強調表示されている場合は、選択された日を示します。

「はい」を押して確定できます。

電気自動車

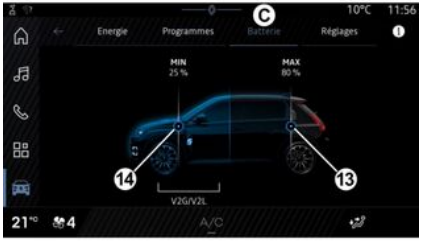
« マイプログラム » *4*

一覧 ***4*** では、有効な充電スケジュール／温度調整スケジュールの概要を確認できます。

表示、変更、または削除するプログラムの 1 つを押します。

スケジュールは、削除したいスケジュールに対応するごみ箱アイコン ***12*** を押すと削除できます。

« 電池 »



「電池」 ***C*** から、以下を設定できます。

– ボタン***13***を操作した場合の、車両のバッテリーの最大充電レベルを設定します。
– ボタン***14***を操作して、V2G 充電と「V2L」機能を使用するときに超えてはならない車両のバッテリーの最小レベルを設定します。

« 設定 »

「設定」タブ ***D*** では、以下の設定にアクセスできます。

– « 歩行者警告音 » ;
– « 予測ハイブリッド » ;
– 「Plug & Charge」。
– ...

« 歩行者警告音»

走行中は、歩行者ホーンの音を選択して、他の道路のユーザー、特に歩行者や自転車に警告することができます。

歩行者ホーンの詳細については、車両の取扱説明書の「電気自動車」の項を参照してください。

電気自動車

「Plug & Charge」

充電器を接続した直後に公共の充電端末で車両を充電できる「Plug & Charge」機能を有効 / 無効にすることができます。事前に公共の充電ステーションで充電契約を結んでおり、「My Renault」アカウントから「Plug & Charge」オプションを有効にしている必要があります。「My Renault」アプリまたはウェブサイトhttps://renault-connect.renault.comで「Mobilize Charge Pass」オファーを参照してください。

詳細については、正規サービス工場にお問い合わせいただくか、専用Renaultウェブサイトでパッケージをご覧ください。

« 予測ハイブリッド»

市街地を走行する際に電気運転を優先するハイブリッド車の「EV City」機能を有効または無効にできます。

注: この機能は、サブスクリプションによってのみ利用可能で、定義された期間中にアクセスできます。My Renaultアカウントからサブスクリプション期間を延長することができます。

緊急通報

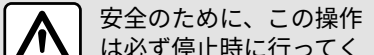
車両に装備されている場合、緊急通報システムは、事故や疾病の場合に緊急サービスの自動呼び出しまたは手動通話を可能にし、緊急対応時間を短縮します。

緊急サービスが呼び出されると、オーディオ音源 / 無線音量は自動的にミュートされます。

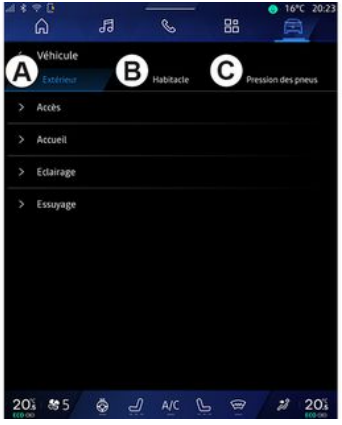
「緊急通報」機能を使用すると、いくつかのマルチメディアシステムコマンドとメニューを 1 時間近く無効化して、緊急連絡電話を優先できます。

詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「車両」メニュー



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「車両」領域 から「車両」メニューを選択します。

このメニューで次のタブにアクセスできます。

- 「車外」***A***
- 「コックピット」***B***
- 「ﾀｲﾔ圧」***C***

注: 調整できる設定は、車両装備に応じて変わります。

「車外」*A*

« ｱｸｾｽ »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

- « オートドアロック »;
- « ハンズフリーロック/ロック解除 »:
  - « ｻｲﾚﾝﾄﾓｰﾄﾞ »;

    注: 一部のオプションは、上記の機能が有効化されている場合に限り選択できます。
  - 「スマートフォンキー」（デジタルキー）。

    注：
    - この機能を無効化すると、関連通知が届かなくなります。
    - 詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。
- ...

« ようこそ »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

- « 外部ライトシーケンス »;
- « 室内音声シーケンス »;
- « オートドアミラーOFF »;
- « 室内ランプ機能 »;
- ...

« ドライビングライト »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

- 「アダプティブランプ」
- « 走行側の選択 »:
  - « 左 »;
  - « Right ».
- ...

注: 一部のオプションは、上記の機能が有効化されている場合に限り選択できます。

« ワイパー »

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にできます。

7

– 「ﾘﾊﾞｰｽｷﾞｱ作動時の後部ﾜｲﾊﾟ」: 後進ギアにシフトすると、リアワイパーが作動します。

注 : この機能は、フロントワイパーが作動している場合にのみ作動します。

– « ｵｰﾄﾜｲﾊﾟ »;
– ...

「コックピット」*B*

« ディスプレイ »

このメニューを使用すると、「自動輝度」（装備により異なります）を有効化 / 無効化したり、次のオプションを調整したりできます。

– « マルチメディア: 昼間の明るさ »;
– « マルチメディア: 夜間輝度 »;
– « コックピットの明るさ »;
– ...

注: 一部のオプションは、上記の機能が有効化されている場合に限り選択できます。

« ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ »

（装備により異なります）

このメニューを使用して、次のオプションを有効または無効にして調整します。

– ヘッドアップディスプレイを有効または無効にする
– 明るさを調整する
– ヘッドアップディスプレイの画像位置を調整する
– ナビゲーション情報ディスプレイを有効または無効にする
– ドライビングアシスト情報ディスプレイを有効または無効にする
– ...

注: 車両によっては、ヘッドアップディスプレイの位置が自動的に「プロファイル」に保存されます。

« 方向指示器音量の操作 »

このメニューを使用して、車内のインジケータの音量を調整します。

– « 低 »;
– « Middle »;
– « High ».

« よく使うステアリングスイッチ »

このメニューを使用すると、その機能を次のいずれかとして割り当てる方法で「よく使うステアリングスイッチ」を構成できます。

– « 車内空調 »;
– « Ecoモード »;
– « 360°カメラ »;
– « 空気清浄機能 »;
– ...

注: 利用可能なオプションの一覧は装備レベルによって異なる場合があります。

« ウィジェットの編集 »

このメニューから、車両の装備に応じて利用可能な「ホーム画面」または「ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ」領域ウィジェット を変更できます。

– « ｴｱｸｵﾘﾃｨ »;
– « Google アシスタント »;
– « 360°カメラ »;
– « 日付と時間 »;
– « ﾀｲﾔ圧 »;
– « ｵｰﾃﾞｨｵ »;
– ...

ユーザー設定

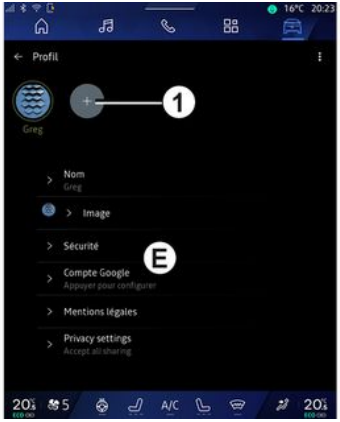
「ﾀｲﾔ圧」 *C*

このメニューを使用して、車両のタイヤ空気圧の状態を確認し、リセットを実行します。

タイヤ空気圧の詳細については、以下を参照してください:

- 「タイヤ空気圧」の項➔ 102。
- 車両の取扱説明書。

メニュー「Profile」



マルチメディアシステムを起動すると、***D***で、システムと車両に適用するユーザープロファイルを選択できます。

使用するユーザープロファイルを選択します。

注: 車両が固定されている間のみプロファイルを変更することができます。

プロファイルの画像を押すと、通知センターからいつでも「Profile」***E*** メニューにアクセスできます。

ユーザープロファイルにリンクさせた内容

ユーザープロフィールには、次の項目に関する設定が保存されています。

- システム言語
- Google® アカウント
- 「My Renault」アカウント
- 個人データ利用規約に関する設定
- 表示設定
- MULTI-SENSE 調節。
- ムードランプ設定
- 運転席からの調節
- ドアミラーの調節
- 音を調整する
- ナビゲーション設定
- ナビゲーションの履歴
- ナビゲーションのお気に入り
- ...

注: 最初に作成されたプロファイルは、デフォルトの管理者プロファイルになります。一部の設定は、管理者プロファイル経由でのみ使用できます。

ユーザー設定

「Profile」の追加

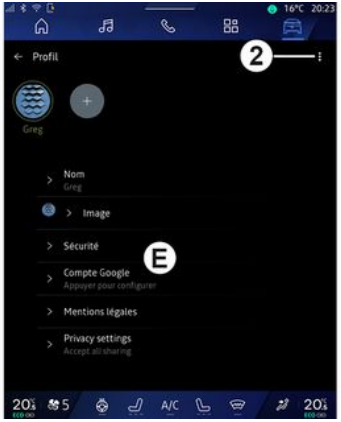
新しい「Profile」を追加するには、***1*** を押すとマルチメディア画面に表示される指示に従います。

注：

– 最大5つの「Profile」を追加できます。
– 新しい「Profile」を作成するたびに、設定が必要です。「サービスの有効化」➔ 12 の項を参照してください。

「Profile」設定

> ⓘ 個人データを保護するために、プロファイルをロックすることをお勧めします。



次の項目に関する機能には ***2*** からアクセスできます。

– « プロファイルを管理する »；
– « アカウントを管理 »；
– « プロファイルを削除 »；
– « ゲストプロファイル ».

次の項目の修正はメニューゾーン ***E*** にて行えます。

– « 名前 »；
– « 写真 »；
– « セキュリティ »：
  – 「ロックモードを選択」
  – 「ID の削除」
  – 「電話でプロファイルのロックを解除」。

    この機能を使用して、スマートフォンを使用して「Profile」のロックを解除できます（車両に存在する場合）。

    詳しくは「システム設定」➔ 120 の項をご覧ください。

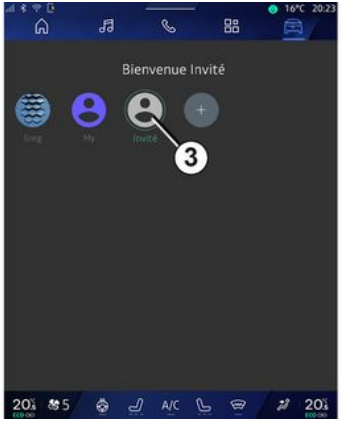
– 「My Renaultアカウント」（管理者プロファイルでのみ使用可能）
– 「Google® アカウント」
– « プライバシー条項 »；
– « プライバシー設定 »：
  – « すべて受け入れる »；
  – « すべて拒否 »；
  – « カスタマイズ ».

    詳細については、「サービスの起動」➔ 12 の項を参照してください。

– …

ユーザー設定

Profile « ゲスト »



「ゲスト」（GUEST）プロフィールは、ユーザープロフィールに代表されるマルチメディアシステムの一部機能へのアクセスに使用できます。

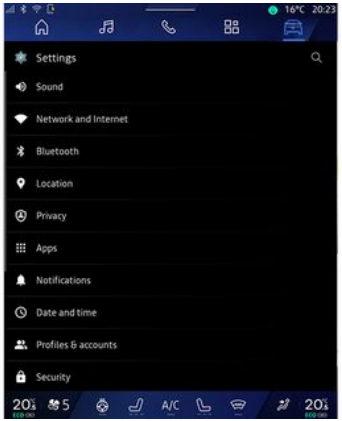
アクセスするには、起動中に ***2*** を押してから「ゲストプロファイル」か ***3*** を押します。

設定が保存されないままシステムが再起動されると、その都度、「ゲスト」プロフィールがリセットされます。

システム設定

安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「設定」メニュー



「車両」領域 から、「設定」を押します。

「設定」メニューには、「設定」アイコンを押して通知センターからアクセスすることもできます。

注：

– 調整できる設定は、車両装備に応じて変わります。

– 一部の設定は、車両が固定されている間に使用できます。

このメニューでは、次の設定を調整できます：

– « 音 »；
– 「ネットワークとインターネット」
– « Bluetooth® »；
– 「位置」
– 「秘密保持」
– 「アプリ」
– 「通知」、
– « 日付と時間 »；
– 「プロフィールやアカウント」
– « セキュリティ »；
– « システム »；
– « アップデート & アシスタント »；
– « Google® »；
– …

« 音 »

このメニューを使用して、次の音量設定を設定および調整できます。

– « メディアの音量 »；
– 「着信通話音量」
– « アラームの音量 »；
– 「通知音量」
– 「ナビゲーション音量」
– « アシスタント音量 »；
– 「電話の呼び出し音」
– …

「ネットワークとインターネット」

電話で接続共有を使用する場合は、WIFI 接続を介して電話のインターネット接続を使用しています（携帯電話会社による料金と制限の対象）。

システム設定

このメニューを使用して、次のインターネットネットワークを設定できます。

– 「アクセスポイント」
  – 「アクセスポイント」を有効 / 無効にする
  – アクセスポイントの詳細
  – アクセスポイントを自動的に有効化または無効化できます。
  – ...
– « WIFI » :
  – マルチメディアシステム上にある、リモートインターネット接続用アクセスポイントの使用に必要な「WIFI」を有効化または無効化できます
  – 使用可能なネットワークを表示
  – 「ネットワークを追加」
  – 「WIFI 設定」
  – 「コネクティビティ—」には、次の要素に関する情報が表示されます。
    – 接続性データとステータス
    – 「ネットワーク タイプ」
    – システム ID
    – ...

マルチメディアシステム「WIFI」を起動すると、ステータスバーのアイコンを介してステータスが通知されます。

– ***1***「WIFI」が有効化され、通信量に上限のないネットワーク接続が確立している状態です。
– ***2***「WIFI」が有効化され、ネットワーク接続は確立していますが、インターネットには接続されていないか、通信量に上限のある状態です。
– ***3***「WIFI」は有効化されていますが、ネットワーク接続は確立していない状態です。

注: 「WIFI」が無効になっている場合、ステータスバーにWIFIアイコンは表示されません。

ステータスバーのアイコンを押して、データ共有ステータスに関する情報を表示することもできます。

– ***4***「すべて受け入れる」、すべてのデータを共有します。
– ***5***「すべて拒否」：どのデータも共有されない状態です。
– ***6***「カスタマイズ」は、許可したデータのみを共有します。

データ共有の詳細については、「サービスの起動」➔ 12 の項を参照してください。

注: データの共有を拒否した場合、ステータスバーにアイコンは表示されません。

« Bluetooth® »

このメニューを使用してマルチメディアシステム Bluetooth® 機能を調整できます:

– マルチメディアシステム「Bluetooth®」を有効または無効にする
– « 新しいデバイスとペア設定 ».

「位置」

このメニューを使用して、車両の位置設定を調整できます。

– 「最近の位置の要求」
– 「アプリのアクセス許可」

« アプリ »

このメニューを使用すると、マルチメディアシステムのアプリケーションに関する次の項目の構成を行えます。

– 「すべてのアプリケーションを表示」
– 「デフォルトのアプリケーション」
– 「アプリケーションのアクセス許可」

システム設定

– 「アプリケーションに与えた特定のアクセス権」

「通知」

このメニューを使用すると、マルチメディアシステムに関する次の項目の構成を行えます。

– « プロアクティブな推奨事項 ».

« 日付と時間 »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムの日付と時刻を調整できます。

– 「タイムゾーンを自動的に設定する」
– 「タイムゾーンの設定」（手動）
– 「24時間形式を使用する」

「プロファイルとアカウント」

マルチメディアシステムのプロフィールメニューにアクセスできます。

« セキュリティ »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムのセキュリティ設定を調整できます。

– 「プロフィールをロック」
– 「ID の削除」
– 「セキュリティ更新」
– 「電話でプロファイルのロックを解除」。

« システム »

このメニューを使用して、マルチメディアシステムの設定を調整できます。

– 「言語と入力」
– 「単位」（km/h）

  注: この設定を変更すると、速度計の表示単位と、インストルメントパネルに表示される距離情報の一部が変換されます。前のモードに戻りたいときは,同じ作 業を行ってください。

– 「ストレージ」
  – 「音楽とオーディオ」
  – 「その他のアプリケーション」
  – 「ファイル」
  – « システム ».
– 「概要」
– 「法的情報」
– 「オプションのリセット」
– ...

« アップデート & アシスタント »

このメニューを使用すると、次の機能を参照／構成できます。

– 「能動的な提案」

  詳細については、「通知」➔ 123の項をご覧ください。

– 「アバター」（装備により異なります）
  – 「アクティベート reno 更 Renault アバター」を有効化／無効化する方法
  – « プロアクティブな推奨事項 » ;
  – 「能動的な通信モード」
  – 「ヘイと言え reno"」を有効化／無効化する方法
  – « 言語 » ;
  – « ディスカバー reno 公式アバター Renault アバター » ;
  – ...
– « 信頼できるデバイス » ;
– « 車両のアップデート » ;

  詳細については、「ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」➔ 125の項をご覧ください。

– ...

« Google® »

このメニューを使用して、Google® サービスを調整できます:

– « Google アシスタント » ;
– 「コメントを Google® に送信」。

« 信頼できるデバイス »

このメニューを使うと、「My Companion」を介してユーザープロフィールに関連付けられているスマートフォンを調整できます。

詳しくは「ユーザ設定」➔ 115の項をご覧ください。

通知

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

通知センターは、走行中の通知や、次のような特定の機能、提案および設定を可能にする装備です。

- ユーザー「Profile」へのアクセス ***3***
- サービスの状態***B***。
  - WIFI の有効化／無効化
  - Bluetooth® の有効化／無効化
  - サウンドのオン／オフ。
- 「設定」 ***4***
- 画面照明制御や車両装備機器へのショートカット ***C***

  注: ショートカットやコマンド種の使用可否は、車両装備に応じて変動し、変更はできません。
- 受信通知一覧 ***D***
- 最近使用したアプリ
- ...

1ボタンを使用するか、マルチメディア画面を***A***エリアから画面の中央にすばやくスワイプして通知センターを開き、いつでも利用可能な通知と機能にアクセスできます。

未読の通知がある場合は、記号***2***がボタン***1***の中央に表示されます。

注: 機器によっては、ポイント***2***を別のロゴに置き換えることができます。

2 を押すと、通知センターが自動的に開いて未読の通知を読める状態になり、記号が消えます。

通知センターが開いたら、一覧 ***D*** から通知を選択することで、その通知にアクセスできます。

画面上で横に素早くスワイプすると通知を削除できます。

すべての通知を削除するには、ボタン***5***を押します。

注: 通知の中には、所定の操作を行わないと通知センターから削除できないものがあります。

通知センターを終了するには、***1*** を押すか、画面の下から画面の中央に向かってすばやく上にスワイプします。

通知設定

「設定」アイコン***4*** または「車両」領域 、「設定」メニューから、アプリと通知メニューにアクセスできます。

通知

このメニューを使用して、マルチメディアシステム通知を設定します。

「アプリケーションと通知」メニューの詳細については、「システム設定」の項 »➔ 120 を参照してください。

« 積極的な提案 »

「積極的な提案」機能は、現在の運転スタイルに適応した「MULTI-SENSE」モードが、利用可能な通知を介して通知されます。

マルチメディアシステムは次のオプションを提案します:

– « はい » ;
– « いいえ » ;
– « 常にいいえ ».

7

「設定」アイコン ***4*** または「車両」領域 、「設定」メニューから、「更新や支援」メニュー、「積極的な提案」にアクセスできます。

このメニューでは、マルチメディアシステムでの積極的な推奨通知を設定することができます。

注: 「積極的な提案」を使用するには、データ共有を有効にする必要があります。詳細については、「サービスの起動」➔ 12 の項を参照してください。

「車両更新」メニュー

一部の更新プログラムのインストールでは、車両を一時的に使用できなくなる場合があります。その場合は、画面に表示される表示を参照してください。

車両は静止し、固定され、イグニッションがオフになっている必要があります。場合によっては、マルチメディアシステムで示された期間車両を始動できない場合があります。

安全のために、この操作は 必ず停止時に行ってください。

インストールを開始する前に、交通から遠く離れて車両を駐車し、パーキングブレーキを適用します。

「車両」領域 から「車両」メニューを選択し、「設定", "アップデート & アシスタント」、続いて「車両更新」を選択します。

このメニューを使用して、さまざまなタイプの情報を表示し、車両を更新することができます。

– マルチメディア装備
– トリップコンピュータ
– ...

更新プログラムは、システムによって自動的に提供される場合があります。車両の接続性に応じて、手動で更新を確認することもできます。

「車両のアップデート」画面

1. « 更新を確認中 ».

2. « ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ中 ».

3. « 履歴の更新 ».

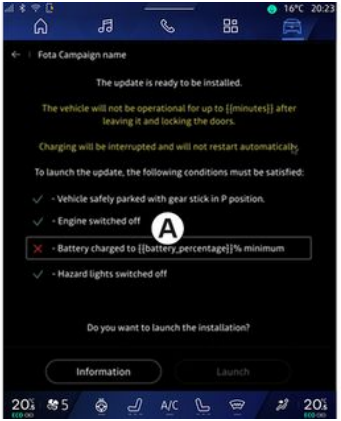
4. « 情報 ».

注：

– 更新が利用可能な場合は、通知を通じて通知されます。「通知」➔ 123 の項を参照してください。
– 更新が利用可能な場合は、ダウンロードが自動的に開始されます。
– 更新は、車両がモバイルネットワークでカバーされている地理的な場所にある場合にのみ検索してダウンロードできます。詳しくは「システム設定」➔ 120 の項をご覧ください。

更新

– 車両所在国では更新できない場合、「更新を確認中」と「ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ中」メニューは選択できません。



更新のインストールの準備ができたら、インストールを完了するために、同意と確認が要求されます。

更新を開始するには、マルチメディアシステム画面 ***A*** に表示されるすべての条件を満たす必要があります。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

注：

– 更新によっては、画面がオフになる場合があります。
– 一部のインストールでは、車両を終了してロックする必要があります。

マルチメディアシステムを再起動すると、更新が正常に完了されたことを確認するメッセージが表示されます。

不具合がある場合は、「作動不良」➔ 128 のセクションを参照してください。

« 更新を確認中 »*1*

更新は、「更新を確認中」***1*** を押す方法で直接検索することもできます。

マルチメディアシステムを検索した後、次の更新プログラム（利用可能な場合）にアクセスできます。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従ってください。

更新には数日かかる場合がありますが、この間は車両を正常に使用できます。

« ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ中 » *2*

このメニューには、更新が可能になった時点でアクセスできます。

更新中に「情報」 i アイコンを押すと、更新されたコンテンツ情報にアクセスできます。

注: 「ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ中」が利用できない場合は「更新を確認中」にアクセスできません。

« 履歴の更新 » *3*

このメニューを使うと、更新の履歴やステータスを閲覧できます。

過去の更新に関する情報を検索するには、更新を選択します。

« 情報 » *4*

このメニューでは、更新に関連する情報にアクセスしたり、「VIN」（車両識別番号）を表示したりできます。

電気自動車および充電式ハイブリッド車に関する特別な機能

ⓘ 更新を行うと、一時的に車両が利用できなくなり、更新のインストール中に充電機能が禁止されます。

ⓘ マルチメディアシステムを使用してシステムの更新を受け入れただけであれば、トラクションバッテリの充電が遅延またはキャンセルされます。充電リードを車両に接続する前に、更新が完了するまで待ちます。

更新

車両更新のインストール中に車両への充電を開始しないでください。

マルチメディアシステム画面に表示される指示に従います。

注：

– 車両が直流（DC）を使用して充電している間は、更新をインストールできません。更新が進行中の場合は、DC車両の充電を開始する前に、最後まで待つ必要があります。更新開始操作自体は充電中も行えますが、更新処理は、充電終了後に実行されます。
– 交流（AC）車両の充電の前 / 中に更新が開始された場合、後者は中断され、更新が完了すると自動的に再開されます。

詳しくは、「電気自動車: 充電」または「ハイブリッド車: 充電」の項をご覧ください。

作動異常

システム

システム		
不具合	**原因**	**解決法**
画像が全く表示されない。	画面がアイドル状態です。	画面がアイドル状態でないか確認。
画面がフリーズしている。	システムメモリが飽和状態です。	次を押し続け、システムを再起動します: – マルチメディア停止 / 始動ボタン（システムが再起動するまで長押しします）。 または – Mode」ボタンとステアリングコラムコントロールの左側にある「Source」ボタン（システムが再起動するまで押し続けます）。
カメラが画面に正しく表示されない。	カメラはレンズを覆い隠す汚れで覆われています。	カメラに泥や汚れがないか確認します。
音が出ない。	音量が最小か一時停止になっています。	音量を上げるか一時停止を解除します。
左、右、前方、後方のスピーカーから音が出ない。	ﾊﾞﾗﾝｽまたは fader の設定が正しくない。	サウンドﾊﾞﾗﾝｽまたは fader を正しく調整してください。
「My Renault」アプリケーションで接続サービスが機能しない。	マルチメディアシステム / 電話インターネットネットワークの受信不良。 My Renault サービスとの同期の問題。	車両と電話をインターネットネットワークの通信可能な場所に移動します。 ウェブサイト（https://renault-connect.renault.com）のオンラインヘルプにアクセスします。
サービスまたはアプリケーションが作動しない。	サブスクリプションが一時停止しています。	「My Renault」アカウント契約ページからアクセス可能なインターネットプロ

作動異常

システム		
	マルチメディアシステムのインターネット接続が利用できなくなった。	バイダーのポータルで、サブスクリプションのステータスを確認します（最初に車両の「My Renault」アカウントに接続する必要があります）。 電話の「アクセスポイントと接続の共有」を使用してインターネット接続にアクセスします（詳しくは「システム設定」セクション ➔ 120 をご覧ください）。

7

作動異常

ナビゲーション

ナビゲーション		
不具合	**原因**	**解決法**
画面上の車両の位置が実際の位置と一致しない、または画面上の GPS 警告灯がグレーまたは黄色のままになっている。	GPS受信が原因で、間違った位置が測定されています。	GPS信号を良好に受信できるところまで車を移動させてください。
交通の流れが画面に表示されない。	ガイドがオフになっています。 接続サービスが作動しない。	ガイドがオンになっているか確認してください。目的地を確認してガイドを開始します。 接続サービスが有効になっているか確認し、データ収集を有効にします。
メニュー項目の一部が使用できまない。	使用中のコマンドに関係する一部の項目が使用できません。 一部の機能は、車両の走行中には使用できません。	車両を停止してください。
音声ガイドが使用できない。	音声ガイドまたはガイドがオフになっています。	音量を上げて下さい。音声ガイドがオンになっているか確認して下さい。ガイダンスが進行中か確認します。
提案ルートが開始されない、もしくは希望目的地で終了しない。	システムが目的地を認識していない。	希望する目的地の近くの道路を入力します。

作動異常

電話

電話		
不具合	**原因**	**解決法**
音と呼び出し音が聞こえません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 音量が最小か一時停止になっています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。音量を上げるか一時停止を解除します。
電話をかけられません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 電話のキーパッドがロックされています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。電話のキーパッドのロックを解除してください。
CarPlay™ または Android Auto™ レプリケーションが作動していません。	電話が接続されていないか、システムと互換性がありません。	これらのアプリケーションとの互換性を確認してください。電話がシステムに正しく接続されていることを確認してください。

作動異常

音声認識

音声認識		
不具合	**原因**	**解決法**
システムが音声コマンドを認識しない。	音声コマンドが認識されていない。 音声認識の遅延時間が過ぎています。 音声認識は、騒音の多い環境では正しく機能しません。	音声制御が利用可能であることを確認してください（「音声認識を使用する」を項を参照してください）。➔ **25**).音声認識の遅延時間内で発声してください。 静かな環境で発声してください。

7

作動異常

更新

更新		
不具合	**原因**	**解決法**
新しい SW（ソフトウェア）をダウンロードするのに非常に時間がかかる。	インターネットネットワークの受信不良。 ダウンロードには最低走行時間が必要です。	車両をインターネットネットワークでカバーされているエリアに移動します。 追加の走行フェーズを実施します。
更新の完了を要求されることはありません。	車両が停止していない。	車両が適切に停止している（パーキングブレーキをかけた状態）ことを確認します。
画面がオフ、音が出ない、更新中にいくつかの機能が失われる。	更新が進行中です。	更新が終了するのを待ちます。
更新を完了する要求が表示されない。	アップデート開始後その月は応答がない。	サーバーは後で作業を再開します。更新がまだ利用可能な場合は、手動で確認できます。
更新が完了しました。	システム内部エラーの更新: 他の機能は影響を受けではありません。 直流充電との非互換性（電気自動車 / ハイブリッド車専用）。	メーカーにお 問い合わせください。 直流充電を実行する前に、更新が完了するまで待ちます。 警告灯の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。
エラーのために更新が完了に失敗し、 STOP 警告灯が表示されます。	重大なエラー。	車両を再始動してはいけません。正規ディーラにご連絡ください。 警告灯の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

7

作動異常

更新		
エラーのために更新が完了に失敗し、 警告灯が表示されます。	更新中のエラー（重大ではない）。	問題を解決するには、指定サービス代理店にお問い合わせください。 警告灯の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

7

索引

記号・数字

360° カメラ、 93

A

Android Auto™ 、Carplay™、 25、 56、 75

B

Bluetooth®、 56

E

ECO ドライブ、 104

G

Google Assistance™、 25、 65
Google Maps™、 25、 33、 38、 45
Google Play ™、 79

M

Multi-Sense、 95
My Renault、 81

R

Reno、 29

S

smartphone 複製、 25、 75
SMS、 70
SMS: SMSの受信、 70
SMS: SMSの読み取り、 70

W

Wifi、 75、 120

イ

インストルメントパネル上の表示、 33

エ

エアクォリティセンサ、 108

お

お知らせ: おすすめやお知らせ、 18、 123

ガ

ガイド: 地図、 33
カスタマイズ設定: multi-sense、 95

キ

キーパッドを使用して電話番号を入力、 69

サ

サウンド音量の調整、 72

シ

シート: フロントシート調整、 100

索引

シート: マッサージ機能付きフロントシート、 100
システム: 更新、 125

ス

スクリーン制御、 9
ステアリングホイールコントロールおよびパネル、 9

ソ

ソース、 56
ソース: オーディオ、 49
ソフトボタン、 5

タ

タイヤ規定空気圧、 102

デ

ディスプレイ2D/3D: モード2D/3D、 33

ド

ドライブUSB、 56
トリップコンピューター、 84

ナ

ナビゲーション: ナビゲーション設定、 45
ナビゲーション: ナビゲーション履歴、 38
ナビゲーション: 目的地入力、 38
ナビゲーションシステム、 33

ハ

ハイブリッド自動車および電気自動車、 109
ハンズフリー駐車、 89
パーキングアシスト、 89

ボ

ボタン、 9、 16

マ

マルチビューカメラ、 93
マルチメディアシステムの構成、 115
マルチメディアシステムを始動、 21
マルチメディア画面、 5
マルチメディア装備、 5

メ

メニュー: ホームページ、 23

ラ

ラジオ: 自動ラジオ局記憶、 51
ラジオ: 放送局プレチューニング、 51
ラジオ局を選択: ラジオを聴く、 51
ランドマーク、 38

リ

リアビューカメラ、 92
リアビューカメラ設定: 画像設定、 92

索引

リアビューカメラ有効化: ガイドライン、 92

音

音楽、 56
音声メッセージ、 69
音声制御、 25
音声認識、 25

画

画面: スクリーンセーバー、 21
画面: メニュー、 5

緊

緊急サービスコール、 114

携

携帯電話帳、 67

個

個人データ: 保存、 12、 61、 67

作

作動異常、 128、 131、 132、 133

四

四輪駆動（4WD）、 98

自

自動通話中着信、 65

車

車内ムードランプ: カスタマイズ、 99
車両カスタマイズ設定、 115

住

住所: 自宅、 38
住所: 職場、 38

省

省エネルギー、 104

制

制御、 9、 16

接

接続サービス、 12

設

設定、 72、 120
設定: カスタマイズ、 120
設定: ナビゲーション、 45
設定カスタマイズ、 23、 115

索引

地

地球にやさしい車づくり、 104
地図: 設定、 33
地図: 地図記号、 33
地図: 表示、 33

通

通話を拒否する、 65
通話を終了する、 65、 66

停

停止、 21

電

電気自動車、 109
電気自動車: 充電、 109
電話に応答、 65
電話のペアリング解除、 61
電話の取り外し、 62
電話の接続、 62
電話をペアリング、 61
電話を受ける、 65
電話設定: 電話着信音、 69、 72
電話番号を押す、 65、 69

発

発信ログ、 68

無

無線充電器: - 誘導充電、 73、 73、 74

RENAULT S.A.S. SOCIÉTÉ PAR ACTIONS SIMPLIFIÉE / 122-122 BIS, AVENUE DU GENERAL LECLERC 92100 BOULOGNE-BILLANCOURT R.C.S. NANTERRE 780 129 987 — SIRET 780 129 987 03591 / renaultgroup.com

NW 1415-7 – 77 11 416 759 – 07/2024 – Edition japonaise

7711416759